

# 令和4年度 事業報告

目 次	
1 廣望会・役員会等開催状況	P 1
2 財産取得	P 4
3 借入金と償還金の状況	P 5
4 クリーニング工房 CoCo の状況	P 6
5 アトリエ CoCo の状況	P 1 4
6 キッチン CoCo の状況	P 3 4
7 CoCo JAVJAV・Bakery Cafe CoCo の状況	P 5 1
8 スタジオ CoCo ・CoCo レスト の状況	P 6 3
9 アートカフェ CoCo の状況	P 8 6
10 CoCo 金沢の状況	P 9 4
11 地域生活支援センターCoCo の状況	P 1 0 1

令和5年6月8日

## 社会福祉法人 廣望会

多機能型障がい福祉サービス事業所	クリーニング工房 CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	ア ト リ エ CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	キ ッ チ ン CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	CoCo JAVJAV・BakeryCafé CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	スタジオ CoCo・CoCo レスト
生活介護 フリースペース	アートカフェ CoCo
多機能型障がい福祉サービス事業所	CoCo 金沢
共同生活援助・短期入所・相談支援・居宅介護	地域生活支援センター CoCo ながの
共同生活援助・短期入所	地域生活支援センター CoCo ちくま

## 社会福祉法人 廣望会

お陰様で本年度法人設立 25 年にして、県境を越え、石川県金沢市に多機能型障がい福祉サービス事業所（就労継続 A 型・B 型）「CoCo 金沢」（定員 20 名）を令和 4 年 8 月 1 日に開所させて頂きました。県外での事業所運営は初めてのことでありますが、金沢市様・ハローワーク金沢様・NLS グループ日本海リネンサプライ(株)様他多くの皆様のご支援・ご協力の元、所員 6 名が元気に通所され、働いています。他、6 名の実習生を受け入れさせて頂きまして、この春には 4 名の高等部卒業生が新入所致しました。日々、作業のみではなく生活面における多様な相談を受ける中、様々な支援機関と手を繋ぎ、協力・支援を頂きながら活気をもって「CoCo 金沢」のカラーを創造してまいりました。自治体が変わると様々に様式が変わり、大変多くを学ばせて頂いております。

新型コロナウイルス感染症については、一部の日中活動の事業所を数日間閉所としたり、幾度となく幾つかのグループホームにて陽性患者が出て、利用者を隔離したりと緊張感の抜けない 1 年間でありました。そんな中でも、感染予防の基本的な対策を取りながら各事業所内においてリモートなどを活用しお楽しみ会を開催したりと様々なイベント等の工夫をしてまいりました。

また、就労支援事業のホテル・旅館等のリネンサプライ・クリーニング業、BakeryCafé、弁当業、食堂、農作業、施設外就労とすべての仕事が大幅減収となり、大変厳しい状況となりました。後半少し持ち直しましたが、燃料費・電気料金・資材費・材料費等の高騰及び最低賃金のアップに対し下請け単価及び販売価格が追いつかず大変苦しい状況で終わらざるを得ませんでした。

また、それぞれの事業所がそれぞれの地域において、地域の中で支えて頂いていることへの感謝の気持ちを込めて、障がいのある方たちと一緒に当法人が出来ることを真摯に考え進めて参りました。そして、どんな時代においても変革することを恐れず、多様化する生活スタイルと支援スタイル・地域共生社会の在り方を模索しながら、目指す障がい者福祉サービスをぶれることなく進め、誰もが夢の描ける地域社会を創造するために、法人全体で役員・職員が一丸となってチームワークを持って知恵を出し合い、時代を先駆けて新時代へと進めて参りたいと思います。

全てはみんなが幸せであるために

## 役員会等の開催状況

### 【監事監査】

令和 4 年 6 月 9 日 令和 3 年度事業に関する監事監査

### 【理事会・評議員会】

令和 4 年 6 月 13 日 第 95 回理事会

(1)令和 3 年度事業報告、決算報告、監事監査報告について

- (2)定款変更について(基本財産の追加)  
アートカフェ CoCo 隣接土地
- (3)就労継続支援 A 型労働者 就業規則の改定について
- (4)地域生活支援センターCoCo ながの運営規程の改定について
- (5) CoCo 金沢の管理者の選任について
- (6)定時評議員会を決議省略の方法により行うことについて

令和 4 年 6 月 29 日 第 57 回評議員会

- (1)令和 3 年度事業報告、決算報告、監事監査報告について
- (2)定款変更について(基本財産の追加)  
アートカフェ CoCo 隣接土地

令和 5 年 1 月 24 日 第 96 回理事会

- (1)アートカフェ CoCo 隣接土地活用計画について
- (2)令和 4 年度補正予算について
- (3)福祉・介護職員処遇改善規程の改定について  
福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算
- (4)運営規程の変更について

給食を提供する事業所について、食事の提供に要する費用の額の変更  
就労系サービス事業所について、在宅サービスの提供の追加

令和 5 年 3 月 23 日 第 97 回理事会

- (1)令和 5 年度事業計画および予算について

#### 【評議員選任・解任委員会】

開催なし

#### 【職員総会・研修】

令和 4 年 6 月 令和 4 年度新年度会及び入所式  
理事長の新年度に向けての訓示  
法人新年度計画発表  
新入職員紹介  
辞令交付

**コロナウイルス感染症拡大のため書面及び事業所ごとに開催**

令和 4 年 12 月 10 日 法人全職員出席（パート等も含む）  
《研修会》《総会》  
**コロナ禍のため中止**

#### 【諸会議・その他】

令和 4 年 6 月 NLS グループ合同による「新年度会・新入職員入所式」  
**コロナ禍のため書面及び各事業所にて実施**

\* 毎月 1 回経営会議（月次報告含む） 出席者：常務理事 参与 本部事務局 各事業所長

法人の経営状況、各事業・福祉サービスの運営状況について協議を行った。

\* 毎月1回会計月次報告検討会

出席者：会計事務所 参与 本部事務局 各事業所長

会計事務所より月次の報告を受け、各事業の経営状況について確認、協議を行った。

\* 各事業所にての定期的な職員会議の開催

経営会議及び管理職会議の内容の周知、作業・生活支援上の課題検討、ケース検討・就労事業検討等を行った。

ほか、毎日職員打合せを行い様々な気付き・情報をタイムリーに共有し検討をし、チーム支援を行った。

\* 各種団体の諸会議及び研修等への参加

・知的障害福祉協会・セルフセンター協議会・県社協・県・長野市自立支援協議会・千曲坂城自立支援協議会等の研修及び部会活動等に各事業所より積極的に参加をした。(zoom等)

【社会貢献事業】

\* 地域の小学校との交流会「み～んなともだちプロジェクト」(福祉教育の実践・長野市)

\* 引きこもりの子供たちや大人たちの活動の場の提供(フリースペース・須坂市・千曲市)

\* すべての事業所において学生実習、様々な分野の見学研修受け入れ

\* 荒廃農地の活用(長野市)

\* 長野中央ライオンズクラブとの協力による生活困窮の子供たち・者への支援(フードドライブ・長野市)

(コロナ禍のため中止)

\* 長野市生活困窮者自立支援事業への支援協力(プチバイト事業/認定就労訓練事業所登録・長野市)

\* 緊急ショートステイの受け入れ(長野市・千曲市・坂城町)

\* 長野県知的障がい福祉協会の活動への積極的参加協力

\* 長野県セルフセンター協議会の活動への積極的参加協力

\* 長野市及び須坂市、千曲市・坂城町の自立支援協議会への積極的参加協力

\* 長野市及び千曲市・坂城町の障がい者相談支援センター事業の受託

\* 長野市住民自治協議会積極的参加協力

\* 長野市社会福祉審議会の地域福祉専門分科会出席

\* 長野市教育センター運営委員会出席

\* 障がい程度区分認定審査会出席

\* ほか、地域の行事活動への積極的参加協力

## 廣望会並びに施設に関わる財産取得

令和 4年 4月	クリーニング工房C o C o 総事業費	洗濯機油圧脱水機ホ-ル 5,126,550円
令和 4年 5月	アトリエC o C o 総事業費	乾燥機 3,278,000円
令和 4年 5月	アトリエC o C o 総事業費	リース自動車買取 43,400円
令和 4年 6月	CoCoJAVJAV 総事業費	リース自動車買取 82,600円
令和 4年 6月	CoCoJAVJAV 総事業費	乾燥機 1,394,800円
令和 4年 6月	ベーカリーカフェ 総事業費	リース自動車買取 226,160円
令和 4年 6月	クリーニング工房C o C o 総事業費	電話設備更新 935,000円
令和 4年 6月	クリーニング工房C o C o 総事業費	洗濯機油圧脱水機改良 839,080円
令和 4年 6月	アトリエC o C o 総事業費	ﾌﾟﾗｲﾝｽ物置 349,690円
令和 4年 7月	アトリエC o C o 総事業費	ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲｽ(農作業用) 2,307,360円
令和 4年 7月	C o C o金沢 総事業費	パソコン 242,682円
令和 4年 8月	クリーニング工房C o C o 総事業費	洗濯機ベルト交換 1,122,000円
令和 4年 9月	クリーニング工房C o C o 総事業費	乾燥機ホ-ﾙ 275,000円
令和 4年10月	クリーニング工房C o C o 総事業費	洗濯機改良工事 900,000円
令和 4年11月	クリーニング工房C o C o 総事業費	洗濯機ロール交換 319,000円
令和 4年12月	スタジオC o C o 総事業費	自動結束機 418,000円
令和 4年12月	アトリエC o C o 総事業費	農機具 450,000円
令和 4年12月	地域センターながの 総事業費	パソコン3台 610,290円

令和 5年 2月

アトリエCOCO  
総事業費

洗い場照明器具

461,318円

第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型障がい福祉サービス事業所

## ク リ ー ニ ン グ 工 房 Co Co

昨年同様に、国の方針と感染者の増減が、仕事量に大きく影響を及ぼす一年でありました。クリーニング工房 CoCoに限らずですが、予想のつかない仕事量の増減は、日々の日課の中にも影響を及ぼすものでした。

加えて、ガス代、電気代の高騰がとどまらずに、施設をどのように運営していくのか頭を悩ます日々でした。

給与面で極端な減収にならないようにして、なおかつ経費を節減し、魅力ある日課にするためにはどのようにするのが大きな課題となりました。

また、変化のある日課を良い機会と捉えて、支援員の担当部署を変えることも継続して、普段と違った利用者の方々との関わりを持つことで、支援力の向上にも努めてきました。

一年を通して、利用者の方々が、休まずに通所して頂いたことには本当に感謝しています。

不安定な社会情勢にも関わらず、安定した仕事を確保して頂き、様々な面でご尽力いただいた関係する多くの方々に感謝するとともに、利用者の方々と支援員の力を十分に発揮できるようにしていきたいと思っています。

### 就労継続支援A型

#### 1 事業の開始

平成 10 年 8 月 1 日 知的障がい者福祉工場操業開始

平成 19 年 4 月 1 日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる。

平成 30 年 5 月 1 日 定員を 20 名から 24 名に変更する。

令和 2 年 4 月 1 日 定員を 24 名から 25 名に変更する。

#### 2 利用者の推移

令和 4 年 3 月 3 1 日		2 3 名
令和 4 年 5 月 1 日	1 名入所	2 4 名
令和 4 年 7 月 1 日	1 名入所	2 5 名
令和 4 年 8 月 3 1 日	1 名退所	2 4 名
令和 5 年 3 月 3 1 日	現在	2 4 名

#### 3 利用者の内訳

出身市町分布

長野市 6 名 千曲市 1 1 名 上田市 3 坂城町 3 名 築北村 1 名

性別 男性 1 8 名 女性 6 名

年齢

2 0 歳 ~ 5 1 歳 平均年齢 3 6 歳

20 代・・・6 名 30 代・・・5 名 40 代・・・1 0 名 5 0 代・・・1 名

## 障がい種別

全員知的障がい者療育手帳・・・ B 1 10名 B 2 13名 A 1 1名

その他

男性18名中利用者4名、女性6名中利用者2名が CoCo ホーム千曲（当法人運営ケアホーム）より通勤

## 4 勤務体制

始業時刻... 8 : 4 0 終業時刻... 1 7 : 1 0

休憩... 昼休み（50分）3時休み（20分） 実労働時間... 7時間20分

・年間休日90日... 繁忙期及び納期の変更等のため、1年単位の変形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。（希望者は残業も担っている）

## 5 利用者の通勤方法

（1）通勤支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 8名

（2）徒歩、自転車、自家用車 12名

（3）公共の路線バスおよび家族の送迎 4名

## 6 通所状況

勤務実態（出勤率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
92.0%	97.8%	96.2%	98.1%	93.9%	99.0%	98.1%	94.9%	95.5%

1月	2月	3月	年平均
95.5%	96.3%	97.5%	96.2%

全体の通所率は前年度平均とほぼ同様。

## 7 利用者の給与

給与は最低賃金を確保するよう努力しているが、労働実態に合わせて労働基準監督署の承認を得て最低賃金の適応除外を受けている方が9名いる。通勤費は実質全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険全員加入。雇用調整助成金の制度を使用。

年収の状況

600,000円～1,000,000円 6名（年度中途退所者含む）  
1,000,001円～1,300,000円 3名（年度中途入所者含む）  
1,300,001円～1,400,000円 1名  
1,400,001円～1,500,000円 1名  
1,500,001円～1,600,000円 13名

平均年収 1,383,000円

月額平均 114,000円

（24名 障害者基礎年金受給...2級24名 年間822,250円）

## 8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・所長との個別面談にて「就労継続A型支援計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。



6 カ月ごとのモニタリングを実施して見直しをした。

## 9 利用者の作業内容

洗い場 3名 シーツローラー 4名 浴衣ローラー 2名  
多種ローラー 9名 タオルたたみ 6名

A型利用者は洗い場、ローラーでの作業が主である。中には体力等に応じ軽作業のタオルたたみを担う方もいる。

利用者は出勤率にもあるように、真面目に日々勤務をして自分の役割を果たしている。ただし、中には能力後退が顕著であり、限られた作業種にしか従事できない方が複数人見受けられる。

## 10 職員の指導態勢 総員 7名 (令和5年3月31日)

所長 サービス管理責任者

生活支援員 2名 職業支援員 2名 (パート 1名) 賃金向上達成指導員 1名

職業支援員は、個別担当を兼務する支援員とともに各作業部署に配置し、利用者の作業指導を始め利用者に無理な作業 (出荷に直接関わる作業など) や残業と次の日の段取り、機械メンテナンス等の作業をしている。

## 11 職員の処遇

服務規程及び賃金規定により処遇している。

障がい者の人権擁護については、平成 24 年 10 月の障がい者虐待防止法施行にあたり、特に職員としてあるべき利用者対応・指導方法について、個別指導及び相談に心がけた。

職員研修については、本年度の実績は下記のように実施した。

[研修実績]

所内研修 工場内における危機管理・安全管理と工場運営について  
障がい者虐待防止・権利擁護養成研修

職員研修 長野県サービス管理責任者更新研修  
クリーニング師研修 その他

主催・実施主体	内容	出席者
長野県知的障がい福祉協会	長野県知的障がい福祉研究大会	3名
長野県障がい者虐待防止・権利擁護研修運営委員会	障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修	1名
その他	安全運転講習会	1名

## 12 生産活動

取り扱い業務 ホテル・旅館寝具等のクリーニング

シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス類 ナプキン類 浴衣 ガウン  
タオル類 一般クリーニングの受付

協力顧客 (株)戸上リネンサプライ 長野リネンサプライ(株) 信州リネンサプライ(株)  
(有)東京洗染 上田市 坂城町 千曲市 労協ながの(つるの湯・  
福祉健康プラザ) 千曲市高齢福祉課 千曲市福祉課 千曲市子育て支援課  
(千曲市内保育園4施設)  
千曲坂城消防本部 ともいきライフ月影 山崎建設(株)  
(白鳥園) 坂城町保育園・児童館

生産状況 時間当たりの生産トン数は1.3トンとなっている。

### 13 健康管理

利用者の特性から健康管理には日々のきめ細やかな対応が必要なため  
配慮をしている。(職員も同じ)

日々の配慮

出勤前の家庭での検温・健康観察

施設入場時の消毒ルームの設置・検温・指手消毒・健康観察

作業時の巡回指導と職員の直接指導

特定指導、相談

感染症予防のための「手洗い・うがい・消毒」励行のための声掛けを常時実施

熱中症、脱水症状の注意喚起と水分補給の呼びかけを常時実施

特定管理

- ・毎月2回の非常勤安里みどり看護師による健康相談

事業合計 延べ100人実施

健康相談時に体重測定、及び血圧測定、必要に応じて体温測定を実施し、経過的に記録  
をして健康管理に努めている。

生活習慣の相談が主である。また、持病のある方や、体調を崩した方に対しては、健康  
の維持についてのアドバイス等いただいた。

健康相談では、いつもと違う雰囲気の中で色々なことを相談することができている。普  
段ご自分のことを伝えることが苦手で、訴えが少ない方も看護師にいろいろと相談がで  
きていた。

- ・健康診断

日本労働福祉協会長野県支部による健康診断 令和4年6月 1日(水)

- ・安里囑託医師による健康診断 令和5年3月16日(火)

家庭連絡 必要に応じて随時行う。病院へのつなぎも行う。

保健講話

安里囑託医師による健康診断 令和5年2月15日(水)

講話についてはプリント配布

感染症対策うつらない、うつさない、ひろげない予防方法。

インフルエンザの予防接種実施 令和4年11月18日(金)

### 14 安全・衛生管理

安全管理

日常、機械操作および安全確認を行っている。工場内の機械設備 安全・危機

管理に努める、機械設備の保守点検、管理業務の見直し、危険個所に事故防止のためのガード等設置、作業標準手順書の整備、危険区域、部位に注意喚起表示の設置、機械修理時の標記、動作確認等を行っている。

日常的には、管理者の指示のもとに安全・衛生思想の普及や労災事故防止のための点検等を随時行うとともに、事故防止についての声掛けを継続的に行っている。

この他、衛生管理、危険防止として日々施設内外の整備に努めるため、朝礼終了後から作業開始までの時間を利用して、各部署毎に清掃に取り組んだ。

#### 防災訓練

防災計画により、防災訓練を年度内2回実施した。

令和5年 1月25日(水) 消火・通報・避難誘導訓練

令和5年 3月 15日(水) 消火・通報・避難誘導訓練

避難誘導訓練においては消防署員より「非常によく訓練されている」と評価がある。

### 15 委託給食

常時利用者 20名

昼食数 年間266日 合計5,320食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見の吸収(随時)

誕生日メニューの実施

給食検討会の実施(キッチンCOCO:栄養士・調理員・所長・給食担当)

### 16 QOL活動の実施状況 - 就労継続支援B型事業と同様 -

工場稼働日におけるカルチャー教室の実施

・塗り絵・卓球・貼り絵・楽器練習

・季節に応じたミニ行事 「鏡開き」「節分豆まき」

諸行事の実施および参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

生活相談支援 随時或は特定して実施 健康上の問題 仲間関係

経済生活面等 ケースによっては圏域のコーディネーター、  
関係機関とケア会議を行った。

家族会の運営 家族会総会・家族のつどいは書面にて実施

### 17 地域への開放状況

千曲市及び周辺市町

・若宮区及び芝原区には区費を納入し区民としての交際をしている。

・千曲・坂城自立支援協議会

運営委員会 就労・事業所連絡会 さんさんネット部会 地域支援部会

ケアマネジメント部会 全体会 にZOOM参加

同業者関係

環境衛生同業組合に加入、情報を得ている。

現場実習の受入れ

・稲荷山養護学校、千曲坂城相談機関センターから体験実習や就職をめざしての実習の受

け入れ

- ・施設研修のための見学受入れ（学校、PTA、県内外の施設、企業等）
- 県及び北信の知的障がい福祉協会の一員として、各会合に ZOOM 参加した

## 就労継続支援 B 型

### 1 事業の開始

- 平成 14 年 4 月 1 日 障害者等共同作業訓練事業を開始する
- 平成 15 年 4 月 1 日 補助金認可され、新たにスタート
- 平成 19 年 4 月 1 日 障害者自立支援法のもと、多機能型事業所となる  
(就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業)
- 平成 21 年 4 月 1 日 就労継続支援 B 型事業開始 定員 10 名
- 平成 25 年 12 月 1 日 定員を 10 名から 8 名に変更する。
- 平成 30 年 5 月 1 日 定員を 8 名から 10 名に変更する。
- 令和 2 年 4 月 1 日 定員を 10 名から 15 名に変更する。

### 2 (利用者の状況)

- 令和 4 年 4 月 1 日 14 名
- 令和 4 年 4 月 30 日 1 名退所
- 令和 4 年 6 月 30 日 1 名退所
- 令和 4 年 11 月 1 日 1 名入所
- 令和 4 年 12 月 17 日 1 名退所
- 令和 4 年度における総在籍者数 12 名

### 3 利用者の内訳

- 出身市町分布 千曲市 10 名 上田市 1 名 坂城町 1 名
- 性別 男性 10 名 女性 2 名
- 障害種別 知的障がい者 11 名 (A 1...1 名 B 1...5 名 B 2...5 名)  
身体障がい者 1 名
- 年齢 25 歳 ~ 61 歳 平均年齢 43.6 歳
- 10 代...0 名 20 代...1 名 30 代...5 名 40 代... 1 名 50 代...3 名  
60 代...2 名

### 4 作業訓練内容

- 事業運営日数 266 日 (基本的には木・日の週休 2 日制 他開所日は希望通所)
- 日 課 8:40 ~ 17:10 昼休み 50 分 3 時休み 20 分  
(基本的には本人希望と体調・体力、家庭環境等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。家族の介護、家事を担っている利用者等もいる)
- 作業訓練内容 タオル・ガウン・パジャマ・作務衣・ジャージ等のたたみ作業  
公共温泉施設のマットのクリーニング (回収と配達も)  
シーツ等投入補助 洗い場仕分け補助
- 状 況 ・ひとりひとり状況が異なるなかで通所状況も様々である。

- ・安定的な作業をする方が多数いる一方で、中には、作業の力の停滞が顕著に見られる方もいる。障がい特性や、心理的な部分で支援方法に苦慮する場面もあり、必要に応じて家庭や相談機関との連携を図っている。
- ・12名のうち発達障害・自閉的傾向の方が4割の人数である。障がい特性や個性に合わせ専門的な知識や支援方法が必要であり、職員の支援技術の研さん習得が引き続き課題である。

## 5 利用者の通所方法

- (1) 通所支援 しなの鉄道戸倉駅と事業所間の送迎を行う 2名
  - (2) 徒歩及び自転車 10名
- 事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている

## 6 利用者の通所状況

(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
89.1%	83.8%	79.5%	73.6%	76.3%	79.0%	77.9%	83.6%	81.8%
1月	2月	3月	年平均					
83.5%	85.0%	85.1%	81.5%					

## 7 利用者の工賃支給

月	平均工賃額	月	平均工賃額
4月	12,000円	10月	16,000円
5月	16,000円	11月	17,000円
6月	15,000円	12月	16,000円
7月	17,000円	1月	14,000円
8月	19,000円	2月	13,000円
9月	16,000円	3月	15,000円
平均月額 15,500円			

## 8 個別支援計画

プロフィール・アセスメントシート等をひとりひとり作成。ご本人・ご家族・担当職員・施設長との個別面談にて「就労継続支援B型計画」を立て、計画に沿って日々の支援を行った。6カ月ごとのモニタリングを行い見直した。

## 9 職員の指導体制

所長 サービス管理責任者1名  
 支援員 4名 (うち1名目標工賃達成指導員)

## 10 健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業と同様

## 11 給食の提供

希望者には給食を提供した(1食280円) 10名 2,660食  
 利用者の希望・意見の吸収(随時)  
 誕生日メニューの実施(利用者の誕生日近くに本人の希望メニューによる)  
 選択メニューの実施(今年度は特に希望を反映)

給食検討会の実施（キッチンCoco：栄養士・調理員・所長・給食担当）

**12 QOL活動の実施状況**

就労継続支援A型事業と同様

**13 地域への開放状況**

就労継続支援A型事業と同様

**第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業**  
**多機能型（ 就労継続 B 型 生活介護）**

**アトリエ CoCo**

お陰様で本年度 18 年目を迎えます。昨年度はコロナ禍の中、緊張感に包まれた厳しい 1 年でありました。12 月には施設を数日閉所し緊急対策を取らせて頂きました。しかし、with コロナの新しい生活スタイルを実践しながら（コロナ感染予防対策を取りつつ）所員みんなが元気に働き・学び・遊ぶことが出来るように、リモートによるハワイ旅行・知的障がい福祉協会主催「福祉大会」及び北信支部のレクリエーションにリモートで多くの所員が参加したり、施設内にてカラオケ大会を楽しんだり、近隣の野外活動を行ったりと、様々な工夫もして参りました。

また、地域の中での共生活動（福祉共育の実践）の保科小学校との交流会については、お手紙交流とアトリエ CoCo へ一度小学生が来所し 3 密を避けての交流を行いました。他、地域の中でのイベントについてはコロナ感染症拡大防止のため中止とせざるを得ませんでした。

また、作業に関してはホテル等のタオル類のクリーニング作業は後半に少々持ち直しましたが、燃料費及び電気料金・原材料費の高騰により、価格に転嫁出来ず厳しい状況でありました。他、自主製品（野菜類等）の販売会の中止、「ぱれあ CoCo 食堂」になかなかお客様がお越し頂けないとこちらも厳しい状況ではありましたが、所員の皆さんの糧である工賃は減額をせずに支給させて頂きました。

所員の一生懸命働く姿が、互いを思いやるやさしさが、笑顔が、人のこころを変える...誰にも負けないオンリーワンの人間力です。私たちは、地域の中で所員の人間力がいっばいに活かされる支援を築き上げるため、努力を惜しみません。そして、「アトリエ CoCo へ来て良かった」と、所員・ご家族に思ってもらえる...そんなサービス事業所であるために、18 年目にして決しておごらず、所員一人ひとりのニーズに気付き、寄り添った支援を職員全員でチームワークを持って真摯に取り組みます。また、社会貢献として生活困窮者への支援も含め、より良い地域社会を築き上げていくために、このコロナ禍の中においても、私たちは障害福祉サービスを提供する事業者として地域の中で何を成すべきかを考え、今後も地域の皆様と様々なチャレンジをしていこうと考えています。そのために、日々研鑽を積むことを惜しまず、支援の質の向上に努めます。

そして、「笑顔」をもって「地域」の中で活かし合うことを継続します。

**就労継続支援 B 型事業**

**利用者の推移**

令和 4 年 4 月 1 日	新規入所	1 名	
令和 4 年 8 月 1 日	新規入所	1 名	...在籍者数 41 名
			総在籍者数 41 名

**生活介護事業**

## 利用者の推移

令和4年7月1日

退所

...在籍者数 22名

総在籍数 22名

## 就労継続支援B型事業

### 1 所員の内訳

出身市町村別

長野市 29名 信濃町 2名 須坂市 3名 飯山市 1名 小川村 1名 筑北村 1名  
千曲市 3名 高山村 1名

性別 男 31名 女 10名

平均年齢 39歳（令和4年8月1日現在）

障がい種別 知的障がい 37名 精神障がい 4名

### 2 通所方法

送迎バス利用 長野駅より 10名 大豆島東団地より 5名 信濃川田駅より 4名  
川中島駅より 2名

家族の送迎 6名

自転車または車（本人運転による） 5名

徒歩 7名

路線バス 1名

### 3 日課について

8:50	通所 着替え
9:00 ~ 9:10	朝会 ラジオ体操
9:15 ~ 10:30	作業
10:40 ~ 12:00	作業
12:00 ~ 13:00	昼食 休憩
13:00 ~ 14:30	作業
14:30 ~ 14:50	休憩
14:50 ~ 15:35	作業
15:35 ~ 15:45	掃除
15:45 ~ 16:00	着替え 帰りの会

土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日（作業）の場合は10:00～16:00まで。Q L活動の場合は、活動内容によってその都度設定。

毎週木曜日の午後はカルチャー活動

### 4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
69.7%	66.2%	77.0%	71.9%	64.6%	73.6%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均



72.8%	71.2%	69.6%	65.5%	74.7%	75.7%	70.4%
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

毎週土曜日及び祝日は自由通所日（Q L活動日以外）としているが、通所率は低い。

月2回ほど土曜日に実施しているQ L活動は、今年度もコロナ感染症の影響で取り組めなかった。

精神障がいのある数名は通所率が低いが、その他の所員は概ね元気に安定的に通所した。

## 5 個別支援計画について

所員に対して、日々支援を行うにあたって、最も大切となってくるのが個別支援計画である。計画を立てるにあたり、事前にご本人やご家族、関係機関等とのケア会議を開き、アセスメントを行い、ご本人のこれまでの歩みや、得意なことや苦手に行っていること、日々の行動や日常生活などで配慮することなどを確認し、個別支援計画を立てる。個人個人のニーズは様々であり、出来上がってくる個別支援計画もそれぞれ違う。この個別支援計画が重要な要素、手段となって支援が展開されていく。

## 6 就労活動について

### 《 平均工賃 》

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	19,777 円	10月	18,518 円
5月	20,588 円	11月	19,331 円
6月	25,486 円	12月	19,815 円
7月	20,009 円	1月	19,960 円
8月	20,960 円	2月	20,459 円
9月	21,269 円	3月	26,484 円
平均工賃額 21,375 円			

工賃については、昨年については、コロナ禍のため、大幅に下がったが、今年度については、100%戻っていないものの、減額支給の月はなかった。

### 【 クリーニングチーム 】

令和4年度 事業総括

【売上目標】 ¥ 24,000,000

【売上実績】 ¥ 30,733,672

**「タオルも人も結束力！ コロナに負けず、伸ばそう売上！伸ばそう個性！」**

【評価及び課題】

<評価>

・コロナ禍であった世の中の状況も徐々に変化していき、規制の緩和・イベントの再開・旅行支援等により人の往来が増えた一年であった。長野県に於いては、2022年4月～6月に善光寺御開帳が開催されるなど、県外からも多くの参拝客が訪れた。長野市内の宿泊施設も期間中は満室が続くなど、高稼働であり売上アップに繋がった。

しかし重油・洗剤・資材費等も高騰を続け、経費も増加してしまった事実があり、2023年1月にニックス株式会社様をお招きし、洗剤の処方について見直しを図った。 下記参照

< 洗剤処方の見直し >

【1号機・2号機 提案処方】

商品名	価格	k g単価	工程	白タオル		色タオル		私物	
				使用量	コスト	使用量	コスト	使用量	コスト
ピュアランドリー	¥4,800	¥240	本洗	200 c c ¥48.0		c c ¥00		c c ¥00	
NCS-PC	¥6,720	¥269		400 c c ¥107.5		c c ¥00		70 c c ¥18.8	
ナガクリーン	¥4,650	¥465		c c ¥00		c c ¥00		c c ¥00	
アクア	¥3,600	¥240		c c ¥00		250 c c ¥60.0		250 c c ¥60.0	
ネオクリーン NPC	¥5,280	¥528		c c ¥00		c c ¥00		c c ¥00	
合計金額				¥155.5		¥60.0		¥78.8	

削減率      -7.7%                      -48.4%                      -47.4%

【3号機・4号機 提案処方】

商品名	価格	k g単価	工程	白タオル		色タオル		私物	
				使用量	コスト	使用量	コスト	使用量	コスト
ピュアランドリー	¥4,800	¥240	本洗	150 c c ¥48.0		c c ¥00		c c ¥00	
NCS-PC	¥6,720	¥269		300 c c ¥107.5		c c ¥00		50 c c ¥18.8	
ナガクリーン	¥4,650	¥465		c c ¥00		c c ¥00		c c ¥00	
アクア	¥3,600	¥240		c c ¥00		170 c c ¥60.0		150 c c ¥60.0	
ネオクリーン NPC	¥5,280	¥528		c c ¥00		c c ¥00		c c ¥00	
合計金額				¥116.6		¥40.8		¥49.4	

削減率      -7.7%                      -48.4%                      -46.6%

現状、提案前と比較しても製品の白度を保ちつつ、使用量を抑えられており、経費削減につながっている。今後も適宜見直しを図りながら経費節減の意識を持ち続けていく。

・製品単価についても一部値上げが実現しコロナ禍だった昨年、一昨年と比較しても充実の一年であった。

・染み抜きも溜め込まないよう、当日出た汚れには薬品を塗布し、翌日の製品とまとめて洗うなどして生産性の向上に繋げた。今後も作業場の清潔を意識し、気持ちよく仕事に向かえる環境を整えることで作業効率、生産性の向上に繋げていきたい。

<課題>

・前年度同様、変わらず重油・電気代の高騰が深刻であり、いかにして効率の良い仕事をするか常に考えていく必要がある。朝、集中して稼働するのではなく、夕方以降に人手を確保し前倒しの作業を進めることで翌日の流れがスムーズになるのではないかと...今後も工夫をしながら、生産性の向上に繋げたい。

・機械修理に関しては、日々のメンテナンス(フィルター清掃、機械への注油、薬剤管理)を行っていても、経年劣化による水や蒸気漏れが多々発生し、その都度修理を依頼した。些細な変化や異常に気付けるよう、稼働中も機械に気を配りながら業務を進めていく。

<来年度に向けて>

・今年度と同様に経費削減の意識を皆で共有するとともに、作業場の整理整頓・生産性の向上について考える。

【 農作業チーム 】

目標売上額...2,300,000 円

売上げ実績...2,125,959 円 (対目標額 92%)

「まだまだ行きます！新たな取り組み！！拡げるみんなの可能性！！！」

<作業内容>

- ・新規に借りる畑での小麦の栽培。
- ・年間通じて計画している野菜の栽培
- ・畑管理  
(育苗、野菜の周囲や畝の中の草取り、石取り、草刈り)
- ・収穫
- ・袋詰め等の出荷準備
- ・きのこキャップ  
(年間通して軽作業より)
- ・花束の販売(仕入れ)
- ・ベーカリーカフェ CoCo・キッチン CoCo 等への配達
- ・その他

<評価・課題>

・昨年同様コロナ禍で少しずつ緩和されたが、イベントになかなか参加出来なかった、中止などもあり、売上が伸びなかった。目標売上額をクリア出来なかった。

・新たな試みを図った。

小麦の栽培 11月ごろに種蒔きし、来年度には初めて収穫する。

冬場の作業で中野市の高橋きのこ園からキノコキャップの作業をし、冬場の売上の確保や所員の能力を再確認や新たな発見があった。

- ・以前からの継続で、堆肥を重点的に沢山入れる事、雑草対策として野菜に応じてマルチシートを使用した事で出来の良い美味しい野菜を沢山作る事が出来た。
- ・収穫した野菜は売り切るようにし在庫や破棄を減らすこと、市場やゆーぱれあを有効活用し売る事が出来た。
- ・家庭通知を行い宣伝、営業することで、所員の家庭からも沢山注文を頂けた。
- ・小豆に関して、例年の反省を活かし雑草処理の対応をしたが、夏場の高温で種が土の中で茹で上がってしまい前年よりも収穫量が減った。
- ・堆肥取りのチームワークが良くなり、所員それぞれが役割をよく理解し、以前よりも時間を短縮して作業を行うことが出来てきている。
- ・各々が自分のやりやすいやり方を考えながら行うことが少しずつ出来てきた。
- ・新たな作業をするにあたり、各々の能力の把握を再度見直す。
- ・B級品大豆・黒豆をベーカリー、ぱれあで使ってもらえた。

<今後について>

麦の栽培に際して、借りる畑が増えるため、農地の整理を図る。

- ・再開する品種(ブルーベリー・トウモロコシ)を栽培する。新たな品種に挑戦する。
- ・農作業班の使える車両を1台増やして欲しい。  
現在軽トラックとステップワゴンを使っているが、年々職員及び所員の人数が増えている。(職員5名所員8名 計12人)乗れたとしても10人までの為、行けない人がいることになり他班にも迷惑をかけてしまう。また車両の確保も前もって行わないといけない。
- ・冬場の作業場の確保 農作業の谷間の時期に新たな作業の模索
- ・前年に引き続き、時期によって作業が重なってしまい、また人員不足等で雑草の処理が追い付かず、収穫量が減ってしまう事がある。マルチシートを有効活用し、出来るだけシートを敷いて対応をしていく。
- ・所員それぞれの特性を活かし、バランス良く作業が出来るように個々の特化した面を見つけ、更なるスキルアップを目指していく。
- ・雨の日や冬場に出来る作業として、軽作業からきのかきアップの作業を分けてもらえることになり継続していく。新たな作業の模索
- ・熱中症対策として、休憩を細かく取り、こまめな水分補給や塩分のある飴の支給等行っていく。
- ・キッチン CoCo、ベーカリーカフェ CoCo、ぱれあ食堂との打合せをに行い、なるべく希望に応えていけるようにしていく。
- ・出張販売新規の場所模索

### 【 移動販売チーム 】

<販売活動報告>

野菜販売全体を見れば売上は上がったが、目標以上には程遠い状況。

#### 火曜日...県庁・損保ジャパン

県庁以外に新たな場所としてセルフセンターより損保ジャパンでの販売が増えた。

少しずつではあるが、固定客がついてきた。

#### 水曜日...市役所・ふれあい福祉センター他

今年度は昨年度から続くコロナウイルスの影響で人通りが少なく集客することが厳しい状況が続いた。昨年度同様、早い段階から販売をスタートする事が出来たが、行けない時期が多く、売上は中々伸びなかった。

#### **金曜日...長野市社会福祉事務所他**

合同庁舎から異動された方や新規の方を獲得した。新鮮な野菜を楽しみにしてくれている常連さん達はいるが、タイミングによって外へ出払ってしまっていたり、同じ野菜が続くと飽きてしまったり...そういったことが理由として考えられる。

#### **JAVJAV**

市役所等での売れ行き次第だが、不定期で販売させてもらっている。来るのを待っていてくれる所員さんもいる為、今後も継続して行こうと思う。

#### **アトリエ内販売(家庭通知等)**

家庭通知での宣伝や、送迎で来た親御さんへの声掛け等で、売上アップへと繋げる事が出来た。来年度も引き続き、宣伝・声掛けを続けていく。

#### **キッチン CoCo**

今年度は、昨年度よりも売り上げが格段に落ちてしまった。連絡等は密にしていたがなかなかニーズに合うことができなかった。だが年度終わり頃から少しずつ注文が入った。来年度は、ニーズに応えられるようにしていきたい。

#### **ベーカリーカフェ CoCo**

昨年度から関係を立て直し、頻繁に声を掛けることで多くの野菜を使用してもらえる事が出来たことで、売上は上向きになった。次年度も継続して声を掛けていく。

### **【 喫茶サロンチーム 】**

#### **売上実績...132,420 円**

- ・ 所員 4 名・職員 3 名で、毎日所員 1 ~ 2 名・職員 1 名体制の当番制で行った。
- ・ 毎日平均 10 名弱程度のお客さんが来てくれた。最も少ない時は 1 日 4 名、多いときでは 15 名ほどの利用があった。
- ・ 4 月から 9 月までは、冷たい飲み物のみの提供で、定番のメニューの他にも楽しみメニューを毎日出した。楽しみメニューは大変人気があった。
- ・ 10 月から 3 月までは、冷たい飲み物のほかに、温かい飲み物も提供した。
- ・ お菓子も定期的に種類を変えたりして、メニューに飽きがこないように工夫をした。
- ・ 100 円でジュースとお菓子が付くので、お得感があると思う。
- ・ お客さんとの会話を楽しんで営業ができた。
- ・ 時には所員さんの好きな CD をもってきて、曲をかけていつもと雰囲気が変わって良かったと思う。

#### **< 今後の課題 >**

- ・ 良くない態度で当番を行っている所員もいるので、仕事としてやっているという自覚を持たせるように支援を行っていく。
- ・ みなさん当番を何年か続けて行っているため、以前より指示を出さなくても、スムーズに仕事が行なえるようになってきたので、馴れ合いにならないように気を付けていきたい。

- ・お客さんに対してもう少し感謝の気持ちを込めて、声掛けが出来るようにしていきたい。  
「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など
- ・色々なアイデアを出し合って、季節感を出したりするなど喫茶サロンの雰囲気をもっとよくつくる空間となるようにし、毎日安定してたくさんのお客さんが来てくれるように頑張る。
- ・常に喫茶サロンがきれいな状態になるように掃除を徹底する。
- ・常連のお客さんが固定されているので、新しく来てくれるお客さんを増やせるような工夫を考える。
- ・毎年講習会を受けているので、学んだことを生かせるように支援をしていく。
- ・将来は、アビリンピックに出られるように成長してほしい。

< 売上実績 >

R 4.4	11,600	R 4.9	18,700
R 4.5	13,300	R 4.10	14,120
R 4.6	21,000	R 4.11	11,300
R 4.7	13,000	R 4.12	2,000
R 4.8	11,800	合計	116,820

昨年同様、コロナの影響でイベント関係が全て中止となったり、12月の途中から営業を停止したりして、売り上げが大幅に減少している。

次年度の売上目標は、1か月平均 15,000 万円、年間で 16 万円を目指す。

【 所外就労チーム 】

長野リネンサプライ(株)須坂工場

売上実績 (R4 年度) ...¥2,838,000

作業について

実施内容

所員参加人数 < 3月第4週実績 >

月	火	水	木	金
5	5	5	5	5

- ・アトリエ専用の作業場で、ラバーシーツの検品・仕分け・たたみ作業を行なった。
- ・アトリエ CoCo 職員を常時 1 名配置し、作業に集中し品質の安定を保つこと、スピードアップを指導した。

運営面

- ・ラバーたたみを終了次第、工場 2 階にてタオルたたみを行った。

評価、課題

- ・ラバーシーツのたたみ直しは、相当な時間のロスなので、たたみ直しの少ない方法を繰り返し教えていく。

エア・ウォーター

売上実績 (R4 年度) ...¥1,184,327 -

実施内容

所員参加人数 < 3月第2週実績 > (月・水・金のみ実施)

月	火	水	木	金
2		2		2

- ・中国からの材料が入らず、途中中断をはさみながら実施した。

運営面において

- ・机に向かい個人で作業する作業であり、集団での共同作業の多いクリーニングに馴染めない障がい特性を持った参加者が実力を発揮でき全体の作業量が増えた。

評価、課題

- ・従業員さんからの励ましや声掛けにより、一層の作業意欲に繋がりました。

今後に向けて

- ・予告なく作業が切れることも今後予想されるため、切れた時の作業の回しを考えていきたい。

### ケアブラザ若穂

売上実績 (R4 年度) ¥331,650-

所員参加人数 < 3月第4週実績 > (月・火・金のみ実施)

月	火	水	木	金
4	4			4

- ・浴室清掃、シーツ交換作業。限られた時間内に作業が完了できている。

運営面

- ・訪問時に全員で元気な挨拶ができ施設の方に暖かく受け入れていただいている。
- ・シーツ交換が出来る所員が限られており、風邪等で複数名欠席すると施設職員の方にお手伝いいただくことがあった。

評価、課題

- ・分担場所を集中して責任をもって行うことができた。
- ・挨拶を徹底した。事務所だけではなく、職員や利用者さんにも挨拶ができるようになってきた。今後も続けていきたい。
- ・目標時間を決めて、そこに向かってみんなで協力して終わるようにしている。
- ・私語を控え、作業に集中するよう促している。時々私語が増えてしまう人もいたので、今後も集中できるようにしていきたい。

### 公民館清掃

売上実績 (R4 年度) ...¥316,800-

実施内容

所員参加人数 < 3月第2週実績 > (月・水・木 実施)

月	火	水	木	金
	4		3	3

- ・綿内(火曜)、保科(木曜)、川田(金曜)の各公民館の、広間、料理教室、トイレ、廊下、階段、下駄箱の清掃業務。
- ・主に、ほうきの後みんなで水モップまたは、ぞうきんに分かれる。

運営面において

- ・週三回で午前中だけの作業。
- ・3名の所員のチームを組み、職員一人が付き添った。

- ・時間の制約を受けないので休む人が出てもカバーしやすい作業であった。
- 評価、課題
- ・冬は水モップが出来ないので時間が余る。そのため窓拭き等見付け掃除をして夏にできなかったところを隅々まで掃除することが出来た。
- ・地域の若穂公民館をきれいにしていくと言う気持ちを持ち、チームとして取り組めた。

#### 川田駅・綿内駅トイレ清掃

売上実績 (R4 年度) ...¥107,800-

実施内容

所員参加人数 (火・水・金 実施)

月	火	水	木	金
	4	3		4

- ・川田駅・綿内駅トイレ・・・女子トイレ、身障者用トイレの清掃業務
- ・ボランティアで、トイレ・駅の周りのゴミ拾いをしています。
- 運営面において
- ・週3回で午前中1時間での作業
- ・3～4名の所員のチームを組み、職員1人が付き添った。

評価、課題

- ・それぞれ分担して、便座のブラシ、トイレ内の掃き掃除、洗面台、ゴミ拾いに分かれて責任を持って行うことができた。
- ・駅を使う方に大きな声で挨拶ができた。今後も続けていきたい。

#### 【佐川急便】

売上実績 (R4 年度) ...¥415,093

今年度より、仕事のある日のみ佐川へ出向き、それ以外の日は、軽作業チームの板の作業をチームで取り組んだ。板の入荷は多く、佐川所外の委託代より工賃を稼いだ  
今後についても佐川急便の作業量が増えることは見込めないため、佐川チームとして引き続き板作業を行い、新規の作業を探して行きたい。

#### 【ぱれあ CoCo 食堂】新規事業

売り上げ実績 (R4 年度) ...¥3,503,040

実施内容

所員参加人数 (月・火・金 実施<土・日もオープンはしているが所員の實習はなし>)

月	火	水	木	金
1				1

- ・綿内湯～ぱれあ内の食堂スペースをお借りして令和3年8月にオープンし、所外実習の位置づけで、所員も一緒に業務に当たっているが、コロナ感染症レベルが上がると、所員の所外活動は取りやめた
- ・コロナ禍の影響を受けてはいるものの、今後の展開次第では、時間の拡大や売り上げアップを図りたい

## 7 イベントについて

新型コロナウイルス感染拡大で、オープンイベント及び CoCo 家族旅行は実施できなかった。



比較的感染状況が落ち着いていた10月にリモートHawaii旅行を、12月クリスマス会を企画した。所員の皆さんのモチベーションを下げない工夫が必要となった

## 8 QOL活動について

イベント同様に一回も企画できずに終わった。

## 9 カルチャー

毎週木曜日の午後に、スポーツカルチャー、音楽カルチャー、アートカルチャーに分かれて実施。

カルチャーの時間に年4回大掃除を、年2回防災訓練を行った。

### スポーツカルチャー

主として南長野運動公園体育館を借り、好きなスポーツを行った。年度当初は新型コロナウイルス感染拡大を受けて、緊急事態宣言が終わるまでは、ドライブなどで凌いだ。

### 音楽カルチャー

昨年度に引き続き外部講師を招き、アート活動を行った。その作品が10月・11月の展覧会に出品することができ、所員のモチベーションも上がった。

### アートカルチャー

それぞれ課題を決め集中して活動ができた。塗り絵の作品が多かった。

## 10 保健衛生について

### 健康相談について

日時	:	毎週(火)13:00~16:30	に一人10分程
実施者	:	嘱託看護師	: 斎藤先生
実施内容	:	体重測定、血圧測定、健康相談	
相談者数	:	毎回24~27名程受診。	
		生活介護の方...毎回	
		就Bの方	月1回.....約10名
			3~6ヶ月に1回.....約30名

### まとめ

- ・職員に話している事とは別に自分の思いや出来ごとを、健康相談の時間に相談をするという方が多い。家庭や仕事や趣味や休日の出来ごと等。健康相談で、先生と関わる事を楽しみにしている所員さんも多い。
- ・健康相談の結果は、職員の朝会で周知し、緊急の場合は、担当職員と個別に話をしたり、地域生活支援センターや給食係にも相談し、全員で共有した。
- ・健康状態が思わしくない場合は、担当職員から結果を家庭へ報告してもらった。主に通院依頼や血圧や体重が基準値を大幅に上回っている方へ連絡した。肥満については、アトリエだけでなく家庭でも気を配っていただく必要がある。間食や食事の量、運動についての注意点をプリントし配布させて頂いた。
- ・体重が増え続けている方が、何名かいらっしまった。

### <斎藤看護師より>

- ・体重増加に苦勞されている方が目立つ。体重記録表を本人と見て、少しの変化にも声をかけている。

- ・一方、体重チェックで落ち込む方がいるので、サラッとした対応を心がけている。コミュニケーションのひとつとして健康相談があるのだと思う。
- ・精神疾患がある人は 4~5 月に落ち込む時期なので、注意深く相談をしている。
- ・昼休みのウォーキング楽しみながら体重面に効果が出ている。
- ・血圧が高い方には生活面についてお聞きし、塩分等に注意するよう話すとともに通院を勧めた。また、体重増加とともに血圧上昇の方がおり、注意して経過を見ている。

### **AED 講習会**

- 日時 : 5月18日(水) 16:15 ~ 17:00
- 実施機関 : セコム上信越株式会社
- 実施内容 : 心肺蘇生とAED使用の流れについて

### **健康講話**

- 日時 : 5月31日(火) 15:20 ~ 15:45
- 実施内容 : 夏に向けて気持ち良く生活する方法について  
\* コロナ感染拡大で冬場の健康講話は延期

### **健康診断について**

#### **< 1回目 >**

- 日時 : 6月30日(木) 13:30 ~ 16:30  
7月7日(木) 13:30 ~ 16:30
- 実施機関 : 特定非営利活動法人 メディカルチェック
- 実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、聴力検査、  
(血液検査、胸部レントゲン、心電図) 医師による問診

#### **< 2回目 >**

- 日時 : 9月9日(金) 14:00 ~ 16:00  
9月13日(火) 14:00 ~ 16:00
- 実施者 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師
- 実施内容 : 問診及び聴診

### **インフルエンザ予防接種**

#### **< 一回目 >**

- 日時 : 11月7日(水) 13:30 ~ 14:30
- 実施機関 : 立岩内科小児科医院 (立岩先生 + 看護師さんの2名)
- 実施内容 : 予防接種
- 実施人数 : 80名 (所員 + 職員 + 他事業所)

#### **< 二回目 >**

- 日時 : 11月15日(火) 14:00 ~ 14:30  
(実施機関・内容については同上)
- 実施人数 : 53名 (所員 + 職員 + 他事業所)

**まとめ(以上、保健行事について)**

- ・今年度もコロナ流行があったが、一連の保健行事はほぼ例年の日程で推進できた。
- ・独自の行動指針を掲げ家庭通知を出し家庭にも協力してもらった。
- ・健康診断事業者のメディカルチェック様とは事前の打ち合わせも細かくでき、スムーズに実施できた。
- ・インフルエンザ問診票...何点か直前に記入不備に気付く。事前にチェックが必要。

#### その他の活動について

- ・毎日特に給食前の手洗い・うがい・消毒の実施。
- ・医薬品の管理・補充・整理整頓。ノロ処理セットの用意と管理。
- ・月末の金曜日に上履きを、毎週末に歯ブラシとコップを持ち帰るよう呼びかけ。
- ・A E Dの管理。

#### コロナ感染症について

- ・コロナウイルス対策（次亜塩素酸ミスト等設置、ドアノブ・手指消毒、1時間毎の換気、所員・職員の検温、パーテーション設置、健康観察等）
- ・マスク着用の励行・3密を避ける・換気の徹底等対策を取りながら重点的に行った。
- ・健康チェック表を配布し、毎朝検温と咳・鼻水等体調の観察をして頂くよう家庭やホームとも連携を取った。
- ・11月第4週以降、感染経路が不明のコロナ陽性者が6名確認されたため、11/30～12/2まで施設を閉所した。
- ・国の方針を注視しつつ、常に障害者施設として適切な措置を取るようにした。

#### まとめ（その他活動について）

- ・手洗い、うがい、消毒は、給食前に毎日実施できた。
- ・夏場や冬場の着替えや入浴について、定期的に声かけをし、清潔を保つようにしていく。
- ・コップ・歯ブラシ、上履きをそれぞれ持ち帰るようにした。お家の方にとっては、交換時期や臭いの確認等、使い方を把握できたのではないかと思う。

#### 11 給食について

##### 保健衛生に関することについて

- ・コロナ対策として、食べる向きに向かい合わないよう、給食当番がイスを片付けてみんなの前を向いて食べた。食べているときは極力話さないよう気を付けた。手すり等の消毒を毎日2回担当者が行っている。
- ・食事前のうがい・手洗い・消毒を徹底した。
- ・熱中症・インフルエンザ・ノロウイルス、食中毒等について、保健衛生係と連携して注意・予防を呼びかけた。

##### 係の活動について

- ・喫食記録については、数のミスを防ぐため二重チェックし厨房に伝える。
- ・毎日の食数を早めに把握するために喫食表を全員に記入してもらう。
- ・喫食表を見て、2日先の喫食数を毎日キッチンにFAXで報告する。
- ・給食のことで気づいたことなどがあれば、早急にキッチンへ伝える。
- ・所外の弁当の数を毎日（木曜以外）FAXで報告する。

##### アレルギー対策について

- ・食品アレルギーによる事故を防ぐために、給食アンケートにて「食物アレルギー」の項目を作り、身体に影響が出る食材や、その症状、度合い、医師からの指示等の確認項目を入れ込む。必ず親御さんに確認してもらい、皆で情報共有を図る。(好き嫌いアレルギーを混同している所員さんも多い。アレルギーとはしっかり区別を付けていく)
- ・実習生の受け入れの際にも、必ず先生に「食物アレルギー」の有無や症状、程度について確認をとり、情報共有を図っていく。

#### キッチンからの要望

- ・なるべくアトリエの野菜を多く使うようにした。
- ・葉物は虫が付くので、もう少し農薬を増やしてほしい。
- ・冷凍食品をなるべく使わず、手作りのものを提供するようにした。
- ・血圧の高い人は、みそ汁を薄味にして提供している。

## 12 防災安全について

### 実施内容・時期

- ・自衛消防団の編成及び調整(4月に見直し及び変更)
- ・職員緊急連絡網の作成(4月に見直し及び変更)
- ・避難訓練の実施(5月27日・11月24日)
- ・若穂消防署の方と打ち合わせ。消防計画作成(変更)届出書の提出。(5月)
- ・消防立ち入り検査の対応
- ・消防点検の実施:(毎月実施)
- ・総合点検:(年2回実施)丸登電業に依頼。

### 評価・課題

#### <避難訓練>

- ・緊張感のある避難誘導ができた。職員による大きな声での呼びかけもできていた。ほとんどの所員がスムーズに行動できた。
- ・避難時間が3分代で速やかに避難が行なえた。多くの所員が予定どおりの行動が出来ている。

#### <消防点検>

- ・避難口、避難経路、消火設備(消火器含む)の場所は、その都度確認して安全を確認していけるようにしたい。今後も継続していく。また、係だけでなく、各作業担当場所で気付いたことがあれば、対応していただけるように確認等行っていきたい。

## 13 地域との協働について

今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大により、今まで当たり前にかできたことが、全くできない年となってしまった。

体験実習等は感染状況を見ながら実施し、今年度は多くの実習生を迎えた

長野養護学校...11名 松本養護学校...1名

地域諸団体と連携も行うことができなかった。

保科小学校との交流会についても同様であったが、比較的感染が落ち着いていた時期に、2年生の見学を受け入れた

## 14 職員研修について

毎朝の打ち合わせ会、職員会議・ケア会議(週1回)を行い、日常の気づきを共有し、自己の

支援の振り返りにつとめた。昨年に引き続き、ワークを多く取り入れ、参加者の声を多く拾えた。作業チームのストレングスや5ピクチャーズを行い、売上目標や振り返りができた。また、日常業務の知識及び技術の研鑽につとめた。

全員参加の職員会議を月初めに行うことで、今までにない気付きも生まれた。

また、障がい者虐待防止の研修も行った。

外部の研修はほとんどがリモート研修となった。

主催・実施主体	研修名	出席者
社会就労センター関係	長野県セルブブロック会議	1名
	福祉就労強化事業「工賃アップ基礎セミナー」	1名
	福祉就労強化事業工賃ステップアップセミナー	1名
長野県知的障がい者福祉協会関係	知障協代表者会	1名
	会計研修	1名
	県知障協総会	1名
	知障協施設長会研修	1名
	知障協事務部会	1名
	日中活動支援部会	2名
	強度行動障害支援者養成研修	2名
長野市自立支援協議会関係	長野市障害ふくしネット しごと部会（毎月）	1名
	長野市ふくしネット運営部会（毎月）	1名
	長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	2名
長野県・県社協関係	苦情対応システム研修会	1名
	虐待防止・権利擁護研修会	2名
その他	中小企業家同友会	1名
	感染症予防講習会	1名
	サービス管理責任者研修	1名
	安全運転管理者講習	1名

## 15 CoCo 家族会ながのについて

事務局をアトリエ CoCo 内におき、運営を補佐した。

家族会についても他の取り組み同様、コロナ禍で全く取り組むことができなかった

## 16 職員体制について

所長 1名 サービス管理責任者 1名 目標工賃達成支援員 1名

生活支援・職業指導員 6名 事務員 1名

看護師(嘱託) 1名 医師(嘱託) 1名 運転手(嘱託) 1名

## 生活介護事業

### 1 所員の内訳

出身市町村別

長野市 22 名 千曲市 1 名

性別 男 12 名 女 11 名

平均年齢 30.5 歳（令和 3 年 4 月 1 日現在）

障がい種別 知的障がい 22 名 身体障がい 6 名（重複記載）

### 2 通所方法

送迎バス利用 長野駅より 4 名 信濃川田駅より 2 名 川中島駅より 3 名

家族の送迎 12 名

バイクまたは車（本人運転による） 0 名

徒歩 0 名

路線バス 2 名

### 3 日課について

8 : 5 0	通所 着替え
9 : 0 0 ~ 9 : 1 5	朝会 ラジオ体操
9 : 1 5 ~ 1 0 : 3 0	作業
1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 0 0	作業
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食 休憩
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	作業
1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 5 0	休憩
1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 3 5	作業
1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 4 5	掃除
1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 0	着替え・帰りの会

土曜日は、活動内容によってさまざまに設定する。自由通所日（作業）の場合は 10 : 00 ~ 16 : 00 まで。月 2 回ほど土曜日に実施している Q L 活動は、今年度もコロナ感染症の影響で取り組めなかった。

毎週木曜日の午後はカルチャー活動

### 4 通所状況

通所実態（通所率）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
56.5%	56.9%	66.6%	60.4%	60.5%	58.6%	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均
70.1%	60.1%	69.2%	62.0%	67.0%	77.1%	61.6%

毎週土曜日及び祝日は自由通所日（Q L 活動日以外）としているが、通所率は低い。

月 2 回ほど土曜日に実施している Q L 活動は、定員を設けている。

利用量が少ない所員数名は通所率が低いのが、平均を下げてしまっている。その他の所員は概ね元気に安定的に通所しており、通所率は上記数字より高い。

### 5 生活介護について

生産活動の他に、利用者の重度化に伴い、マンツーマン支援・食事介助、トイレ介助・外出支援など、個人個人のニーズに合わせた支援を提供している。利用者増に加え、作業スペースを2ヶ所にし、改革を図った。今後についても、利用者の変化に柔軟に対応できる支援体制を整えていきたい。

## 6 個別支援計画について

就労継続支援 B 型事業と同様

## 7 就労活動について

《 平均工賃 》

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	13,100 円	10月	12,041 円
5月	11,148 円	11月	12,159 円
6月	13,902 円	12月	16,889 円
7月	14,524 円	1月	11,470 円
8月	11,591 円	2月	10,436 円
9月	12,440 円	3月	14,226 円
平均工賃額 12,827 円			

### 【軽作業チーム】

目標売上額...2,600,000 売り上げ実績...3,543,618

ひとりひとり、みんなが輝く軽作業 ~個々(CoCo)に力を発揮しよう~

< 作業内容 >

自主生産 ウェス加工・販売 ロンドロール販売  
 受託作業 ベーク板のテープはがし(カインシエレクトロニクス(株)様より)  
 きこキャップ(有ヤナギハラ産業様より)  
 脱脂作業(カインシエレクトロニクス(株)様より)

< 評価及び課題 >

自主生産

ウェス加工

- ・ウェス地に切り込みを入れる 裂く 糸を取る ウェスを積み重ねるといった行程をそれぞれ所員の得意なところで分業し、効率よく作業を進めることができた。
- ・数件の新規取引先があった。今後も継続して注文いただけるよう営業していきたい。
- ・ウェスサンプルを作り、チラシを添付して営業活動をしていく。

ロンドロールながの販売

- ・リピーターから定期的に注文を頂いて、安定した売り上げが得られた。
- ・各家庭や企業にもチラシを配り、注文をたくさんいただく事ができた。

受託作業

カインシ(ベーク板のテープ剥がし)

- ・入出荷の管理を徹底して計画的に進めることができた。
- ・テープ剥がしの作業性が早まったことで、小さいテープの取り残しが多かった。

- ・週2回(火・木曜日)の入出荷になり枚数は安定していたが、R5、3月頃からパソコン製造販売の減少に伴い、ベーク版の入荷枚数が減ってきている。今後も動向を注視しながら佐川チームと協力して作業を進めていきたい。
- ・作業班は2班に分かれるも板の作業は協力して行い、納期に間に合わせている。

#### カイシン(脱脂作業)

- ・佐川チームと協力しながらスーパーハウスで十分な換気の下で行うことができた。
- ・きれいな仕上げに満足頂いている。

#### きのこキャップ

- ・キャップの蓋外し機械も、1人でなく、複数人で交替しながらできるようになった。
- ・昨年度から実施していく中で、キャップ掃除が得意な所員、機械を使った作業が好きな所員など、それぞれに合った作業内容が行えている。
- ・キャップ掃除のクオリティが向上。検品もほぼ必要ない所員が増えている。

#### その他

- ・現在2班に分かれて活動しているが、所員、職員の体制や仕事内容を割り振って、それぞれが活躍出来るように工夫している。
- ・所員と職員の関係が良好で、何か問題が生じても皆で話し合い解決することができるチームに成長している。

#### ウエス 注文先別売上

1kg360円にて販売

種類	単位	注文先	数量	金額(円)
シート	kg	カイシンエレクトロニクス(株)	180	62,300
		(株)シンセイ商会	210	71,100
		S&S アドバンステクノロジーズ	40	14,400
		(株)アルカディア	10	3,600
		イーウィングオートリサイクル	4	1,440
		S&S コンポーネンツ	110	39,600
		オート信州(株)	6	2,160
		オリオン機械(株)	30	10,800
		小林サイクルモーター商会	8	2,880
		(有)小林車両	10	3,600
		佐藤製作所	5	1,800
		(株)鈴木	420	151,200
		タイガー情報機器(株)	60	21,600
		テクノエクセル(株)	20	7,200
		長野市衛生センター	20	7,200
		長野ジェコー(株)	380	136,800
		ワールド開発工業	20	7,200
若穂農業機械センター	10	3,600		



		その他	5	1,800
B T (カット)	枚	須坂工場	4040	4,444
		アクアテック	200	*1,700
		その他	26300	189,360
B T			0	0
F T		(有)アリスエック	100	1,800
		三浦工業株式会社	1600	28,800
	その他	120	2,160	
合 計 金 額				778,544

#### ウエス 月別売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
58,400	51,940	46,080	62,100	74,310	80,140	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
61,874	68,040	86,400	62,640	78,480	48,140	778,544

#### ベーク板売上

月	枚 数	金 額
4	15,431	154,310
5	12,136	121,360
6	18,044	180,440
7	13,314	133,140
8	12,753	127,530
9	12,350	123,500
10	12,415	124,150
11	14,930	149,300
12	15,671	156,710
1	11,882	118,820
2	10,101	101,010
3	6,299	62,990
合 計	155,326	1,553,260

#### ロンドロール、ファイル売上金額

月	ロンドロール	ティッシュペーパー	合 計
4	31,200	12,000	43,200
5	15,360	2,000	17,360

6	21,600	7,200	28,800
7	10,560	0	10,560
8	4,800	400	5,200
9	43,200	1,200	44,400
10	13,920	12,800	26,720
11	7,680	1,600	9,280
12	24,960	4,000	28,960
1	25,920	5,600	31,520
2	10,080	2,000	12,080
3	21,600	1,600	23,200
合計	230,880	50,400	281,280

きのこキャップ売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
4,600	4,600	4,600	0	4,600	9,200	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4,600	0	8,050	4,600	4,600	4,600	54,050

脱脂作業売上

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
0	10,800	50,400	44,100	45,900	35,100	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
34,650	39,060	49,230	34,830	24,570	23,400	392,040

その他売上 (アート作品売上)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
48,400	0	1,300	500	0	0	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	209,000	3,000	0	262,200

\*その他：アート作品、カレンダー売上

**8 イベント活動**

就労継続支援 B 型事業と同様

**9 QOL 活動について**

就労継続支援 B 型事業と同様

他に軽作業チームの独自のレクレーションを月に 2 回程度実施している。

**10 カルチャー**

就労継続支援 B 型事業と同様

**11 保健衛生について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**12 給食について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**13 防災安全について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**14 地域との協働について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**15 職員研修について**

就労継続支援 B 型事業と同様

**16 家族会なごについて**

就労継続支援 B 型事業と同様

**17 職員体制について**

所長 1名 サービス管理責任者 1名 就労支援員 1名

生活支援・職業指導員 2名 事務員 1名

看護師(嘱託) 1名 医師(嘱託) 1名 運転手(嘱託) 1名

## キッチン CoCo

キッチン CoCo は、障害のある人の働く場を提供し、支えていくという就労系の事業所としての役割は担えていると思います。就労継続支援 A 型事業を実施していることにより、ハローワーク（公共職業安定所）を主に利用等の問い合わせが継続的にあります。

就労継続支援 A 型を利用しながら一般企業への就職を志している方、就労継続支援 A 型の継続的の利用を望んでいる方等、多様なニーズのもとでの利用実態があり、就労継続支援 A 型という事業を障害のある人が各々において自分らしく働くための手掛かりとして頼りにされていることと思います。今後の利用者の更なる増加の見込みも感じております。就労継続支援 A 型及び B 型の多機能型事業所としての運営体系の下で、障害のある人の個人個人の就労面でのニーズに丁寧に確実に応えることで、個人個人の生活が実り豊かなものとしておられるように今後も貢献していきたいと思っております。

当事業所の利用者たちは、お弁当の製造及び販売業務、配達及び回収業務、法人内の昼食提供業務、そして所外実習等においては、それぞれ自らの就労や作業面等での課題に挑み、各々の目的や目標に向かって歩んでいます。また、他法人が運営する、障害のある子どもたちが利用する事業所の昼食提供業務を受託して業務を行っており、障害のある人の就労の場として価値ある場を作ることができており、そして法人側からの業務の遂行状況等に関する評価も高くあります。そこで働く人たちにとっても嬉しく感じ自信を持って働くことができております。

令和 5 年度もこれまでと同様に事業所全員が協力し合い、個々が持てる力を存分に発揮して事業所運営にあたっていきたいと思っております。

### （利用者の推移）

・就労継続支援 A 型事業(定員 10 名)	総在籍者数	7 名
令和 4 年 5 月	1 名入所	・・・ 在籍者 6 名
令和 4 年 8 月	1 名入所	・・・ 在籍者 7 名
・就労継続支援 B 型事業(定員 10 名)	総在籍者数	5 名
令和 4 年 5 月	1 名退所	・・・ 在籍者 5 名
令和 5 年 3 月 31 日現在		
登録者数 12 名(就労継続支援 A 型 7 名・就労継続支援 B 型 5 名)		

### 就労継続支援 A 型事業

#### 1 所員の内訳

- (1) 利用者総数 7 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在)  
(2) 出身市町村別 長野市 6 名・高山村 1 名

- (3) 性別 男性1名・女性6名
- (4) 年齢 50.6歳(令和4年度末)
- (5) 障がい種別 知的障がい者 2名  
精神障がい者 5名

## 2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 0名
- (2) バイクまたは車(本人運転による) 5名
- (3) 公共交通機関利用 2名
- (4) 送迎(長野電鉄村山駅発着) 0名
- (5) 家族による送迎 0名

## 3 日課について

(基本)

8:15 ~ 12:30まで	着替え 作業 *途中に朝会・休憩あり
12:30 ~ 13:30まで	お昼 休憩
13:30 ~ 15:30まで	作業・掃除・帰りの会等
15:30	帰宅

利用者の体調や事情等によっては、個別に時間の調整をしています。  
土または日曜日は、作業状況や活動内容によって様々に設定しました。

## 4 通所状況

通所実態(通所率)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
94.3%	88.6%	82.6%	94.4%	75.2%	96.8%	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
98.6%	88.3%	96.8%	91.6%	100%	98.8%	86.7%

## 5 個別支援計画 就労継続支援B型事業と同様

個別支援計画では、本人や家族との面談や、関わってきた関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、行動や日常生活上等で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成しました。特に本人の願いを重視して、面談をする中で願いやニーズ把握するように努めました。さらには、面談日以外にも、適時に相談を受け、困っていることや頑張りたいことを聞き、そこからもニーズを拾って作成するようにしました。もし、生活の面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとり繋げるようにし、個別支援計画の目標として取り組めるものは入れるようにしました。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行いました。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたいと思えます。

## 6 就労活動について 就労継続支援 B 型事業と同様

### 【 お弁当製造、販売、配達作業 】

#### (1) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責任を持って行い、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達の際は、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないよう落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均 180 食のお弁当を作り配達しております。法人内の 8 箇所の事業所の昼食の提供も行っており、食数は 180 食位です。

安心・安全な食材を吟味し、野菜が豊富で手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めてまいりました。

#### (2) 評価及び課題等

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により、多くのイベントが中止になったため、特注弁当や日替わり弁当の注文数がかなり減ってしまいました。新規受注の増加やリピーター増加につながるようなメニュー構成や、味付け、盛り付けの工夫など課題はまだありますが、食中毒などの事故が無いよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んで行きたいと思えます。

また、今年度は食材料費や燃料費等の高騰により、食費及び弁当価格の値上げをしました。価格に見合った内容のものを提供していきたいと思えます。

今後も、安心・安全・美味しい食を追求し、所員・職員一丸となって着実に成果を上げられるようにひとつずつ丁寧に対応していきたいと思えます。

### 【 所外就労 】

令和 4 年度は、1 か所のみ委託を受けて行いました。

㈱角藤 ワインボトルのラベル貼り

ワインボトルのラベル貼りの作業を委託され、週 1 回程度で半日程度行いました。所員 1 名が、職員 1 名の付き添いにて作業にあたりました。作業内容はワインラベルのカットやワインボトルにそれぞれのラベルを貼るものであり、ミリ単位での精密さを求められるものであり、失敗するとやり直しが難しい作業です。集中力を求められ、かなり緊張するものでしたが、責任感を持って取り組むことができました。また、責任ある作業を任せられ、自身にも繋がっています。

### 【 給与額について 】

月	平均給与額	月	平均給与額
4 月	94,214 円	10 月	100,192 円
5 月	96,205 円	11 月	92,199 円
6 月	91,369 円	12 月	102,046 円
7 月	96,300 円	1 月	95,399 円
8 月	89,704 円	2 月	97,220 円
9 月	100,993 円	3 月	110,918 円

平均給与額 97,405 円 ・ 支払い総額 7,695,006 円

7 カルチャー・衛生講習 就労継続支援 B 型事業と同様

(1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
6/16(木)	新型コロナウイルス感染予防について	7名
新型コロナウイルス感染状況の説明、及び予防対策について、再度、話をする。 手洗いうがい・マスク着用・アルコール消毒等を促し、3密防止等の説明をする。		
7/14(木)	熱中症予防・対策について	7名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつける。		
10/13(木)	インフルエンザ予防について(コロナ感染症対策含む)	8名
インフルエンザの予防接種のよびかけ。また、もしかかった場合の説明。外出する時にはマスクの着用。年末年始などでかけることも増えてくるので、人混みに行くときには特に注意をする。コロナ感染症対策についても改めて説明する。		
12/30(木)	防災訓練	15名
洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路の確認を行う。		
2/16(木)	消費者被害防止見守りネット情報	7名
長野市消費者センターからメールで送られてくる消費者被害の情報を提供。 身近なところで起きている特殊詐欺や、電話での勧誘等について説明する。		

(2) カルチャー・衛生指導のねらいについて

順調に働き続けていくために、また日常生活を安心して送っていくために、知っておくべき知識や取り組むべき行動等についての学びの時間として行いました。職員が所員から受ける相談ごとや仕事への取り組み方等から課題を拾い上げ、資料を参考にして伝えるようにしました。

長野市消費者センターよりメールで送られてくる、詐欺被害等の情報を提供する機会を設けました。身近なところで起きている詐欺被害等に注意するように呼びかけ、家庭でも被害にあわないように、話し合う時間を設けてほしい事をお伝えしました。また、今年も新型コロナウイルス感染予防について、再度確認し徹底するよう説明をしました。来年度も所員の日頃の様子から、大事だと思われるものを学びとして取り上げながら行っていきたいと思います。

(3) 評価及び課題等について

実施頻度について

不定期でしたが、季節や状況に応じて行ないました。所外活動や健康相談といった他の活動もあり、全員の出席は難しい状況です。カルチャーの予定日に作業が忙しかったり、職員の配置がうまくできなかつたりと実施できない時もありましたが、実施した内容を個々に伝えるようにしました。

#### 実施内容について

熱中症予防・対策、インフルエンザやノロウイルスに対する予防・対策、新型コロナウイルス感染防止のため注意喚起に努めましたが、11月から12月にかけて、新型コロナウイルスに感染してしまった職員・所員が多数出てしまいました。今後はさらに感染対策を徹底していきたいと思います。

また、長野市消費者センターよりメールで送られてくる、詐欺被害等の情報を提供する機会を設け、身近なところで起きている詐欺被害等について説明をし、家庭でも被害にあわないように十分注意をするように呼びかけました。

#### 参加者について

所員全員参加をめざして行ないましたが、当日休みの所員や、洗浄の作業などをしていて参加できない所員がいます。皆がそろうのは難しいですが、そのような場合には必ず後で個別に行うようにしました。

#### 来年度について

来年度も同様の目的で実施していきたいと思います。内容については、所員の希望を聞いた

日付	企画名	参加者数
5/28(土)	中野市一本木公園 バラ祭り見学、昼食	6名
3/18(土)	須坂アートパーク 千体雛祭り見学、昼食	5名

り、職員側で必要と思われるものを考えたりしながら行っていきたいと思います。

## 8 QOL 活動 就労継続支援 B 型事業と同様

### (1) QOL 実施内容

### (2) QOL 活動のねらいについて

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により、QOL 活動がほとんど企画することができず、緊急事態宣言が解除された機会をみて、計画できたのは2回だけになってしまいました。

### (3) 評価及び課題等

#### 実施内容について

今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、イベントが中止となることが多く、希望に添える企画が少なくなりました。緊急事態宣言が解除された一時に企画できた2回の活動は楽しめたのではないかと感じています。

#### 実施頻度について

新型コロナウイルス感染防止のため自粛を余儀なくされ、出かけることが困難になってしまいました。新型コロナウイルス感染が早く収束することを願いつつ、計画を立てていきたいと思っています。

#### 参加者数について

時間的・金銭的に厳しいという理由により参加しない所員もあり、できるだけお金がかからない企画を考えていきたいと思っています。



来年度について

QOL 活動再開を皆さん心待ちにしています。非常事態宣言が解除され、自粛しなくてもよくなったら、皆さんの意見を取り入れて計画していきたいと思います。スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していきたいと思います。

## 9 保健衛生について 就労継続支援 B 型事業と同様

### (1) 健康診断について

- 2 回実施 -

#### 第 1 回目

- ・日時 : 令和 4 年 6 月 30 日 (木) 13:30~17:00  
令和 4 年 7 月 7 日 (木) 13:30~17:00  
令和 4 年 10 月 7 日 (金) (全日本労働福祉協会)
- ・実施 (依頼) 機関 : (特非) メディカルチェック
- ・実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、胸部レントゲン、聴力検査 (対象者のみ)、血液検査 (対象者のみ)、心電図 (対象者のみ)、医師による触診及び問診
- ・受診者数 : 13 名受診 + 2 名 (全日本労働福祉協会)

#### 第 2 回目

- ・日時 : 令和 4 年 9 月 9 日 (金) 及び 9 月 13 日 (月)
- ・実施 (依頼) 機関 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師
- ・実施内容 : 触診及び問診
- ・受診者数 : 10 名受診

その他

第 1 回目の診断結果が出来次第、データを立岩 Dr. と看護師にお渡しして、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

### (2) 健康相談について

三木看護師 (嘱託) により、月に 2 回程度 (木曜日) 1 人 15 分程度かけて行いました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4 月	2 回	17 名	10 月	2 回	17 名
5 月	1 回	9 名	11 月	0 回	0 名
6 月	1 回	9 名	12 月	2 回	21 名
7 月	2 回	15 名	1 月	1 回	11 名
8 月	1 回	6 名	2 月	1 回	10 名
9 月	2 回	18 名	3 月	2 回	20 名
実施回数 17 回			延相談者数 153 名		

( 3 ) 肥満対策について

7月の健康診断において肥満状態にある所員が2名。肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチン CoCo にて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっているので食べ過ぎるということはないのですが、家庭等での食事量が多かったり、間食もとったりするため生活全般的に多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をとるように意識を持っていただきたいと思います。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通してこれからも働きかけをしていきたいと思います。

( 4 ) 血圧について

- ・毎月の健康相談にて、血圧測定を実施しました。数名の所員は測定日によっては血圧が高い時もありますが、常時ではないので様子を見ています。
- ・年間を通して低血圧傾向にある所員が1名いますが、三木看護師からは、日常生活に支障はないとの話があり様子を見ています。

( 5 ) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、痛み止め、消毒液、絆創膏、かゆみ止め、外傷治療薬、並びに体温計を整えています。業務上、包丁で指を切ることが多く、絆創膏の使用が多かったです。

( 6 ) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が1名います。精神薬の保管は職員が行っています。事務所内に小箱を設置し、一週間分の薬を入れてあります。毎昼食後に服薬を促しています。

( 7 ) 「傷病記録」について

服薬、静養等の場合、必要な情報はケース記録に残し、その都度支援を行いました。

( 8 ) 嘱託の医師と看護師との連携について

今年度も2回、立岩医師による健康診断を、そして、三木看護師による健康相談を基本的に月2回実施しました。

健康診断については、第1回目の健康診断の結果のデータを立岩医師と三木看護師にお渡し、診断結果に応じて、必要な場合には各所員個別に指導及び助言等をいただきました。また日常の情報交換や共有を通して、所員個別の健康状態や対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援や日常や年度等の健康衛生活動の取り組みにつなげています。

( 9 ) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が増えてきています。基本的には年間を通して継続して安定している所員が多い中、時期や状況によって、感情的に不安定な状態になり、躁鬱等のそれぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。所員の状態を日常的にしっかりと把握をし、また休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも所員個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっています。

( 10 ) 衛生講習について

作業及び日常生活での衛生意識の向上を目的として、職員による衛生講習を行いました。(インフルエンザ予防・ノロウイルス予防・熱中症予防・新型コロナウイルス感染予防等)

### (11) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

### (12) その他

毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。毎日、通所して来た際も含めて外から帰ってきた時には、インフルエンザ・風邪の予防も含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいを行いました。今年度インフルエンザに罹った方はいませんでした。

ノロウイルスやインフルエンザが流行る時期には、朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生の徹底に努めました。

11月から12月にかけて、多数の利用者・職員が新型コロナウイルスに感染してしまいました。今後は感染防止対策を徹底して行なっていきたいと思います。

## 10 給食について 就労継続支援B型事業と同様

- ・材料費や燃料費等の高騰化にともない、1月に給食費の値上げを行ないました。より充実した食事の提供ができるように、努力していきたいと思います。
- ・給食を楽しみに通所する利用者が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。自分たちが、仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっているように感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。メインの食材にアレルギーのある場合は代替のものを用意する等の配慮をしています。

## 11 旅行について 就労継続支援B型事業と同様

### (1) 実施内容等

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、家族旅行は中止となりました。

#### 《評価及び課題》

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、家族旅行は中止しました。

来年度は未定ですが、感染防止対策を徹底しながら、慎重に検討をしていきたいと思います。

## 12 防災訓練について 就労継続支援B型事業と同様

### (1) 防災訓練

#### 第1回目

- ・実施日：令和4年4月29日(金) 13:00～13:15
- ・参加者：所員8名 職員4名 計12名
- ・内容：避難訓練。厨房ガスコンロから火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：実際に火災が起きたときには、発生時点で誘導することとなります。次回の訓練では、火災が起きた時点で避難を誘導する、というやり方で行うようにしたいと

思います。腰を低くし、ハンカチや裾などを口元にあてるということができていない所員もいたため、次回は事前にその大切さ等もレクチャーもしてから行うようにします。

## 第2回目

- ・実施日：令和4年12月30日(金) 13:00～13:30
- ・参加者：所員10名 職員5名 計15名
- ・内容：洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路確認
- ・反省点：今年の台風被害の状況と、洪水時の避難確保計画について説明しました。水難時の避難経路の説明を、ハザードマップを確認しながら説明をしました。

## (2) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に2回(令和4年4月及び10月)実施しました。

## (3) その他

- ・職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置場所等を確認。

## 13 地域との協働について 就労継続支援B型事業と同様

- ・見学や研修を受け入れました。  
(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)
- ・地域の諸団体等との連携を図っていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、様々なイベントが中止となりました。  
(長野市障害ふくしねっと、長野県セルフセンター協議会、若穂住民自治協議会、長野市商工会若穂支部等)

## 14 職員研修について 就労継続支援B型事業と同様

- ・ケア会議や職員会議を定期的実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。

## 15 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	1名
職業指導員	1名
賃金向上達成指導員	2名
看護師(嘱託)	1名
医師(嘱託)	1名

## 就労継続支援B型事業

### 1 所員の内訳

- (1) 登録者数 5名 (令和5年3月31日現在)
- (2) 市町村別 長野市 5名
- (3) 男女別 男性2名・女性3名

- (4) 年齢 平均 45.8 歳 (令和 4 年度末)  
 (5) 障がい種別 知的障がい者 3 名  
 精神障がい者 2 名

## 2 通所方法

- (1) 徒歩または自転車 3 名  
 (2) バイクまたは車 (本人運転による) 0 名  
 (3) 公共交通機関利用 0 名  
 (4) 送迎 (アトリエ CoCo・グループホーム) 2 名  
 (5) 家族による送迎 0 名

## 3 日課について

8:15 ~ 12:00 まで	朝会 作業
12:00 ~ 13:00 まで	お昼 休憩
13:00 ~ 15:00 まで	作業 掃除 帰りの会等
15:00	帰宅

利用者の体調や事情等によっては、個別に時間の調整をしています。

土または日曜日は、作業状況や活動内容によって様々に設定しました。

## 4 通所状況

通所実態 (通所率)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
78.6%	76.5%	95.5%	92.4%	89.6%	88.2%	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均
91.4%	72.7%	90.0%	82.7%	87.0%	84.3%	73.6%

## 【 工賃額について 】

月	平均月額工賃額	月	平均月額工賃額
4 月	20,571 円	10 月	22,022 円
5 月	20,207 円	11 月	18,722 円
6 月	25,188 円	12 月	27,691 円
7 月	26,178 円	1 月	20,326 円
8 月	26,778 円	2 月	18,948 円
9 月	24,632 円	3 月	22,916 円
平均月額工賃額 22,769 円 (時給換算 265 円) 支払い総額 1,411,669 円			

## 5 個別支援計画 就労継続支援 A 型事業と同様

個別支援計画では、本人や家族との面談や、関わってきた関係者等を含めた会議を開くなどして、アセスメントを行い、本人のそれまでの歩みや、得意なことや苦手なこと、行動や日常生活上等で配慮すること等々を確認し、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成しました。特に本人の願いを重視して、面談をする中で願いやニーズ把握するように努めました。さらには、面談日以外にも、適時に相談を受け、困っていることや頑張りたいことを聞き、そこから

もニーズを拾って作成するようにしました。もし、生活の面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとり繋げるようにし、個別支援計画の目標として取り組めるものは入れるようにしました。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行いました。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的に面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたいと思えます。

## 6 就労活動について 就労継続支援 A 型事業と同様

### 【 お弁当製造、販売、配達作業 】

#### (3) 作業実績及び作業風景等

各所員が意欲的に作業に就いていました。目標を持って作業に取り組み、任されたことは責任を持って行き、分からないことは職員に聞きながら、働くことの楽しさや厳しさ、やり終えた達成感や喜びを感じられていると思います。また、身支度や食品に携わる際の衛生管理や、盛り付けのときの技術や目配り（おかずが決められた所に確実に適量入れられたなど）確認を取りながら進めています。配達るときは、身支度に気をつけ、お客様に挨拶をすることや走らず慌てないように落ち着いて作業できるように声掛けしています。

平日の昼食を主に、平均 180 食のお弁当を作り配達しております。法人内の 8 箇所の事業所の昼食の提供も行っており、食数は 180 食位です。

安心・安全な食材を吟味し、野菜が豊富で手作り感のあるおいしい弁当をお届けできるよう日々努めてまいりました。

#### (2) 評価及び課題等

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により、多くのイベントが中止になったため、特注弁当や日替わり弁当の注文数がかなり減ってしまいました。新規受注の増加やリピーター増加につながるようなメニュー構成や、味付け、盛り付けの工夫など課題はまだありますが、食中毒などの事故が無いよう細心の注意と心構えで毎日の作業に取り組んでいきたいと思えます。

また、今年度は食材料費や燃料費等の高騰により、食費及び弁当価格の値上げをしました。価格に見合った内容のものを提供していきたいと思えます。

今後も、安心・安全・美味しい食を追求し、所員・職員一丸となって着実に成果を上げられるようにひとつずつ丁寧に対応していきたいと思えます。

## 7 カルチャー・衛生講習 就労継続支援 A 型事業と同様

### (1) 実施日、実施内容、参加者数等

日付	実施タイトル	参加者数
実施した内容		
6/16(木)	新型コロナウイルス感染予防について	7名
新型コロナウイルス感染状況の説明、及び予防対策について、再度、話をします。 手洗いうがい・マスク着用・アルコール消毒等を促し、3密防止等の説明をする。		
7/14(木)	熱中症予防・対策について	7名
配達担当・厨房担当、それぞれの業務中に気をつけることについて話し合う。暑さで体		

力・気力とも消耗しているので、仕事に支障が出ないように体調管理に気をつける。		
10/13(木)	インフルエンザ予防について(コロナ感染症対策含む)	8名
インフルエンザの予防接種のよびかけ。また、もしかかった場合の説明。外出する時にはマスクの着用。年末年始などでかけることも増えてくるので、人混みに行くときには特に注意をする。コロナ感染症対策についても改めて説明する。		
12/30(木)	防災訓練	15名
洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路の確認を行う。		
2/16(木)	消費者被害防止見守りネット情報	7名
長野市消費者センターからメールで送られてくる消費者被害の情報を提供。身近なところで起きている特殊詐欺や、電話での勧誘等について説明する。		

(2) カルチャー・衛生指導のねらいについて

順調に働き続けていくために、また日常生活を安心して送っていくために、知っておくべき知識や取り組むべき行動等についての学びの時間として行いました。職員が所員から受ける相談ごとや仕事への取り組み方等から課題を拾い上げ、資料を参考にして伝えるようにしました。

長野市消費者センターよりメールで送られてくる、詐欺被害等の情報を提供する機会を設けました。身近なところで起きている詐欺被害等に注意するように呼びかけ、家庭でも被害にあわないように、話し合う時間を設けてほしい事をお伝えしました。また、今年も新型コロナウイルス感染予防について、再度確認し徹底するよう説明をしました。来年度も所員の日頃の様子から、大事だと思われるものを学びとして取り上げながら行っていきたいと思えます。

(3) 評価及び課題等について

実施頻度について

不定期でしたが、季節や状況に応じて行ないました。所外活動や健康相談といった他の活動もあり、全員の出席は難しい状況です。カルチャーの予定日に作業が忙しかったり、職員の配置がうまくできなかつたりと実施できない時もありましたが、実施した内容を個々に伝えるようにしました。

実施内容について

熱中症予防・対策、インフルエンザやノロウイルスに対する予防・対策、新型コロナウイルス感染防止のため注意喚起に努めましたが、11月から12月にかけて、新型コロナウイルスに感染してしまった職員・所員が多数出てしまいました。今後はさらに感染対策を徹底していきたいと思えます。

また、長野市消費者センターよりメールで送られてくる、詐欺被害等の情報を提供する機会を設け、身近なところで起きている詐欺被害等について説明をし、家庭でも被害にあわないように十分注意をするように呼びかけました。

参加者について

所員全員参加をめざして行ったが、当日休みの所員や、洗浄の作業などをしていて、参加できない所員がいます。皆がそろえるのは難しいですが、そのような場合には必ず後で個別に行

うようにしました。

来年度について

来年度も同様の目的で実施していきたいと思います。内容については、所員の希望を聞いたり、職員側で必要と思われるものを考えたりしながら行っていきたいと思います。

日付	企画名	参加者数
5/28(土)	中野市一本木公園 パラ祭り見学、昼食	6名
3/18(土)	須坂アートパーク 千体雛祭り見学、昼食	5名

8  
QOL  
活動  
就

労継続支援 A 型事業と同様

(1) QOL 実施内容

(2) QOL 活動のねらいについて

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により、QOL 活動がほとんど企画することができず、緊急事態宣言が解除された機会をみて、計画できたのは 2 回だけになってしまいました。

(3) 評価及び課題等

実施内容について

今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、イベントが中止となることが多く、希望に添える企画が少なくなっていました。緊急事態宣言が解除された一時に企画できた 2 回の活動は楽しめたのではないかと感じています。

実施頻度について

新型コロナウイルス感染防止のため自粛を余儀なくされ、出かけることが困難になってしまいました。新型コロナウイルス感染が早く収束することを願いつつ、計画を立てていきたいと思っています。

参加者数について

時間的・金銭的に厳しいという理由により参加しない所員もあり、できるだけお金がかからない企画を考えていきたいと思っています。

来年度について

QOL 活動再開を皆さん心待ちにしています。非常事態宣言が解除され、自粛しなくてもよくなったなら、皆さんの意見を取り入れて計画していきたいと思っています。スポーツやカラオケ等でリフレッシュできるものや教養を深めるもの、所員同士の親睦を深めるための親睦会等、できるだけ多岐にわたって実施していきたいと思っています。

9 保健衛生について 就労継続支援 A 型事業と同様

(1) 健康診断について

- 2 回実施 -

第 1 回目

・日時

: 令和 4 年 6 月 30 日(木) 13:30~17:00

令和 4 年 7 月 7 日(木) 13:30~17:00

令和 4 年 10 月 7 日(金)(全日本労働福祉協会)



- ・実施（依頼）機関 : (特非) メディカルチェック
- ・実施内容 : 身長・体重測定、血圧測定、尿検査、視力検査、胸部レントゲン、聴力検査（対象者のみ）、血液検査（対象者のみ）、心電図（対象者のみ）、医師による触診及び問診
- ・受診者数 : 13名受診 + 2名（全日本労働福祉協会）

#### 第2回目

- ・日時 : 令和4年9月9日（金）及び9月13日（月）
- ・実施（依頼）機関 : 立岩内科小児科医院 立岩孝之医師
- ・実施内容 : 触診及び問診
- ・受診者数 : 10名受診

#### その他

第1回目の診断結果が出来次第、データを立岩Dr.と看護師にお渡しして、ご意見・ご指導を頂きました。頂いたご意見・ご指導は面談や健康相談を通じてご本人達に伝えました。

#### (2) 健康相談について

三木看護師（嘱託）により、月に2回程度（木曜日）1人15分程度かけて行いました。

月	回数	延相談者数	月	回数	延相談者数
4月	2回	17名	10月	2回	17名
5月	1回	9名	11月	0回	0名
6月	1回	9名	12月	2回	21名
7月	2回	15名	1月	1回	11名
8月	1回	6名	2月	1回	10名
9月	2回	18名	3月	2回	20名
実施回数 17回			延相談者数 153名		

#### (3) 肥満対策について

7月の健康診断において、肥満状態にある所員が2名。肥満に関しては自覚をしているようですが、自宅での食事量や間食の自己管理が難しいと思われます。キッチン CoCo にて提供している昼食はおかずやごはんの量が決まっているので食べ過ぎると言うことは無いのですが、家庭等での食事量が多かったり、間食もとったりするため生活全般的に多めの様です。日常的に適切な量と内容の食事をとるように意識を持っていただきたいと思います。職員側からの意識付け等の働きかけはこれからも必要であり、面談や健康相談等を通してこれからも働きかけをしていきたいと思えます。

#### (4) 血圧について

- ・毎月の健康相談にて、血圧測定を実施しました。数名の所員は測定日によっては血圧が高い時もありますが、常時ではないので様子を見ています。
- ・年間を通して低血圧傾向にある所員が1名いますが、三木看護師からは、日常生活に支障はないとの話があり様子を見ています。

( 5 ) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、痛み止め、消毒液、絆創膏、かゆみ止め、外傷治療薬、並びに体温計を整えています。業務上、包丁で指を切ることが多く、絆創膏の使用が多かったです。

( 6 ) 服薬支援について

個別に服薬支援を行っている所員が 1 名います。精神薬の保管は職員が行っています。事務所に小箱を設置し、一週間分の薬を入れています。毎昼食後に服薬を促しています。

( 7 ) 「傷病記録」について

服薬、静養等の場合、必要な情報はケース記録に残し、その都度支援を行いました。

( 8 ) 嘱託の医師と看護師との連携について

今年度も 2 回、立岩医師による健康診断を、そして、三木看護師による健康相談を基本的に月 2 回実施しました。

健康診断については第 1 回目の健康診断の結果のデータを立岩医師と三木看護師にお渡し、診断結果に応じて、必要な場合には各所員個別に指導及び助言等をいただきました。また日常の情報交換や共有を通して、所員個別の健康状態や対応等について指導や助言をいただき、所員の健康管理支援や日常や年度等の健康衛生活動の取り組みにつなげています。

( 9 ) 個別の健康情報について

精神的な疾患を持ち、メンタル面での配慮や支援を必要とする所員が増えてきています。基本的には年間を通して継続して安定している所員が多い中、時期や状況によって、感情的に不安定な状態になり、躁鬱等のそれぞれが抱えている症状が出てきて、困ったり苦しんだりする様子も伺えます。所員の状態を日常的にしっかりと把握をし、また休んでいるときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認と把握を行っています。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも所員個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっています。

( 10 ) 衛生講習について

作業及び日常生活での衛生意識の向上を目的として、職員による衛生講習を行いました。(インフルエンザ予防・ノロウイルス予防・熱中症予防・新型コロナウイルス感染予防等)

( 11 ) 清掃について

清掃については、所員によってそれぞれに応じた支援を受けながら、作業室や生活区域のスペースを担当場所ごとに行いました。特に作業室は、お弁当を作っている箇所であり、常に衛生面を意識して丁寧にしっかりと行いました。

( 12 ) その他

毎日の朝会において、爪・手指の傷・身だしなみとともに健康状態の確認を行いました。

毎日、通所して来た際も含めて外から帰ってきた時には、インフルエンザ・風邪の予防も含めて、日常的に手洗い及びうがい液でのうがいを行いました。今年度インフルエンザに罹った方はいませんでした。

ノロウイルスやインフルエンザが流行る時期には、朝会や衛生講習等で予防及び対処法について触れ、また予防及び対処マニュアルを配布して衛生の徹底に努めました。

11 月から 12 月にかけて、多数の利用者・職員が新型コロナウイルスに感染して

しまいました。今後は感染防止対策を徹底して行なっていきたいと思いを。

## 10 給食について 就労継続支援 A 型事業と同様

- ・材料費や燃料費等の高騰化にともない、1月に給食費の値上げを行ないました。より充実した食事の提供ができるように、努力していきたいと思いを。
- ・給食を楽しみに通所する利用者が多いです。内容は、日替わり弁当とほぼ同じメニューで提供をしています。自分たちが、仕込み・盛り付けをした弁当が商品としてお客様に届くというのは、所員たちのやりがいやモチベーションのアップにつながっている様に感じます。
- ・給食検討会にて、給食に関する情報交換及び共課題検討を行いました。嗜好調査やアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をしてきました。メインの食材にアレルギーのある場合は代替のものを用意する等の配慮をしています。

## 11 旅行について 就労継続支援 A 型事業と同様

### (1) 実施内容等

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、家族旅行は中止となりました。

#### 《評価及び課題》

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、家族旅行は中止しました。

来年度は未定ですが、感染防止対策を徹底しながら、慎重に検討をしていきたいと思いを。

## 12 防災訓練について 就労継続支援 A 型事業と同様

### (1) 防災訓練

#### 第1回目

- ・実施日：令和4年4月29日(金) 13:00～13:15
- ・参加者：所員8名 職員4名 計12名
- ・内容：避難訓練。厨房ガスコンロから火災が発生したと想定して避難訓練を行いました。
- ・反省点：実際に火災が起きたときには、発生時点で誘導することとなります。次回の訓練では、火災が起きた時点で避難を誘導する、というやり方で行うようにしたいと思いを。腰を低くし、ハンカチや裾などを口元にあてるということができていない所員もいたため、次回は事前にその大切さ等もレクチャーもしてから行うようにします。

#### 第2回目

- ・実施日：令和4年12月30日(金) 13:00～13:30
- ・参加者：所員10名 職員5名 計15名
- ・内容：洪水時の避難確保計画の説明、および水難時の避難経路確認
- ・反省点：昨年の台風被害の状況と、洪水時の避難確保計画について説明しました。水難時の避難経路の説明を、ハザードマップを確認しながら説明をしました。

### (2) 消防設備点検

毎月実施しました。業者による総合点検として年に2回(令和4年4月及び10月)実施しました。

### (3) その他

- ・職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置場所等を確認。

### 13 地域との協働について 就労継続支援 A 型事業と同様

- ・見学や研修を受け入れました。  
(特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、民生委員、社協関係者、他事業所等)
- ・地域の諸団体等との連携を図っていますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、様々なイベントが中止となりました。  
(長野市障害ふくしねっと、長野県セルフセンター協議会、若穂住民自治協議会、長野市商工会若穂支部等)

### 14 職員研修について 就労継続支援 A 型事業と同様

- ・ケア会議や職員会議を定期的を実施し、日常業務の情報交換や支援や作業における知識及び技術の研鑽に努めました。

### 15 職員体制について

所長	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	1名
職業指導員	2名
目標工賃達成指導員	2名
看護師(嘱託)	1名
医師(嘱託)	1名

第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型（ 就労継続B型 就労移行 ）

CoCoJAVJAV（主）・BakeryCoCo（従）

令和4年度は、皆が元気よく楽しく過ごせるように安心安全を保ちながらの一年となり、感染症対策は継続して行いつつ、その都度対応を変えながら進めました。

就労支援では、CoCoJAVJAVの水洗いきリーニング品の作業量としてはコロナ禍以前と比べ戻りつつありますが、主要取引先との売上比較では8割程度にとどまりました。BakeryCoCoでは、県や保健所等の感染症対策の指針に合わせカフェの利用に制限を用いていたものの、一人用のスペースを増やし客席の間隔を空けるなどして、お客様が安心して来店していただけるように対策を続けました。

また、一年を通して外出での活動は難しかったため、昨年同様に秋祭りやクリスマスゲーム大会などを行うなか、日々の活動のなかでお花見、涼む会、節分などの季節行事に合わせた活動を取り入れました。通所されている利用者の皆さんは、毎日通所されている方から週に1日という方もいらっしゃいます。そのなかでどんな活動ができるか、またベストであるかを新しい生活スタイルに合わせて検討し、進めていきたいと思えます。

利用者の推移

就労移行支援

令和 4年 5月	1名	入所	…在籍者数	1名
6月	1名	当就労B型へ移行	…在籍者数	0名
			総在籍者数	0名（令和4年3月末）
別途：就労アセスメントのための就労移行利用者数・・・				1名（7月）

就労継続B型支援

令和 4年 7月	1名	当就労移行より移行	…在籍者数	35名
9月	1名	退所	…在籍者数	34名
10月	1名	退所	…在籍者数	33名
令和 5年 3月	2名	退所	…在籍者数	31名
			総在籍者数	31名（令和5年3月末）

就労移行支援事業

1 所員の内訳（令和5年3月末）

- （1）出身市町村： 0名
- （2）性別： 男性 0名 / 女性 0名
- （3）年齢層： 0名
- （4）障がい種別： 0名

2 通所方法

- (1) 徒歩及び自転車等 0名
- (2) 公共交通機関(バス・電車) 0名
- (3) 家族による送迎 0名

### 3 日課について

時間		内容
9:00	~ 10:30	朝礼・ラジオ体操・作業
10:30	~ 10:40	午前休憩
10:40	~ 12:00	作業
12:00	~ 13:00	昼食休憩
13:00	~ 14:30	作業
14:30	~ 14:50	午後休憩
14:50	~ 15:30	作業
15:30	~ 15:40	着替え・帰りの会

月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。

### 4 通所状況

通所実態(一日平均利用者数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均 0.1人
-	1人	1人	1人	-	-	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
-	-	-	-	-	-	

### 5 個別支援計画について

就労訓練においてはどのような作業をしていきたいか、どのような活動をしたいかなど面談を踏まえ、目標設定をしている。目標についてはまとめをして評価し、その後の方向性を決めていくようにする。利用者、ご家族の意向と希望をお聞きし、また、こちらからも提案をするなかで日々の生活が充実していかれるように支援を行う。

### 6 就労活動について

平均工賃

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	- 円	10月	- 円
5月	1,200 円	11月	- 円
6月	3,600 円	12月	- 円
7月	- 円	1月	- 円
8月	- 円	2月	- 円
9月	- 円	3月	- 円
平均工賃額 2,400 円			

#### 【 クリーニング 】

《 作業内容 》

○ホテル、美容室等のタオル類の水洗いクリーニングを行う

- ・アイテム品：BT・FT・BM・サウナマットなどのタオル品、スリッパ
- ・日帰り温泉施設、ホテル等：客先数15件
- ・美容室：客先数5件

○高齢者施設利用者の私物品ネットクリーニング：客先数9件

《 全体として 》

- ・6月にボイラー式洗濯乾燥機35キロ1台を新規に設置したが、2段式ガス式乾燥機に不具合があり利用ができていない。
- ・主要取引先との売上比較では、8割程度にとどまった。

《 就労訓練 》

- ・クリーニング作業では、作業部署を変更して新たなことにチャレンジするなど、小さなことでも新たに携われるようにした。
- ・コロナ禍による作業量のばらつきがあるものの、戻りつつあった。

### 【 施設外就労 】

『 長野リネンサプライ（株） 』

《 作業内容 》

- ・電車車両の座席カバー一部の仕上げ補助
- ・月～金曜日の午前：所員3名、職員1名

《 全体として 》

- ・取り掛かりやすい作業内容なので、企業の雰囲気を感じつつ作業に取り組めた。
- ・一般就労を目指す方の第一歩として活動できるようにする。

### 【 一般ドライクリーニング 】

《 作業内容 》

一般のお客様のドライクリーニングの受付、または配達

《 全体として 》

- ・外出控えに伴い、スーツや外出着の着用機会の減少等により客数が減っている。

## 7 QOL 活動、カルチャーについて

活動日・活動内容

月	日	曜日	内容
4	20	水	お花見（柏餅）
8	9	火	涼む会
9	7	水	秋祭り
10	29	金	ハロウィン
12	14	水	クリスマスゲーム大会
	29	木	仕事納めの会
1	4	水	仕事始めの会
	11	水	鏡開き
2	3	金	節分

- ・上記のとおり実施

・ 飲食を伴わず、ソーシャルディスタンスを保てるよう配慮して進めた。

## 8 保健衛生について

### 《 健康相談 》

実施日：毎月第1火曜日、第3水曜日の9時より

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14	14
	27	25	22	27	24	28	26	16	28	25	22	22

看護師：富田看護師

内 容：血圧・体重測定、日頃の健康や生活の相談

相談者数：毎回8名

### 1 健康面について

#### ○体重の増減

- ・ 一年間でプラス10kg増が2名おり、生活環境や身体的変化が要因と思われる。
- ・ マイナス2kg～4kg減が約58%、ほぼ増減なしが約2%

#### ○BMIの値について

- ・ 25%以内 42%、25%以上 58%
- ・ 自覚している利用者もあり、測定時は前回との比を伝えるようにしている。伝えると半数の利用者は反応を示してくれている。

#### ○血圧測定の状況

- ・ 冬季は血圧測定時の再測定者が多くなっている。
- ・ 血圧治療中の方もいるが、内服管理ができている様子。
- ・ 測定時に疼痛を伴う場合等においては、高値を示している。

### 2 健康以外の相談について

- ・ 人間関係の悩みについて相談があり、〇〇さんが・・・と名前を挙げての相談もあるが、対策として職員皆が見守っている旨を伝えている。
- ・ 「この場のみにしてほしい」と相談を希望する場合もあり、状況確認困難なため報告のみとなっている。

### 3 感染症（コロナ、インフルエンザ）について

- ・ 4年目に突入のコロナ感染者数が減少傾向であっても、日々の継続対策が重要であることをその都度お伝えしている。
- ・ インフルエンザ予防においても、コロナ同様の説明を繰り返しお伝えしている。

### 《 健康診断 》

令和 4年 6月 30日（木）メディカルチェックによる健康診断

7月 7日（木） ”

令和 4年 9月 9日（金）嘱託医立岩先生による健康診断問診

### 《 保健総括 》

令和 5年 3月 10日（金）：アトリエ CoCo 食堂

- ・ 嘱託医立岩先生、他事業所と共同

### 《 感染症対策・コロナ・インフルエンザ 》



・感染症対策（出入口での除菌、手洗い、うがい、食堂の除菌等）を講じ、施設内に持ち込まない、という意識のもと対策を継続している。

・朝の通所時に玄関にて、検温のチェックを行い、体調管理も継続している。

・インフルエンザ予防接種については、利用者へ予防接種の希望を伺い、アトリエ CoCo にて予防接種を受けた。

#### 《 家庭との連携 》

・健康相談や健康診断での結果等について、必要なことを家庭へ報告し連携が取れるようにしている。

・服薬されている方は、処方箋の写しを頂いている。

・頓服や頭痛薬などの薬については、必要な方はお預かりし管理している。

#### 《 熱中症予防について 》

・水分補給、休憩をこまめに促し、塩飴等を一定期間に配布しながら、暑さを乗り越えた。水分補給では、各部署にウォータージャーを置いて、すぐに冷水を飲めるようにしている。

・熱中症対策用の飲料水も常備しており、熱中症への危険を感じる場合に飲んでいただいている。そのなかで予防として飲んでいただいた方が2人程いた。

・着替えを持参し、汗を拭う、顔を洗うなどの対処方法を声掛けしながら進めた。

#### 《 常備薬について 》

・常備薬については、急な体調不良への対応（腹痛、胃腸薬、風邪薬）個人で服薬をしている利用者へは、その薬と常備薬とを確認し、場合によっては常備薬の服薬を避けていただいている。

### 9 給食の提供

・希望者に給食を提供（キッチン CoCo より提供）

・四季折々に合わせたメニュー、カルチャーに合わせたメニューの提供。

・コロナ対策として、食事開始時間をずらすこと、対面にならないよう席の変更と各テーブルのパーティション設置、次亜塩素酸水の設置、食事以外はマスクを外さない等の対応をしている。

### 10 防災訓練・安全について

・消防計画、土砂災害時の避難確保計画、自衛消防団の編成、職員緊急連絡網の作成（変更作成）

・JAV & Bakery 緊急避難場所：長野市立芹田小学校

#### 防災訓練

・9月1日（木）AM

・防災グッズ、救急セット、防災ヘルメットを用意し、訓練の際に使用した。

・地震発生時における避難方法について訓練する。

#### 消防設備点検

・毎月実施

・総合点検：年2回、令和4年4月7日・令和4年10月実施、三益消防機材(株)へ依頼

#### AEDの設置

・緊急時の対応として設置をしている。

・AED取扱いを玄関へも表示し、近隣地域への協力体制も取れるようにしている。

#### 防犯カメラの設置

・危機管理の面から、防犯カメラの設置を行い、駐車場入り口やその周辺から建物裏側までを覆う形で設置とした。

・所員、職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、地域の安心安全へもつながっている。必要時に警察より確認の問い合わせもある。

### 1.1 地域との協働について

#### 養護学校等の実習生受入れ

月	人数	学校名
5	2名	稲荷山養護、長野養護
6	1名	長野養護
10	1名	稲荷山養護
11	1名	長野養護
1	1名	長野養護

・養護学校の実習生受入れでは、複数名の実習生がいるときには一定期間に集中しないよう各学校へ依頼し予定を組んで頂いている。実習期間はそれぞれの生徒に合わせている。

#### 見学・体験者

月	見学者・日にち(人数)	体験者数
4	4日(5名) 5日(5名)	1名
5	25日(3名)	
6	22日(2名)	1名
11	17日(4名) 29日(2名)	名
12		1名
1	24日(4名) 31日(2名)	
2	17日(2名) 28日(2名)	1名
3		1名

・見学は、各関係機関や養護学校等からの見学者を含み、随時行っている。

・体験は、見学後に体験希望の方、体験日数は各々によって変更がある。

#### その他

・長野市障害ふくしネット(かつどう部会執行部)

### 1.2 職員研修について

・朝の職員ミーティング時において職員間の情報の周知、職員会議による学び

・職員会議での資料として、福祉情報や実践報告などの資料の読み合わせをした。

#### 職員研修

月	日	曜日	内容	人数
9	30	金	長野市障害者虐待防止連携協議会	1
10	5	水	クリーニング師講習会	1
	27	木	市役所フェスタ、やさしいお店タウンミーティング	1
	30	日	クリーニング師研修	1
11	15	火	長野県知的障害福祉大会	2

12	21	水	長野市虐待防止権利擁護研修	2
3	5	日	キャリアアップ研修	1

### 13 家族会について

・アトリエ CoCo、キッチン CoCo、アートカフェ CoCo と共に「CoCo 家族会なごの」として組織、事務局をアトリエ CoCo におく。

・コロナ禍により、総会、家族のつどいの中止

・役員会：年2回

### 14 職員体制について

所長（サービス管理責任者）1名 就労支援員1名 職業指導員1名

生活支援員1名 看護師（嘱託）1名 医師（嘱託）1名

## 就労継続 B 型支援事業

### 1 利用者の内訳（令和5年3月末）

（1）現住所：長野市 31名

（2）性別：男性14名/女性17名

（3）年齢層：20歳～68歳

（4）障がい種別：知的障がい22名 精神障がい8名 身体障がい1名

### 2 通所方法（重複あり）

（1）徒歩及び自転車（自動車） 7名

（2）公共交通機関（バス・電車） 16名

（3）家族の送迎 8名

### 3 日課について

時間	内容
9:00 ~ 10:30	朝礼・ラジオ体操・作業
10:30 ~ 10:40	午前休憩
10:40 ~ 12:00	作業
12:00 ~ 13:00	昼食休憩
13:00 ~ 14:30	作業
14:30 ~ 14:50	午後休憩
14:50 ~ 15:30	作業
15:30 ~ 15:40	着替え・帰りの会

CoCoJAVJAV：月曜日から金曜日を開所とし、土・日曜日は休みとする。土・日曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

BakeryCoCo：火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日は休みとする。日・月曜日に行事等がある場合は開所とする。祝日は自由通所日。

### 4 通所状況

通所実態（一日平均利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
----	----	----	----	----	----	--

23人	21人	23人	23人	19人	22人	年平均 21.1人
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
22人	21人	19人	18人	20人	21人	

## 5 個別支援計画

就労移行支援事業と同様

## 6 就労活動について

平均工賃

月	平均工賃月額	月	平均工賃月額
4月	15,021円	10月	14,237円
5月	13,905円	11月	13,616円
6月	16,418円	12月	16,112円
7月	17,653円	1月	12,323円
8月	12,264円	2月	12,579円
9月	13,577円	3月	17,350円
平均工賃額 14,588円			

### 【 クリーニング 】

就労移行支援事業と同様

### 【 パンの製造・販売 】

《 作業内容 》

・パンの製造では、フィリング作りやサンドイッチの厚焼き玉子を作る作業など利用者の出来る作業を日々増やしながらか進めてきた。

・パンの袋詰めは、パンの大きさごとに袋のサイズを変える、やわらかいパンや形の崩れやすいパンなどはゆっくり丁寧に行うなど、気を配りながら行えた。

・焼菓子製造では、ラスクにバターを塗ったり砂糖をまぶすなど行う。また、焼菓子をフィルムで包むなどのラッピング、ギフト用の箱折りもあり、一箱ずつ丁寧に行った。

・カフェ業務では、今年度は、イートインの中止をせず、信州安心なお店のチェックリストを参考にイートインの利用を行った。また、ドリンク作りも行う。

・外販活動では、昨年に引き続きコロナ感染症防止対策により、外販の中止や最小人数で販売へ行くなどの対応を行った。

就労訓練

・県や保健所の指針をもとに感染症防止対策を講じ営業販売を続け、外販活動については、医療警報が発令されると職員のみで外販へ行くようにし、短時間での販売にするなど、その都度対応しながら進めた。今年度は、以前のように利用者さんと一緒に外販へ行く機会が増え、利用者・お客様ともに喜んでいただけた。

・朝の健康チェックでは、感染症防止対策の継続、保健衛生と食品衛生を保てるように支援を行い、体調管理をすることで、何かあればすぐに対応ができるよう継続している。

・作業内容は上記の通り新しくチャレンジしてもらうなど、できることを増やしている。作り方を見える化するようにすることで、レシピ等、手順通りできるようにしている。また、“あんバターパン”などは、利用者さんと一緒にあんバターを挟むなど、パンの種類によっては一緒に行っ

ている。

・コロナ流行の中で休みを取らなければならない利用者には、家庭での作業でポップ作りやイラスト、来店されたお子様にプレゼントする折り紙を折るなどの作業提供を行った。

## 7 QOL 活動・カルチャーについて

就労移行支援事業と同様

## 8 保健衛生について

就労移行支援事業と同様

## 9 給食の提供

就労移行支援事業と同様

## 10 防災訓練・安全について

就労移行支援事業と同様

## 11 地域との協働について

就労移行支援事業と同様

## 12 職員研修について

就労移行支援事業と同様

## 13 家族会について

就労移行支援事業と同様

## 14 職員体制について

所長（サービス管理責任者）1名 職業指導員 2名 生活支援員 3名 就労支援員 1名  
目標工賃達成指導員 2名 看護師（嘱託）1名 医師（嘱託）1名

### 地域活動支援センター事業 型（「BakeryCoCo」併設型）

#### Café CoCo

## 1 登録利用者数

登録者数：180名（令和5年3月末）

## 2 開所状況

開所時間：9：30～17：00

開所日数：年間延べ 261 日

火曜日から土曜日を開所とし、日・月曜日・休みとする。祝日は不定休にし、利用者がカフェスペースで過ごせる開放日とする。

## 3 日中活動について

日中活動について全般的なところでは、コロナ禍ということで、昨年同様になんとかやりくりをしながら進めてきた。飲食を伴うイベントは引き続き中止とし、3密を回避できるように活動の際にはアクリルパネルの設置により隣の距離を保つようにしたり、開催する人数もこれまででは1回で行っていたところを2回に分けて開催するなど、感染状況を踏まえながら進めた。

サンドイッチ教室

昨年は、コロナ禍で開催することができなかったが、今回はどのようにすれば開催できるか検討を重ね、COCOの焼き立てパンを使ったサンドイッチ弁当作りを開催することができた。

以前のように、作ったあとに皆で会食をするスタイルはせず、また、周囲との距離を保つ、会話に気をつけることなど制限はあるものの、かわいいサンドイッチ弁当を作りテイクアウトするというかたちで開催することができた。

#### カレンダー教室

- ・月1回開催し、四季に合わせたテーマで手作りのカレンダーを作成している。折り紙、画用紙の種類を自分で選択し、オリジナルの作品を作成するようにした。さらなる面白みを加えるため、立体的な作品やお花紙や自分の考えた言葉を入れている。
- ・皆でテーマを同じにして、見本を見ながら作成した。お互いにできた作品を見せ合うなど、仲間意識が持てるようになっている。

#### CoCo 健康部

- ・季節に流行る病気のこと、タイムリーなテーマを選び健康について講義や話し合いをする。クイズ形式にしたり、自分で考える時間を設けたり進行方法も変えて実施するなど興味を持てるように工夫して開催することが出来た。コロナについての最新情報や、予防の知識や心が沈まないような心の健康を盛り込んだ。
- ・話の終わりには、毎回ぬりえや名言を紹介して、皆で同じ作業や話をしながら、交流を深める時間になっている。
- ・年始は健康に関する目標と具体的な行動を個々に出す時間をとり健康増進の場を持つことができた。

#### 若里さんぽ

- ・外食イベントを中止し、コロナ感染が落ち着いてきたため、3密を避けることができ、運動不足解消、屋外での気分転換を目的に開催した。50分程度の歩行ができる。散歩をしながら会話を楽しむなど交流の場ともなっている。

#### 各手作り教室

コロナのため外部講師の活動が出来なかったが、動くおもちゃ、プラバン体験、キーホルダー作り、季節のリース、クリスマスツリー、ひな祭りの飾り作りを楽しむことができた。家庭に持ち帰って飾れるため保護者からの感想もいただけた。

#### CoCo 運動部

健康運動士による体操教室を開催。3ヶ月に1回のシリーズでできた。座ったまま、普段着で出来ることから、運動が苦手な方も、気軽にできた。無理な運動ではなく、静的な動きで、血行を促す運動を学ぶことが出来た。

#### 笑い文字教室

筆ペンを使い、バリエーション豊富な笑顔のイラストと一言セリフや干支の兔をはがきに描き、絵八ガキとして作成した。

#### ゲーム大会

忘年会・新年会はゲーム大会で楽しく遊ぶことができた。笑いや動きがある企画となった。

#### ガーデニング教室

春の花と秋の花で年2回開催。自宅での栽培も続くことから、日々の生活の楽しみやご家族で楽しめる感想をいただいた。日々の手入れや開花の様子を参加者から聞くことができた。

#### 水曜カルチャー

水曜日の午後に 30 分の短い時間かつ無料で気分転換を図る集まりを企画した。折り紙・ぬりえ・簡単ストレッチの内容で通信にて呼びかけた。予約なしで気軽に立ち寄れるような形式をとった。

ぬりえと折り紙に関しては一人が毎回参加している。

#### ピアカウンセリング【絵を描く同好会】

絵を描く登録者に声かけ、1 月に 1 回交流会とテーマに沿った絵を描いた作品を紹介する場ができた。個別相談では見られない笑顔や言葉数の多さコミュニケーション力が発揮されて、現在 4 名参加で実施している。

#### 地活通信の作成と送付

登録者には毎月お便りを作り、活動報告と活動スケジュールをお知らせして呼びかけをした。

また通信の 1 ページは『保健師の健康メモ』とし、健康情報を発信した。

### 4 作業体験について

見学 オリエンテーション 作業体験を通して自身の進路を決める場を作っている。作業時間や日程の組み立ては、ご本人の体調や健康を確認しながら段階的に増やすようにしている。体験した感想や働くという手ごたえについてご本人に確認をしながら声掛けをしていく。

### 5 相談支援について

#### 相談内容

一般企業の障害枠での苦勞・退職への迷いなどを傾聴、上司・ジョブコーチ・主治医への相談も提案している。

求職や福祉事業所への通所希望の方もおり、相談内容から本人の思いや希望を整理することにより、自身で考えをまとめ一歩進めることができるよう支援している。状況に応じ関係機関と連携をし、状況確認等を行っている。

就職したいのか、障がいをオープンで就活するか、就職後、いかに障がい担当や上司とコミュニケーションをとるかなど相談が多かった。

家族、友人についての人間関係の相談多い。

働いている障がいのある方への相談支援として、メンタルヘルスケアを行った。

ご家族と連携することも多々あり、その都度必要に応じて対応している。

家族を含めた面談、家族のみの面談をすることで、本人、家族の課題、目標作りをする支援をすることが出来た。

新規にて相談に来所される方は、法人内の相談事業所、各関係機関、地活利用者からの紹介、地活通信を見て等により、来所されている。

### 6 保健衛生について

来所時の手のアルコール消毒の励行、体温チェックをし、感染症予防対策を講じている。

イベントの参加は、首都圏や感染の多い地域に行った方、ご家族に該当する方がいる場合、1 週間は参加を控えていただくようお願いする。

3 密を避けるよう座席配置と長時間に及ばぬような企画をした。

コロナ感染症などの対応について、今の状況の理解や予防行動ができるように支援を行っている。

### 7 家族との協働

ご家族の様々な想いに寄り添い、利用者さん自身をサポートできるように協力し合いながら支援を行っている。3者面談の実施もしている。

ご家族自身が理解することの難しい場面もあり、ご家族へのサポートも必要である。

## 8 地域との協働

見学や体験などは随時受け付けをしており、利用していただいている。

パンフレットやチラシの掲示や配布をし、地域の方への情報提供を行う。

## 9 その他

危機管理の面から、防犯カメラの設置をしており、利用者さんや職員の安心安全を守ることはもちろんのこと、ご近所の方にとっての安心へもつながっている。

## 10 職員体制について

管理者 1 名      支援員 2 名      看護師（嘱託） 1 名      医師（嘱託） 1 名



第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業  
多機能型障がい福祉サービス事業所

## スタジオCoCo

スタジオ CoCo は平成 27 年 4 月に開所させていただき、8 年が経過しました。令和 4 年度も新型コロナウイルス感染拡大は続きましたが with コロナが叫ばれ行動制限が緩和されました。4 年度の稼動状況は春に善光寺の御開帳があり、夏は軽井沢方面を中心に観光客が押し寄せ、秋は宿泊料金の割引等の政策により宿泊者数は高水準を維持しました。NLS グループのトーセンに新設備が導入され生産能力が向上したことにより生産拠点が見直され、令和 5 年 1 月よりスタジオからは軽井沢方面がなくなり、斑尾方面の客先を仕上げることになりました。リネンサプライ事業の売り上げは令和 3 年度に比べ 32.9% 増加して年間 3 億 8 9 9 7 万円で、コロナ前の令和元年度を上回り過去最高の収入となりました。

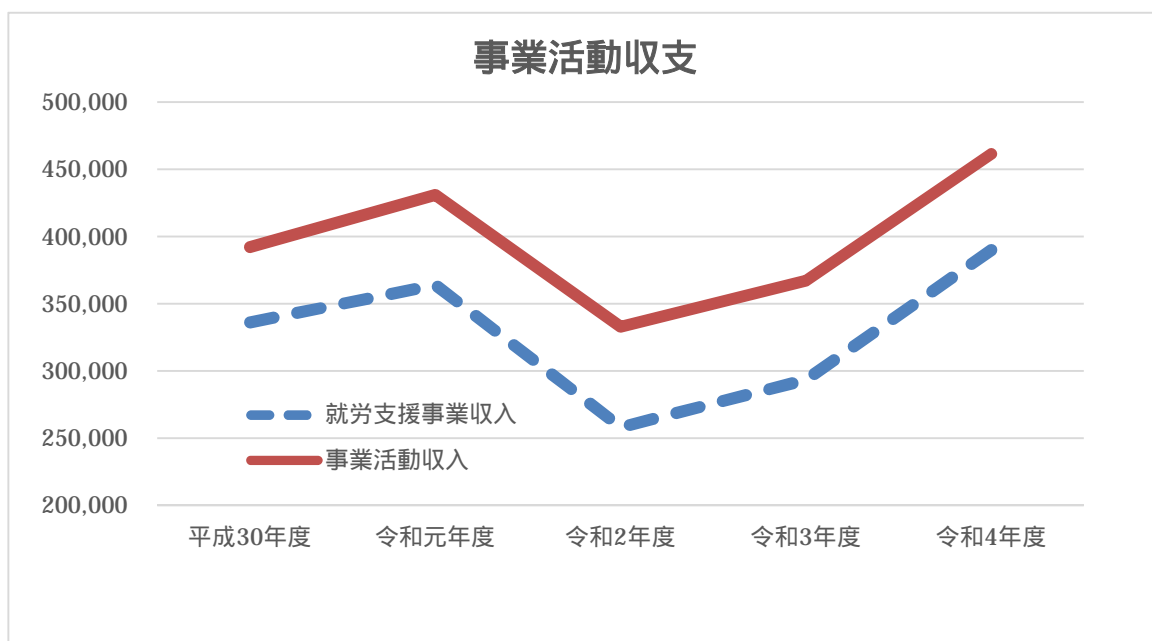
新型コロナウイルス感染症の対策として、マスク・手洗い・消毒・ソーシャルディスタンスの確保の徹底とワクチン接種の推奨を行いました。家庭での感染は散見されましたが、事業所でのクラスターは発生せず、職員・利用者とも概ね健康な一年を過ごすことが出来ました。

4 年度末の在籍利用者数は A 型 13 人・B 型 9 人・生活介護 11 人で合計 33 人でした。令和 5 年 4 月には A 型で 1 人、就労移行で 1 人が入所になりました。地域から関心を持たれるようになってきており見学者は増えていましたが、行動制限が緩んだことでようやく実習を受け入れることが可能になりました。通所者の増員につなげたいと思います。

### 収入・費用の年度間比較

	就労支援事業 収入	福祉サービス事業 収入	事業活動収入計	事業活動費用計
30 年度	336,107	48,996	392,225	373,182
増減率	+10.6%	+27.7%	+12.1%	+9.3%
元年度	363,946	53,948	428,228	406,091
増減率	+8.3%	+10.1%	+9.2%	+8.8%
令和 2 年度	268,173	57,298	332,654	307,763
増減率	-26.3%	+6.2%	-22.3%	-24.2%
令和 3 年度	293,502	64,800	367,070	338,747
増減率	+9.4%	+13.1%	+10.3%	+10.1%
令和 4 年度	382,383	63,464	461,385	435,210
増減率	+34.8%	-2%	+25.7%	+28.5%

単位：千円 増減率は前年度比



### 事業の開始

平成 27 年 4 月 1 日 開所

平成 27 年 6 月 1 日 リネンサプライ・工場の本格稼働開始

### 利用者の推移

#### 就労継続支援 A 型事業

定員 12 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和 4 年 4 月 1 日		12 名
令和 5 年 1 月 18 日	1 名 入所	13 名
令和 5 年 3 月 31 日		13 名

\* 平成 27 年 (2015) 4 月 定員 14 名

令和 2 年 (2020) 12 月 定員を 12 名に変更

#### 就労継続支援 B 型事業

定員 10 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和 4 年 4 月 1 日	1 名 就労移行支援事業より移行	10 名
5 月 31 日	1 名 生活介護事業へ移行	9 名
5 月 31 日	1 名 自己都合により退所 在宅	8 名
11 月 14 日	1 名 入所	9 名
令和 5 年 3 月 31 日		9 名

#### 就労移行支援事業

定員 6 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和 4 年 4 月 1 日	2 名 入所	2 名
5 月 31 日	1 名 自己都合により退所	1 名
1 月 14 日	1 名 退所	0 名
令和 5 年 3 月 31 日		0 名

\*平成 27 年(2015)4 月 定員 10 名  
令和 2 年(2020)12 月 定員を 6 名に変更

生活介護事業 定員 12 名

年月日	移動状況等	在籍者数
令和 4 年 4 月 1 日	1 名 CoCo レスト入所	10 名
6 月 1 日	1 名 スタジオ CoCoB 型事業より移行	11 名
7 月 6 日	1 名 スタジオ CoCo 退所	10 名
12 月 26 日	1 名 CoCo レスト入所	11 名
令和 5 年 3 月 31 日		11 名

\*平成 27 年(2015)4 月 定員 6 名  
令和 2 年(2020)12 月 従たる事業所 CoCo レスト開所 定員を 12 名に変更

### 就労継続支援 A 型事業

#### 1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 2 名 千曲市 8 名 上田市 2 名 坂城町 1 名  
性別 男性 10 名 女性 3 名  
平均年齢 31.7 歳(23~44 歳/ 20 代...6 名 30 代...5 名 40 代...2 名)  
障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1...1 名 B1...2 名 B2...8 名  
精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 2 級...1 名 3 級...1 名

#### 2 通勤方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 6 名  
(うち 1 名は路線バスと併用)  
(2) 徒歩及び自転車 1 名(うち 1 名は CoCo ホーム三本木より通勤)  
(3) 自家用車(本人運転による) 4 名  
(4) 自家用車(家族の運転による) 1 名  
(5) 50CC バイク 1 名

#### 3 勤務体制

始業時刻 8:40 終業時刻 17:10  
休憩 昼休み(50 分) 15 時休み(20 分)  
実労働時間 7 時間 20 分  
年間休日 90 日以上

- ・繁忙期及び納期の変更等のため、1 年単位の変形労働時間制で運営をしている。原則として木曜日・日曜日は休みとした。希望者は残業も行っている。
- ・「就労継続支援 A 型労働者 就業規則」に準じた運営を行っている。

#### 4 通所状況

通所率

R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
98.9%	98.9%	97.6%	94.1%	92.6%	94.2%

R 4.10	R 4.11	R 4.12	R 5.1	R 5.2	R 5.3	平均
96.2%	92.8%	96.0%	92.3%	94.2%	97.2%	95.4%

月によりバラつきがみられるが安定した通所状況ではある。

平均通所率は昨年と同じ95.4%だった。

## 5 利用者の給与

給与は、労働実態に合わせ労働基準監督署の承認を得て決定している。最低賃金を確保できるよう努力しているが、最低賃金の減額特例を受けている方は9名いる。通勤費は全額支給、有給休暇付与、社会保険・労働保険加入。

年収の状況

800,000 以下	1 名
800,000 円～1,000,000 円	0 名
1,000,001 円～1,200,000 円	2 名
1,200,001 円～1,300,000 円	1 名
1,300,001 円～1,400,000 円	1 名
1,400,001 円～1,500,000 円	2 名
1,500,001 円～1,600,000 円	2 名
1,600,001 円～1,700,000 円	0 名
1,700,001 円～1,800,000 円	2 名
1,800,001 円～1,900,000 円	1 名
1,900,001 円～2,000,000 円	1 名

計 13 名 (中途入所 令和4年1月 1名)

平均年収 1,512,590 円

月額平均 126,049 円

障害基礎年金受給状況	2 級	9 名	年間 777,800 円
	1 級	1 名	年間 972,250 円

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援A型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 利用者の作業内容

洗い場	2 名	ホーフロール	4 名	シーツロール	4 名
浴衣ロール	2 名	タオルたたみ	1 名		

A型利用者は洗い場、仕上げロールでの作業を主としている。中には精神面等の支援の必要性からタオルたたみ・タオルフォルダーでの仕事を担う者もいる。適性を見ながら作業種や配置を決めている。

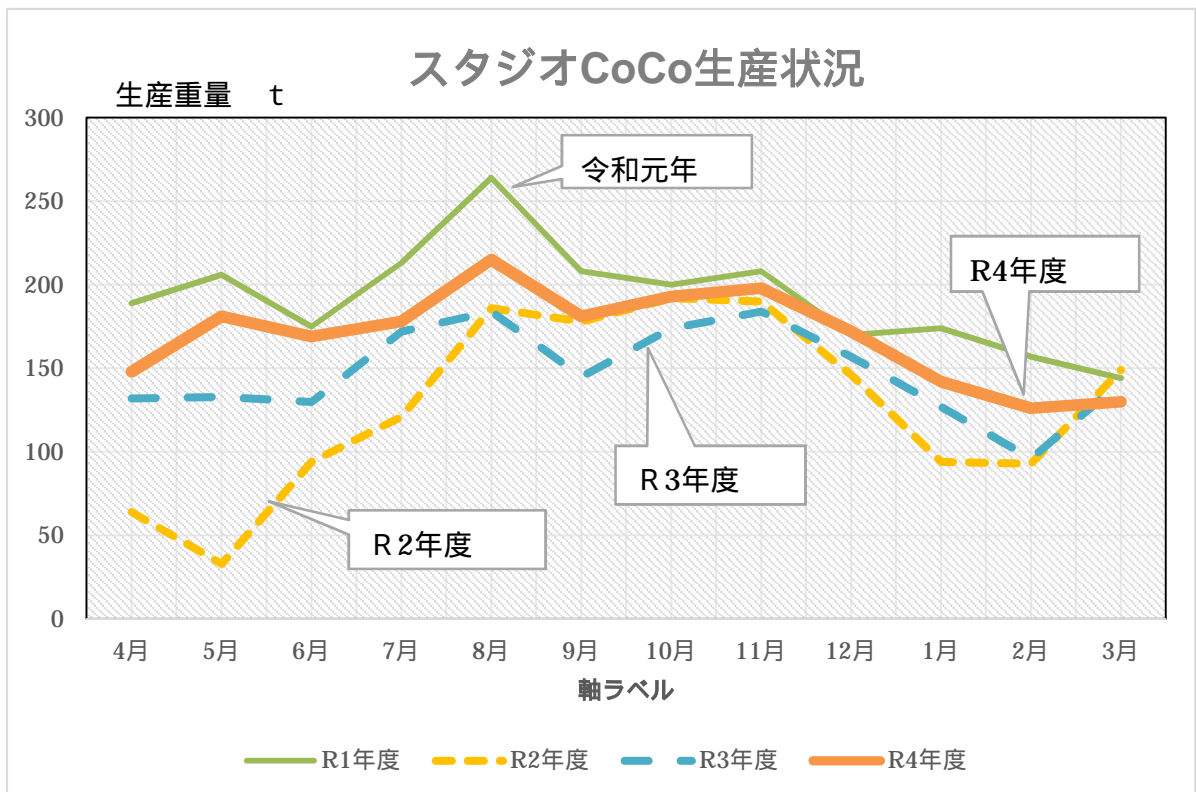
## 8 生産活動

取り扱い業務	ホテル・旅館寝具等のクリーニング
	シーツ 掛けカバー 枕カバー クロス・ナブキン類

浴衣 ガウン タオル類 一般クリーニングの取次ぎ  
布団リース

生産状況

年度初めにコロナで1年延期となった善光寺の御開帳行われ、諏訪の御柱と重なったため長野県を訪れる観光客が増えた。年度間を通して宿泊料金の割引等が実施された期間も長く、軽井沢方面を中心に稼働が高かった。海外からの旅行者数は令和元年あたりに比べるとかなり減った状態であるものの、令和4年12月までの生産量はコロナ前の水準にちかづいた。令和5年1月よりNLSグループグループ内の調整で、軽井沢方面がなくなり、斑尾方面を扱うことになり生産量は減少した。



○月別生産重量

(単位: t)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年度	156	167	159	187	233	195	203	181	157	154	150	165	2,107
R1年度	189	206	175	213	264	208	200	208	170	174	157	144	2,308
R2年度	64	33	94	121	186	178	192	190	146	94	93	149	1,540
R3年度	132	133	130	172	184	145	174	184	157	127	96	142	1,776
R4年度	148	181	169	178	215	181	193	198	172	142	126	130	2,033

9 配送業務

- ・ 配送担当職員：4名 一部外注にて配送業務を行っている。  
スタジオ CoCo で仕上げをしているリネン品の納品回収を主な業務としている。
- ・ 事業所所有車：7台 (4tトラック2台 2tトラック2台 ハイエース3台)
- ・ 担当エリア：

長野市内 2 名 上田市内 1 名 千曲・篠ノ井方面 1 名 斑尾・上越方面 1 名

## 10 健康管理

### ( 1 ) 日々の配慮

- ・朝会時の健康観察と声掛け
- ・作業時の巡回指導と担当職員からの直接指導
- ・特定指導・相談
- ・健康チェック表による日々の体調管理
- ・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等感染症予防のための「手洗い・うがい・消毒・マスクの着用」の徹底。声掛けの常時実施
- ・熱中症、脱水症状の注意喚起と水分・塩分補給等の声掛け・保冷剤の支給を実施
- ・看護日誌の記入（生活介護事業）

### ( 2 ) 健康相談

日 時：月 1 回 基本的に第 2 火曜日 13:00～15:00

場 所：スタジオ：静養室もしくは食堂・和室 CoCo レスト：ホール

内 容：体重測定・血圧測定・面談による健康相談

状 況

日	人数及び実施状況
4 月 19 日（火）	8 名 新入所員、退院後通所再開所員、花粉症等のアレルギー症状がある利用者を中心に実施。
5 月 10 日（火）	10 名 新入所員、繁忙時残業実施の A 型利用者を中心に実施。
6 月 24 日（金）	9 名 繁忙時残業実施の A 型利用者、欠席が目立つ、体調不良気味等の利用者を中心に実施。
7 月 12 日（火）	9 名 肥満傾向、健康診断時に指摘有、生活習慣についての見直しが必要な利用者を中心に実施。
8 月～10 月	実施なし コロナウイルスまん延（第 7 波、第 8 波）のため中止。
11 月 8 日（火）	7 名 10 月の健康診断の結果要精検者を中心に実施。
11 月 2 日（水）	20 名 インフルエンザ予防接種の実施に合わせて健康観察
12 月 13 日（火）	12 名 夏、秋の繁忙期を経て健康状態の確認と健康診断結果に応じた相談実施。
令和 5 年 1 月 17 日（火）	11 名 久しぶりの方を中心に実施。
2 月 14 日（火）	25 名 当日欠席以外の全員の体重測定・血圧測定等実施
3 月 4 日（土）	安里医師の健康診断に合わせて健康観察

\* 令和 4 年度の健康相談は新型コロナウイルスの蔓延が多かった月は相談を中止した。

\* 場所は医務室ではなく、広い食堂和室を使用し常時、換気と器具等の消毒をして実施した。

\* CoCo レストの健康相談は実施人数や移動等の関係から、特別なことがない限りは常駐の宮崎看護師（職員）により CoCo レストにて実施をした。内容等については安里看護師に報告の形をとらせていただいた。

#### まとめ

- ・コロナウイルス陽性者や濃厚接触者の方が複数名いた。待機後、通所をした人に対しては後遺症の確認などをしていただいた。
- ・体重の増加については、適度な運動、日頃の食生活などの見直しが必要との指導があった。改善が見られた方もいる。
- ・通院、服薬をしている利用者の必要な情報や健康診断の結果を医師、看護師に把握していただき必要な指導をいただいた。本人に伝えるとともにご自身での健康管理や対応だけでは不十分と思われる方には事業所からご家庭に連絡を行なった。

#### (3) 健康診断

全日本労働福祉協会による健康診断 43名(利用者26名/職員17名)

日 時：令和4年10月7日(金)14:00~16:30

実施機関：(財)全日本労働福祉協会

実施内容：身長・体重測定・血圧測定・尿検査・視力検査・聴力検査・  
血液検査・胸部レントゲン、心電図・医師による問診

安里院長による健康診断 25名(利用者25名)

日 時：令和5年2月14日(土)13:00~14:00

場 所：食堂・和室

#### まとめ

- ・院長、看護師に診断結果を確認いただき、健康相談につなげた。合わせて、就業制限の部分について重労働可否のご教示をいただいた。
- ・結果に「要精検」と出た方には、通知を出し医療機関への通院をすすめた。安里院長の健康診断の際、特に「減量」「血圧の定期測定」に関して直接利用者に指導を行った。体調や食事の管理は本人だけでは対応が難しく、ご家族の協力等が必要な方がいる。家庭通知などを活用し直接事業所から連絡をしているが、中にはご家庭での支援が得られない状況もあり受診などスムーズにいかないケースがある。
- ・利用者のなかでも40代、50代の方の健康管理については特に慎重にみている。今年度は病气入院をされた方が2名ほどいた。

#### (4) インフルエンザ予防接種 35名(利用者20名/職員15名)

日 時：令和4年11月2日(水)13:15~14:00

#### まとめ

- ・予防接種を行うことで、インフルエンザ、風邪に対する予防意識が高まった。当日接種できなかった方は、安里医院やかかりつけ医で接種をした。今期、インフルエンザ感染者はいなかった。
- ・事業所で予防接種を実施していただけるため、受けやすい。本人、職員もだご家族からもこのような声がある。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症対策

スタジオ CoCo および地域生活支援センターCoCoでの新型コロナワクチン接種

安里医師に來所いただき接種を実施。集団接種会場や医療機関受診が困難な方、生活介護利用者を中心に実施した。

日 時：4回目 令和4年9月 7日(水) 13:30 4名  
5回目 令和5年1月25日(水) 13:45 4名

#### まとめ

##### ・コロナワクチン接種の推奨

ワクチン接種は任意であり基本的には個人の意思による。職員も高齢者施設等従事者として各市町村へ事業所から申し込みを行う等して実施をしたが、4回目、5回目となると各々時期も異なり始め個人での申し込み接種となった。

利用者はグループホームの入居者は入所施設として安里医師に接種いただいた。他の方には各市町の情報を早めに家庭にお伝えし、基礎疾患として対応いただけることや、予約方法等についても相談に応じた。接種当日は健康状態の経過等もみていただくためご家族の同行をおすすめして実施いただいた。

- ・事業所には「新型コロナウイルス抗原検査キット」を常備している。本人が無症状の場合であっても身近に濃厚接触になり得ると思われる方がいた場合等にも使用できるような体制にしている。
- ・「うつさない うつらない 自分の身は自分で守る」を合言葉にグループ組織・事業所全体で行動指針を遵守し感染防止に努めた。
- ・「手洗い・消毒・マスク」を基本に常に朝会にて予防を訴えた。トイレ、洗面所でのハンドソープによる手洗いと消毒の徹底。正しいうがい方法の指導。1日のうち2~3回手すり・作業台・台車等のアルコール消毒。会話をする時は距離を置くこと。朝会でのマスクの着用の徹底。乾燥防止。掲示物による呼びかけ。黙食。家庭内での感染防止等、様々な対策を行った。
- ・家庭・事業所での検温。健康チェック表を用いての体調管理を実施している。
- ・食堂での食事は交替制とし密の状態を回避した。座席はテーブルの並びを並列にして隣の人との間隔をあける。飛沫防止パネルを隣や前との間に設置する。食事中は会話を慎む。食後は塩素を含んだ台布巾でテーブルを拭く。個人の調味料の選択を止め厨房担当者から直接提供をしている。食堂は常に窓を開け換気をしている。
- ・NLS グループの行動指針の遵守を徹底し、休業日の過ごし方や外出等についても相談に応じた。県外への外出等において必要な場合は注意喚起を行うとともにご家庭とも相談をさせていただいた。
- ・日頃から三密を避けること、不要不急の外出を避けること。等NLSグループの行動指針に沿いながら、日々全体および個人に訴え実践している。

#### (6) 健康講話

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため実施なし。

#### (7) その他

利用者の状況

通所状況等

- ・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の蔓延はあったが休業などはなく通常どおりの運営ができた。
- ・感染対策として手洗い、消毒をはじめ体調管理に重点をおいていた為か年間を通じて「風



邪」症状での欠席がほとんどなかった。

- ・スタジオの男性利用者1名が1カ月程度の入院治療をしている。
- ・レストでは肥満でごはんの摂取量が決まっている利用者に対してはご家族とも協力をして食生活の改善につとめている。事業所でもご飯の量を量って提供している。また、運動量を増やす目的で日課の中でウォーキングを実施している。
- ・多飲水でトイレが頻繁な方は水分コントロールが難しく支援員の声掛けや見守りを要する。
- ・性に関して、利用中に自慰行為がある方への配慮、対応に苦慮することがある。

#### 熱中症対策

スタジオの工場内に設置したクールミスト発生装置ユニットから細かい霧を気化することにより表面温度を下げ暑さ対策を行なった。熱中症対策に大きな効果があった。

常時マスク着用の中、呼吸がしにくい等の方に対しては、適宜マスクをはずして屋外での休息をうながした。

#### 安全衛生委員会の開催

定期的に委員会を行うとともに、従業員全体に安全衛生意識の向上を図っている。

## 11 安全・衛生管理

### スタジオ CoCo 安全衛生方針

当事業所は、従業員の安全を第一に考え運営をしています。また、従業員も安全衛生意識を向上させるため朝会・会議などで情報交換を行い OJT で危険箇所周知・不安全作業防止について確認をしています。労災事故が起こらないように安全衛生上の提案を積極的に行う風土を作り上げていきます。

### スタジオ CoCo 令和4年度安全衛生目標

労働災害 0

決まった作業手順を必ず守る。

- ②相互の安全確保のため、大きな声での掛け声と合図を徹底する。

#### (1) 安全衛生委員会の開催

令和4年度は6回の開催となった。労働災害に関する知識を深めるとともに、危険予知トレーニング「KYT」をしながら工場のパトロールをしている。交通事故防止・火の用心に関しても、発生事例を検証した。

日時	内容
4月9日(土)	交通安全。3/26に発生した事故の反省点
5月11日(水)	虫刺され、配送車リアゲートでの負傷
9月18日(水)	工場パトロール
10月21日(金)	ダスターの発煙
11月30日(水)	衛生基準・工場パトロール
2月8日(水)	火災予防・工場パトロール

#### (2) 安全管理

##### 《事業所・工場》

- ・労働安全衛生手帳(日本リネンサプライ協会発行、全49ページ)の読み合せを平成27年12月11日以降毎日朝礼の中で行っている。気を付けなければならない事を説明し、注意を喚起

し、安全意識の向上に努めている。

- ・停止スイッチの作動確認を現場作業者が毎朝行っている。(平成27年12月より)異常があった場合には工場長または洗い場担当者に報告し安全確認を実施している。その他の異常(異音・異臭・蒸気漏れ・エア漏れ)も部署ごとで確認をしている。
- ・朝礼にてヒヤリハットの情報を発表してもらい、対策につなげている。
- ・毎月スタジオ CoCo における安全衛生の重点項目を決めて「今月の安全作業宣言」を掲示している。朝礼で趣旨を理解してもらい事故防止を呼び掛けている。
- ・毎日12:00~12:10の時間で部署ごとに清掃を行っている。当番でトイレ・玄関・廊下・食堂、職場の清掃また事業所周辺のごみ拾いや草取りなども行っている。
- ・玄関・トイレ・事務所・食堂・工場の出入り口ドア等の取手、ノブ、電気のスイッチ等をエタノール系消毒液で拭いて感染症の対策をしている。工場内の洗濯後の清潔物を扱う台車、作業台等も消毒液を用いて拭いている。
- ・令和元年10月12日の水害以来、衛生向上の為にスチールラックを増す等により物品の床への直置きをなくした。また、食堂の机・椅子・床を毎日消毒するようにした。
- ・令和元年11月より手指の消毒のため、エタノールスプレー容器を食堂入り口に2ヶ、工場入り口2ヶ、玄関1ヶ、洗い場2ヶ設置した。
- ・令和元年12月より、手洗い場の固形石鹼が細菌の繁殖の危険があるため、泡ハンドソープに切り替えた。手洗いの大切さを朝会等で啓蒙し続けている。
- ・令和2年1月よりマスクを必ずつけることにした。不織布マスクの着用を推奨している。
- ・令和2年2月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、朝出所時や訪問者の入所時に検温を行う 健康チェック表を毎日記入する 入所前に次亜塩素酸水を噴霧した状態のクリーンルームで3分間待機した後、入所をしてもらう 密な状態を避ける 等の対策をとっている。噴霧装置は工場を含め事業所内に5台設置して対応している。

#### 《交通・車両》

- ・過去にトラックの後方に関するヒヤリ・ハットが多かったため、バックモニターを全車両に取り付けている。
- ・危険運転があった場合ドライブレコーダーで確認。注意を促している。

### (3) 防災訓練

スタジオ CoCo

令和4年度は防災訓練を2回実施した。

令和4年9月28日(水) ・火災避難誘導訓練 ・通報訓練

工場乾燥機からの出火を想定して訓練を行った。避難・誘導、火災通報専用電話通報、水消火器による消火訓練を行った。

令和5年3月14日(火)

- ・厨房より出火を想定して訓練を行った。初期消火 消火係の連絡 放送により支援員の指示通り避難を行うことができた。火災通報専用電話通報訓練を行った。

## 12 委託給食

常時利用者 8名 (1食260円令和5年1月からは280円に改定)

昼食数 令和4年4月~令和5年3月 271日

利用数 2,142 食

検食日誌の記録

利用者の希望・意見収集（都度確認）

利用者の食物アレルギーの調査

お誕生日メニューの実施

給食検討会の実施（キッチン CoCo・栄養士・調理師・スタジオ CoCo 管理者・給食担当）

### 13 QOL 活動の実施状況

諸行事の実施及び参加

- ・千曲・坂城自立支援協議会さんさんネット主催「さんきゅーあーと展」共同作品に出品参加
- ・第 43 回長野県知的障がい福祉協会主催「福祉大会」第 4 分科会にスタジオ CoCo としてオンラインで参加 「見に来てわたしの” シキラッ シ” とした瞬間」でサザエさん体操のダンスをした。
- ・季節の行事「手作りかるた」「鏡開き」「節分」「お花見」等
- ・千曲川の堤防沿いや近隣地域のウォーキング、CoCo レストでの交流会を実施。
- ・スタ レクではコロナウイルスの感染防止対策をし、調理実習の実施、マレットゴルフ、美術館、図書館、体育館などの公共施設も利用した。

月	日	曜日	内容	備考	利用者	他
4	20	水	春の三本木公園へ出かけよう	三本木公園	11 名	5 名
5	25	水	DVD鑑賞 ドリフターズ	スタジオ食堂	10 名	4 名
6	15	水	おやきを作ろう	スタジオ食堂	8 名	3 名
7	13	水	図書館へ行って素敵な本に出会おう	スタジオ・レスト合同	9 名	5 名
9	16	金	ホクレク体操教室	スタジオ食堂・Zoom	8 名	4 名
10	26	水	マレットゴルフを楽しもう	萬葉グランド	9 名	4 名
11	22	火	ビーズでツリー作りに挑戦	レストフリースペース	9 名	2 名
12	16	金	アート展を見に行こう	サントミュージゼ・レスト	13 名	6 名
1	31	火	クイズ風オリジナルカルタを作ろう！	スタジオ食堂	6 名	5 名
2	21	火	ポッチャを楽しもう	戸倉体育館	9 名	4 名
3	28	火	ストーンアート作りに挑戦	スタジオ食堂	6 名	3 名

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「旅行」をはじめ通年実施している諸行事（クリスマス会など）を中止、あるいは縮小する形で行った。

### 14 CoCo 家族会ちくま

令和 4 年度の諸行事・活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会合形式での開催はなかった。総会は文書をもって行なった。

### 15 地域への開放状況

千曲市及び周辺市町

- ・地域の常会への会費納入、清掃活動等へ参加をした。
- ・千曲・坂城地域自立支援協議会

生活部会 はたらく部会 こころ部会 さん・さんネット部会に所属  
事業所運営との日程調整がつかず欠席のことが多い。

現場実習の受入れ

- ・稲荷山養護学校（本校）、基幹相談支援センター、ハローワーク等の関係支援機関からの体験実習や、A型での就職をめざしての実習の受け入れを行った。
- ・実習、見学に際しては隣接する地域生活支援センターCoCo ちくま/CoCo ホーム三本木の紹介も行い希望に応じて見学を合わせて行っている。

## 16 職員研修について

- ・毎朝の打ち合わせ会、職員会議（全体で月1回）生産会議（月1回）支援会議（おおよそ月1回）を行い、ヒヤリハットをはじめ日常の気づきを共有し、より良い生産活動、事業運営が行えるよう努めた。
- ・毎朝全員で「安全衛生手帳」の読み合わせを行い工場内における危機管理・安全管理と工場運営について学び、確認を行った。
- ・安全衛生委員会においてリネンサプライのみではなく、感染症、防災等多岐にわたる話題や課題について学び合い、毎月の安全衛生宣言に反映させ事業所内で労働および活動をする全ての人に周知を行った。
- ・障がい者虐待防止・権利擁護について学んだ。

主催・実施主体	内容	出席者
長野県知的障がい福祉協会関係	県代表者会	1名
	北信支部代表者会	1名
	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	3名
	実践事例を通して学ぶ自閉症支援セミナー一日受講	1名
	「人権について学ぼう」人権倫理委員会	2名
	長野県知的障がい福祉研究大会 第4分科会 当事者部会	3名
	新任職員研修	1名
	なんでもおしゃべりカフェ on ZOOM	1名
長野県相談支援専門員協会	相談支援従事者現任研修	1名
長野県福祉サービス運営適正化委員会	苦情対応システム研修会	1名
千曲坂城自立支援協議会	こころ部会	1名

## 17 職員体制について

管理者 1名（工場長兼務） サービス管理責任者 1名  
 職業指導員 1名 生活支援員 1名 賃金向上達成指導員 1名  
 事務員 医師（嘱託） 看護師（非常勤）

## 就労移行支援

### 1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 1名 千曲市 1名  
性別 男性 2名  
平均年齢 18.5歳(10代...2名)  
障がい種別 精神障がい者保健福祉手帳 2級...2名

### 2 作業訓練内容

事業運営日数 270日(基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)  
日 課 8:40~17:10 昼休み 50分 15時休み 20分  
(基本的には本人希望と体調・体力等状況を見ながら、ご本人にとって無理のない状況で行っている。)  
作業訓練内容 タオルのたたみ作業 タオル・ガウンの袋詰め作業  
洗い場での洗濯機投入前補助作業  
就職に向けて職場実習・求職活動を行う

#### 状 況

- ・工場内で就職に向けて作業をした。障がい特性を踏まえた働き方を模索した。  
年度当初2名の所員が在籍したが1名は自身の適正を追求したうえで退所し、別の事業所へ移行することとした。もう1名も体力、精神面、生活習慣に課題があり年度途中で退所をした。

### 3 利用者の通所方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 1名  
マイクロバスを利用している。(うち1名は CoCo ホーム表参道より通所)  
(2) 徒歩 1名(うち1名は CoCo ホーム三本木より通所)  
・事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている。

### 4 通所状況

#### 通所率

R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
93.2%	39.1	27.3	83.3	37.0	0

R4.10	R4.11	R.12	R5.1	R5.2	R5.3	平均
0	0	0	0	0	0	56.0%

- ・1名はほぼ毎日通所ができていたが1カ月で退所。もう1名は、遅刻・早退・欠席が多かった。

### 5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
R4.4	13,075円	R4.10	0円
R4.5	6,000円	R4.11	0円

R4.6	3,400円	R4.12	0円
R4.7	7,600円	R5.1	0円
R4.8	5,300円	R5.2	0円
R4.9	0円	R5.3	0円
月額平均		7,075円	

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労移行支援計画」を立てる。また3ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 8 安全衛生管理

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 9 委託給食

希望者には給食を提供（1食 260円令和5年1月からは280円に改定）

常時利用者 2名

昼食数 令和3年4月～令和4年3月 259日

合計 107食

他 就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 10 QOL活動・スタレクの実施状況

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 11 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 12 地域への開放状況

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

令和4年度は養護学校からの就労アセスメントの要望が複数件あり応じた。地域の就労移行支援事業所が減となっている状況もあり要望は今後も増える見込みである。

## 13 職員研修について

就労継続支援 A 型事業及び就労継続支援 B 型事業及び生活介護事業と同様

## 14 職員体制について

管理者 1名（工場長兼務） サービス管理責任者 1名

職業指導員 1名 生活支援員 1名 就労支援員 1名

事務員 医師（嘱託）看護師（非常勤）

支援員は一緒に作業を進め、一人ひとりにあった作業の見極めを行うことや、面談等利用者に寄り添う支援を行った。

## 就労継続支援 B 型

### 1 利用者の内訳

出身市町別 長野市 1名 千曲市 6名 坂城町 2名  
 性別 男性 5名 女性 4名  
 平均年齢 38.6歳 (22~59歳/20代...4名 30代...0名 40代...2名 50代...3名)  
 障がい種別 知的障がい 療育手帳 B1...4名 B2...3名  
 精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 2級...1名 3級...1名

## 2 通所方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 6名  
 (うち2名は路線バスと併用) マイクロバスを利用している。  
 (2) 徒歩 2名 (うち1名は CoCo ホーム三本木より通所)  
 (3) 自家用車 1名

事業所において通所費市町補助の申請をサポートしている。

## 3 作業訓練内容

事業運営日数 270日 (基本的には木・日の週休2日制 他開所日は希望通所)

日課 8:40~17:10 昼休み 50分 15時休み 20分

(精神面・体力面で継続しての作業が困難な方、既往症のある方等、体調管理や個別対応が必要な方が多い。相談をできるだけ本人の体力等に沿った日課を決めてご自分のペースで作業を行っている)

作業訓練内容 タオルたたみ ガウンたたみ作業 袋詰め作業 洗い場補助 他  
 状況

- ・令和4年度は5月に1名が生活介護へ移行、1名が退所をして11月に1名が入所となったが10名の定員には至っていない。
- ・作業能力には差がある。タオルたたみを中心に得意なこと、不得意なことを見極めながら個別に応じた作業内容で行っている。数名は習熟度が上がり周囲にも気を配ることができるようになった。また、個人の仕事の進め方もよくなりチームでもスムーズに作業を行うことができている。反面、集中が持続せずよそ見をしたり、仕事に関わりのない話を頻繁にする方もいる。注意指導を繰り返し行っている。
- ・個々の体調に合わせて、ご家族やご本人と話し合いながら、全体の休憩時間のほかにも休憩を設定する等して日課を作り作業を進めている。
- ・生活介護と就労移行支援の仲間と一緒に1回のスタレクを楽しみにして作業のモチベーションにしている利用者もいる。固定の利用者ではあるが継続をして参加がある。

## 4 通所状況

通所率

R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
90.9%	89.9%	96.4%	97.2%	92.9%	96.4%

R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	平均
95.5%	91.4%	93.9%	92.2%	90.6%	83.3%	92.6%

- ・個々の精神面等から通所状況は大きく異なる。今年度は、通年をとおして木曜日もB型利用者の方は閉所日とした。中には祝日には、通所するためのバスの都合や休息をと

りたいとのことから決まって休みを希望する方もいる。そのため、祝日のある月の通所率は低くなる傾向がある。

・コロナウイルス感染防止の2週間程度自宅待機をされた方が複数名いる。

## 5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
R4.4	22,738円	R4.10	24,495円
R4.5	22,710円	R4.11	22,403円
R4.6	22,855円	R4.12	37,354円
R4.7	40,404円	R5.1	20,212円
R4.8	25,038円	R5.2	17,822円
R4.9	23,351円	R5.3	31,144円
		月額平均	25,877円

## 6 個別支援計画について

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「就労継続支援B型計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 健康管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 8 安全衛生管理

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 9 給食の提供

希望者には給食を提供（1食260円令和5年1月からは280円に改定）

常時利用者 6名

昼食数 令和4年4月～令和5年3月 259日

合計 1,543食

他 就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 10 QOL活動・スタレクの実施状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 11 CoCo家族会ちくま

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 12 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 13 職員研修について

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び生活介護事業と同様

## 14 職員体制について

管理者 1名（工場長兼務） サービス管理責任者 1名 職業指導員 1名

生活支援員 1名 目標工賃達成指導員 1名 事務員 医師（嘱託）

看護師（非常勤）



## 生活介護事業

(主たる事業所スタジオ CoCo 従たる事業所 CoCo レスト)

### 1 利用者の内訳

出身市町別 千曲市 9名 上田市 1名 坂城町 1名  
 性別 男性 5名 女性 6名  
 平均年齢 27.8歳  
 (21～66歳/20代 4名 30代 1名 40代 2名 50代 1名 60代 2名)  
 障がい種別 知的障がい 療育手帳 A1...4名 B1...3名 B2...2名  
 身体障がい 身体障がい者手帳 2級...1名(知的障がいと重複)  
 4級...1名(知的障がいと重複)  
 精神障がい 精神障がい者保健福祉手帳 1級...1名  
 2級...1名(知的障がいと重複)

### 2 通所方法

- (1) スタジオ CoCo の送迎バス利用 しなの鉄道戸倉駅と事業所間 1名
- (2) 家族の送迎 7名
- (3) 公共交通機関 バス 3名(グループホームからの通所 2名)

### 3 日課

スタジオ CoCo/CoCo レスト 9:00～15:00  
 通所・朝会・ラジオ体操・気分調べ・生産活動(タオルたたみ・ウエス作り・カフェ清掃)  
 QOL活動(ウォーキング・創作活動等)

### 4 通所状況

#### スタジオ CoCo 通所率

R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
99.0%	92.2%	88.9%	66.7%	76.0%	82.9%

R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	平均
82.7%	86.4%	86.0%	82.0%	86.0%	87.3%	84.7%

・週5回通所者 3名、週4回通所者 1名、週3回通所者 1名。

#### CoCo レスト通所率

R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
74.3%	70.9%	74.5%	79.0%	69.5%	60.9%

R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	平均
72.4%	71.8%	60.8%	64.2%	64.0%	55.1%	68.1%

・おおそ週5回通所者 1名、週に4回通所者 2名。他、3回程度となっている。  
 通院が頻回な利用者、デイケアと併用の利用者の通所日数は月によって異なる。心身の不調や気分によって通所が困難な方もいる。

## 5 利用者の工賃支給

年・月	平均工賃額	年・月	平均工賃額
R4.4	9,780円	R4.10	9,800円
R4.5	9,979円	R4.11	10,158円
R4.6	10,457円	R4.12	12,911円
R4.7	12,630円	R5.1	8,239円
R4.8	8,575円	R5.2	8,382円
R4.9	9,035円	R5.3	13,366円
		月額平均	10,276円

## 6 個別支援計画

通所する利用者一人ひとりの願いに沿った計画を立て日々の支援を行った。計画を立てるにあたりご本人、ご家族との面談や関係機関とのケア会議を経て、アセスメントを行い「生活介護計画」を立てる。また6ヶ月ごとのモニタリングを行い、見直しを行った。

## 7 生産活動およびその他の活動状況

スタジオ CoCo

クリーニング作業

- ・タオル・ダスターのたたみ作業
- ・ガウン類・作務衣ズボン・ホテル館内着（ジャージ）のたたみ作業
- ・ウエス作り
- ・商品の納品・配達業務補助

その他

- ・食堂清掃（全体の清掃時間のほかに行う）
- ・昼食前のテーブル拭き、床の消毒
- ・事業所内のドアノブ等の消毒
- ・生活介護事業利用者の作業は作業室と通称きらきら棟で行っている。

作業室ではタオル・ダスターたたみとガウンのたたみ作業を主としている。丁寧できれいな製品作りをすることができる。また、仕上がり枚数も個々がスピードアップしており、より多くできるようになっている

- ・障がい特性や個性に応じタイマーや枚数を表示するカード、ボード、写真や支援カード等を活用している。

声掛けだけでは難しい場合には、やることを紙に書いたものを見える場所に貼ったりするなどして支援をしている。また、パーテーション等を使用しての構造化や、作業の効率化を図るため、集中できるように環境を整備している。

- ・コロナウイルスの感染対策としてマスクの着用や手洗い・消毒の徹底を図るが、単独では難しい方もいる。マンツーマンによる支援にて都度消毒等をしている。「1ケア1手洗い」を意識するが日常の支援の中で曖昧になりやすい。密着する場面もあるため緊張感を持ち徹底していく必要があると考える。

- ・ウエスの販売については継続して受注のある企業に販売を行なった。

ウエス売上 1kg 360円

令和4年度売上 合計 55kg 19,800円(昨年比-25kg 9,000円減)

その他の活動 QOL等

○主な内容

QOL活動(散歩、ウォーキング、体操、ダンス、おやき作り、農作業、創作活動など)

毎月スタレク(室内活動、野外活動)

CoCoレストとのレクリエーション交流

長野県知的障がい福祉大会の参加(Web)

ホクレク体操教室の参加(Web)

千曲・坂城地域自立支援協議会主催 さんさんネット合同作品展への出品

サンアップル主催 東信アート作品展の鑑賞(サントミュージゼ上田市美術館)

- ・スタジオではタオルたたみやウエス作りの通常の作業に加え、農作業(草取り、畑整備、石拾い、種まき、水やり、ゴーヤの収穫など)、スタレクでの新しい企画を充実(ストーンアート、ピース作り、ポッチャなど)。今後は、利用者の希望も取りながら、楽しさと学びのあるレクリエーションを考えていきたい。また、コロナウイルスも五類になるが、感染対策等を引き続き行って行く。

CoCoレスト

軽作業

- ・カフェ運営補助

店内掃除・消毒

カフェ注文表、カード切り

環境整備:窓拭き、花苗の水くれ・手入れ、周囲のゴミ拾いなど

- ・自主製品をカフェで販売

手作りウッドピンチ、素鉢のリメイクを販売

<カフェの営業状況>

カフェ営業日:月・火・水曜日 9:00~10:30

木・金曜日 11:00~15:00

Bakery CoCo cafeのパンを販売

- ・お客様が安心してカフェを利用いただくために、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し営業を続けた
- ・お客様の要望や今年度は善光寺御開年であることときっかけに、4月下旬から朝カフェを始め毎日営業した。それに伴い、来客者数が増加した。

<活動状況>

- ・利用者は、直接接客することはないが、毎日、カフェ営業前のカフェ掃除や消毒作業、環境整備に関わる作業を行っていた。
- ・カフェメニューで提供する野菜(ピーマン、ミニトマト)を栽培に挑戦し、水くれや収穫をしてもらう。
- ・季節のイベント(ハロウィン、クリスマス)カフェオープン3周年記念キャンペーンを企画し、利用者と一緒にウッドピンチ、リメイク鉢などの手作り品を製作して、記念品としてお客様にプレゼントした。

記念品が好評だった為、その後自主製品してカフェで販売している。

<その他>

- ・レストの1日のスケジュールは、基本的に午前カフェ掃除含む軽作業、午後は個人活動に分けているが、利用者の一人ひとりの障がいや状態に合わせて、個人のスケジュール表があり、自主的に活動に参加できるよう工夫をしている。

今後も、利用者が「自分でもできる」「ひとりでできた」と実感できる支援を心がけたい。

- ・レストでは、少しずつ自立した社会生活がおくれるよう、生活の中でできること、身につけることを行う為に、作業以外に給食時に自分で使用した食器洗い、自由時間に希望する利用者にはカフェ利用やパンの購入を楽しんでもらったり、調理実習やお菓子作りを行なった。

また、感染症予防の観点から活動内容を見直しをして、事業所内で出来る季節が味わえる行事、誕生日会、ゲームなどストレス解消や楽しみにつながる行事を計画し行った。

その他に、障がい者スポーツ支援センター長野 サンスポーツながのが開催したオンラインでの運動教室に参加したり、地域のボランティア講師によるトールペイント教室やピース教室に参加することで、他者交流の場を広げた。

今後は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するにあたり、状況をみながら活動の幅を広げていきたい。障害者手帳を有効に活用して外出する機会を増やすなど、様々な経験や体験につながるような活動を考えていきたい。

## 8 健康管理

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

## 9 安全衛生管理

### 防災訓練

#### スタジオ CoCo

就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業と同様

#### CoCo レスト

令和4年度は同日に通報・消火・避難訓練を行った。

実施日：令和4年11月21日（月）

- ・拡声器によるサイレンを鳴らす為、事前に近隣宅へ訓練のお知らせをするチラシを配布して協力をお願いする。
- ・事前学習として、利用者・職員は避難方法や消火方法等について動画を観ながら学ぶ。
- ・当日は、戸倉上山田消防署消防士の立ち合いのもと、カフェのトースターからの出火を想定し、通報、消火、避難訓練を実施。

通報訓練：通報訓練は消防署の事情により実際は通報せずに、立ち合いの消防士と通報訓練を行う。

避難訓練：避難経路、及び避難経路に障がいとなる物などがいないか確認しながら避難訓練を行う。問題なく避難できたが、動けなくなる利用者がでたことを想定して避難方法を確認する。

消火訓練：利用者も含め全員で消火訓練を体験。毎回、参加者全員で消火訓練をしているが、落ち着いて消火できるよう消火の順番を覚える方法も教え

ていただく。

「ピノキオ」 「ピンを外し、ノズルを持つ、距離をとる、押す」

#### 10 委託給食

希望者には給食を提供（1食 260円令和5年1月からは280円に改定）

常時利用者 10名

昼食数 令和4年4月～令和5年3月 254日

合計 1,961食

他 就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様

#### 11 QOL活動・スタレクの実施状況

就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様

#### 12 CoCo 家族会ちくま

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様

#### 13 地域への開放状況

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様

#### 14 職員研修について

就労継続支援A型事業及び就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業と同様

#### 15 職員体制について

管理者1名（工場長兼務） サービス管理責任者1名 生活支援員6名

医師（嘱託） 看護師2名（1名常勤・1名非常勤） 事務員

### 心身障害児(者)タイムケア事業

心身障害児(者)が家庭において介護を受けることができず、一時的に介護を必要とする場合、依頼に応じて介護を行う。

利用者の心身機能、生活、人生を尊重した上で、利用者と家族の意向に基づき、そのおかれている環境に十分に配慮しながら、安心して自立した地域生活が営むことができるように支援している。

#### <登録者数>

20名（うち実際タイムケアを利用した利用者は8名）

#### <利用実績>

	利用者数 (人)	延利用者数 (人)	総利用者時間数 (時間)
令和4年4月	5	41	57.0
5月	4	41	49.5
6月	4	40	50.5
7月	4	41	48.5

8月	7	43	59.0
9月	6	33	43.5
10月	5	29	34.5
11月	5	37	49.0
12月	8	38	51.5
令和5年1月	5	33	34.5
2月	5	34	48.0
3月	4	30	36.5
合計	52	440	562

#### 障害者等日中一時支援サービス事業

地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活をこの地域において営むことを目指し社会生活を実現するための相談や支援を行う。そして、その方の居場所として、自由な憩いの場として、創作活動及び余暇活動支援等の実施を通じ、社会との交流の機会を促し、利用者の要望に添った活動、自主性が確保されるサービスを提供する。また、利用者個人の尊厳の保持に努めこの地域における地域福祉の増進を図っていく。

#### < 登録者数 >

17名 (2名利用中止)

#### < 利用実績 >

	利用者数 (人)	延利用者数 (人)	総利用者時間数 (時間)
令和4年4月	12	39	83.5
5月	11	44	88.
6月	12	62	124.5
7月	12	48	122
8月	10	40	78.5

9月	13	63	136.
10月	13	44	101
11月	14	43	74.5
12月	13	48	118.5
令和5年1月	12	49	111
2月	13	47	115
3月	11	43	90.5
合計	134	570	1243

<日中一時・タイムケア利用者の電話対応及び相談件数>

令和4年度 430件

<日中一時・タイムケア利用者以外の相談（電話・面談）件数>

令和3年度 10件

令和4年度 62件

#### 実態状況

新型コロナウイルスが流行して3年目。コロナの影響を受け、障がいのある人たちが不安やストレスをためずに、地域で安心して生活できるよう、CoCoレストは感染対策を徹底した上で日中一時支援・タイムケア事業を継続してきた。

今年度の新規利用者は5名と少なかったが、昨年並みの利用実績であったが、利用者やそれ以外の方々からの相談件数が増加した。話を聞いてほしい、相談したいと思える場所になったという点は評価できる。相談内容は様々であるが、継続的支援が必要な案件に対しては、千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センターをはじめ関係機関や行政につなぐ役割を果たす。健康面の相談においては、地区担当保健師や管理栄養士と連携して健康面をサポートした。

利用者一人ひとりの想いを受け止め、寄り添い、思いやりの態度で接し、利用者が願う暮らしに近づくためにはどうしたらいいのか一緒に考え模索してきました。

また、利用者のニーズに合わせた活動を提供するとともに、地域のボランティア講師によるトールペイント教室、クラフト教室、ビーズ教室は毎月開催し定着している。利用者だけでなく、その家族や興味を持った方にも参加してもらった。

カフェ(Café CoCo Rest)や隣接するフリースペースは地域の拠り所や居場所として周知され、ゆっくりとくつろいで過ごせる空間を提供し、居場所の効果を最大限に生かせるよう取り組んできた。今年度の新しい取り組みとして、地域の関係する団体に会議室として利用してもらうことも始めた。様々な立場の人々と触れ合う事で、コロナ渦のなかでも自然に交流が広がる機会が増えるようにした。

## アートカフェ CoCo

障がいのある人たちの表現活動を行う場として、6年を終えることができました。当法人がこれまで実践してきた障がいのある人が地域の中で望むスタイルで自分らしく生活をおくことを支えてきた活動を、須崎市(須高地域)において行っております。障がいのある人の多様な生き方に貢献するために、求められている必要となる資源を整えて、質の高いサービスを提供することで障がいのある人及び家族の望みをかなえることができるように更に一層と応えていくための所存を冷ますことなく持ち続けています。

アートカフェ CoCoに通ってくる障がいのある利用者たちは、自分の考えや想いを上手く言葉にして表すことが苦手だったり、言葉を扱うことが全くできなかつたりとする方が多いです。最近では、自閉症スペクトラムによる独特の特性をもつ人たちの利用が増え始めています。いわゆる行動障害という自傷・他傷・他害等の行為があり、生きづらさを抱えている人たちもいます。こちら側の支援者側もその生きづらさに向き合い、適切な支援の提供により、解消及び改善を目指しています。自らの存在や価値を肯定して、自分を労り、自らの望む生活をおくってほしいと心より願って、日々の関わりを行っております。彼ら彼女たちの意思や想いは社会の中では見逃されやすいですが、私たちは日々彼ら彼女たちに真摯に向き合って、声なき声や思いを丁寧に探り、感じ取ることに努めています。

利用者たちは、自らが好きである表現活動を通して日自分らしく表現しています。個性的な色気をたっぷりと感じられる素敵な作品もたくさん生まれています。

令和4年度においては、アートギャラリーを拠点にして、社会とつながっていく展開をし始めております。NLSグループコーポレーションに協力をいただいて、作品のレンタル事業を行っております。NLSグループコーポレーションのお力添えいただいたおかげで、レンタルしていただける顧客もおります。そして、作品展として、作品展「感覚をノックする展」を1回開催しました。武井工芸店様にて1週間程度。まずまずの成果は得られたとも思います。そしてまた、カレンダー・クリアファイル・缶バッジ・はがきなど、利用者の作品をデザインとして使用して製作を行い、この作品展にて販売を行いました。販売方法等などの課題が残り、今後この課題の解決にあたっていきたいです。以上のような取り組みを通して、利用者の方たちに工賃を提供することができました。

また、このような機会は利用者にとって自信や意欲を一層と持てることにつながりましたし、スタッフにとっても、より多くの人たちに当事業所の運営や活動をより広く知ってもらい、より理解を深めてもらえることになったので、自らの普段の取り組みを振り返るよい機会になったと思います。利用者及びスタッフ共に、今後の運営や活動に、更なる望みをより一層と抱けることができましたので、素晴らしい場であり取り組みであったと思います。今後もこのような取り組みを続けたいです。

カフェの運営は、スタッフ体制の確保やカフェのスペースが利用者の活動等の場として利用しており、休止しております。



また、障がいのある人たちの表現活動を行う場と併設する形で同時にフリースペース事業を行っており、不登校や引きこもりの状態にいる人たちの居場所づくりを行っています。自らのことを肯定できなかつたり自信を持てなかつたりする人たちが当事業所にて行っている活動（表現活動や社会体験活動等）に個々で自らに合った形で参加して取り組むことで、安心して活動できる居場所として過ごすことができる、社会や地域の中で自分らしく活躍していくことを成し遂げることができる、そのようなフリースペースの運営を目指しています。

令和3年度に購入した隣接地の土地は現在は駐車場等に利用しておりますが、いずれは行動面で課題のある障がいのある人の活動等の場所として、建物を建てて利用してまいりたいと思います。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の対策等に追われた1年間でありました。感染症対策は、事業所運営を行ううえでは、重要課題であり、マニュアルに沿って対応して、まずは予防することに徹底的に努めてきまして、状況に応じて休業することもありましたが、1年間を通して安定的に開所して運営を行えたと思います。心身共に負担を多く感じる1年間ではありましたが、利用者の居場所を確実に安全に確保し続けました。利用者によっては、事業所を一か所に絞ったり、通所を控えたりとした方もありましたが、安定的に事業所を開所し続けて、そして活動を提供し続けてきたことは、ひとえに全スタッフの尽力によるものだと思います。

今後の事業所運営において、まだまだ向き合わなければならない課題が多くありますが、誠実に謙虚に対応していきたいと思います。

#### 生活介護事業

（利用者の推移）

<b>定員 20 名</b>	<b>令和 4 年度末在籍者数 19 名</b>	<b>（令和 3 年度末 在籍者数 19 名）</b>
令和 4 年 7 月	1 名入所 (在宅より)	・・・ 在籍者数 19 名

#### 1 利用者の内訳

（6）利用者総数 19 名

（7）出身(支給決定)市町村別 長野市 11 名 須坂市 7 名 小布施町 1 名

（8）性別 男 12 名 女 7 名（総数）

（9）年齢 31 歳(令和 3 年度末)

（10）障がい種別 知的障がい者 22 名

身体障がい者 2 名

発達障がい者 7 名

重複者数名あり

（6）障害支援程度区分 <3>2 名 <4>5 名 <5>8 名 <6>4 名

#### 2 通所方法

（6）徒歩または自転車 0 名

（7）バイクまたは車（本人運転による） 0 名

（8）公共交通機関利用 3 名

（9）事業所送迎 13 名

(10) 家族または他事業所等による送迎 13名

(ア) 重複者あり

### 3 日課について

9:30 ~ 10:00まで	着替え 朝会 ラジオ体操等
10:00 ~ 12:00まで	午前の活動
12:00 ~ 13:00まで	昼食 休憩
13:00 ~ 15:00まで	午後の活動
15:00 ~ 15:30まで	掃除 おやつ 着替え 帰りの会等

- ・利用者の事情または活動内容等によっては、このとおりの日課ではない。
- ・8時30分~9時30分及び15時30分~17時の間もタイムケア事業で利用して方もいる。
- ・土または日曜日は活動内容によって様々に設定した。

### 4 通所状況

通所実態（通所率）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
48%	50%	52%	49%	46%	49%

10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
48%	43%	43%	51%	47%	51%	50%

上記の通所率の数字は、週に5~6日を開所としているところで、個人個人の事情により週に1~4日で通所している方も半数程度おり、その状況を条件にした通所率の数字である。

### 5 個別支援計画

本人や家族との面談や、関わりのある関係者等を含めた会議を開くなどして、本人のそれまでの歩みや、好きなことや得意なこと、苦手なこと、行動面や日常生活上の行為等で配慮すること等々に関して、情報収集や確認を行い、本人の願いをベースにして個別支援計画を作成した。

何よりもまずは、本人中心というスタンスを重視して、願いやニーズ等を把握するように努めた。言葉にして相手に自分の意見や考えを伝えることが難しい利用者が多いので、日常の行動等を観察して分析したり、家族等の周りの関係者等からのアドバイス等をもったりして、本人の意思や思いを探り、個別支援計画に反映した。当事業所外での、生活の場面などの困り感や希望があった時には、他の機関と連絡をとって情報を共有して、そのうえで当事業所として担うべき課題に関しては、個別支援計画の目標として取り入れ対応にあたった。

そして、6カ月ごとに1回の見直しを行った。来年度も、本人の願いをベースに、より良い支援に繋がるように計画的また必要に応じて面談等を行い、定期的に支援計画を作成していきたい。

### 6 活動について

【表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)等】

(1) 表現活動(絵画、造形、書道等の創作的活動他)

日々の日課の中で、活動内容に関しては、基本的に利用者個々が気に入っている活動に個別に取り組んだ。絵を描いたり、書道を行ったり、ウォーキングをしたり、音楽を聴いたり歌っ

たり、ペーパーで工作をしたり、話をしたり等々。毎週月・木曜日にはプロの講師の方である関孝之氏および佐々木良太氏に来ていただいてアートワークショップを行った。プロの講師の方によるワークショップはより深みのある活動を行うことができ、より興味を持ち楽しんで活動に参加することができた。

#### (2) 作品展の開催及びグッズの製作販売

冒頭で述べたとおり、利用者の人たちが製作している作品の展示会の開催を、そして作品を使用してグッズの製作販売を行った。令和4年度においては、1回の作品展を実施した。

#### (3) その他

県内外で開催されたアート展に参加して、美術館等での作品の展示や作者紹介の機会をいただくこともできた。令和4年度においては、「日本財団 DIVERSITY IN ARTS 公募展」に応募したりもした。

### 7 QOL 活動について

QOL 活動については日々の活動の中で取り入れ、実施した。季節ごとの行事を企画して行い楽しんだ。新型コロナウイルスの感染症への対策もあり、例年通りの内容を実施することはできなかった。

### 8 保健衛生について

#### (1) 健康相談について

- ・日時 : 毎月 第四金曜日午後 13:30 ~ 15:30
- ・実施者 : 斎藤恵子看護師
- ・実施内容 : 体重測定、血圧測定、検温、健康相談
- ・相談者数 : 毎回 9 名程度

##### 血圧測定

- ・去年よりエラーが出てしまう利用者さんが減り、しっかり測ることができてきている。
- ・血圧が高めの方が数名おり、いずれも定期通院しかかりつけ医に相談しながら生活している。他にも突発的に高い血圧の出る利用者さんがいるが、前後の出来事を踏まえつつ家庭と連絡を取って様子を見ている。

##### 相談内容

- ・生活の中で困っていること、心配なこと
- ・体重や血圧数値について
- ・今日あった出来事など

#### (2) 健康診断について

- ・日時 6月30日(木)
- 7月7日(木)

##### 実施にあたっての配慮

- ・聴覚過敏や場所見知りなど個別対応が必要な利用者さんのため、事前に情報を伝え個別対応をしながら各検査を受けることができた。
- ・絵カード、写真等を使いながら、どこでどんな順番で検査を受ける等の事前説明を丁寧に行った。
- ・当日、健康診断は受けずにアートカフェに残る利用者さんもいたため、スタッフや利用者さん

の動きがわかるタイムスケジュールを用意し、一日の見通しを持てるようにした。

- ・ 6月30日、7月7日とも同じ木曜日だったため、木曜日しか利用しない利用者さんには当日の活動や昼食の時間変更にご協力をいただいた。

結果について

- ・ 体重測定 ・ しっかり測ることができた。
  - ・ 全体的に増えている。
- ・ 視力検査 ・ 事前に練習していったメンバーさんもいたが、当日の検査内容が難しかったため判定不能になってしまうメンバーさんが多かった。
- ・ 一度に全ての画面が見えてしまうものより、一文字ずつ測定できるものだと理解しやすいと思う。

### (3) インフルエンザワクチン

日時及び人数 11月7日(月): 利用者4名、スタッフ2名

11月15日(火): 利用者3名、スタッフ3名

実施にあたっての配慮

- ・ 不安やパニックにならないよう行く利用者の方にはご飯の時間、どこに行ったら何をするのか、出発の時間や到着の時間、帰る時間などイラストのカードや文に起こしながら事前に説明を行った。
- ・ 行かない利用者の方にもご飯の時間などをずらしていただいた。

### (4) 新型コロナウイルス対策

- ・ 手洗いうがい、マスク着用、距離の確保のお願い
- ・ 体調チェック
- ・ 館内、床、車両の消毒
- ・ 加湿器の設置
- ・ 対面にならない食事の席の配置
- ・ アクリル板の設置

### (5) 救急箱について

風邪薬、胃腸薬、鼻炎、痛み止め等の経口薬、及び消毒液、絆創膏、湿布、目薬等、かゆみ止め並びに体温計を整えている。自傷行為があったり、肌が荒れやすい体質等のため、手指等に傷がしやすい利用者が数名いて、絆創膏が使われることが多かった。一部の風邪薬や目薬・湿布薬などのように全く使用しない薬もあった。

### (6) 服薬支援について

服薬支援を行っている利用者は4名である。管理を行っており、行為は自身でできる。

### (7) 個別の健康情報について

自身の体調不良等の訴えを行えない利用者が多いので、日常的に利用者の様子をしっかりと観察することで体調を把握している。また休むときも電話や訪問等を行って連絡をとり、状態の確認等を行っている。そのうえで、必要な支援を行い、そして当事業所のスタッフ間でも利用者個人の基本的な情報と日々における状態について情報共有を行い、事業所スタッフ全員で連携して支援にあたっている。

### (8) 清掃、整理整頓等について

清掃については、利用者によってそれぞれができる箇所を行っている。清掃を行っていない利用者もいる。従って、利用者が来所する前の朝に、週一回職員が一斉に清掃を行う日を設けている。整理整頓にも心掛け、5Sが保たれた事業所を維持できるように努めている。

## 9 給食について

- ・給食を楽しみに通所する利用者が多い。楽しい時間でもあった。
- ・キッチン CoCo より弁当を提供してもらっており、栄養士に作成したメニューで提供されており、適切であったと思われる。
- ・日頃よりキッチン CoCo とは給食に関する情報交換及び共有を行い、課題検討を行った。また、嗜好調査も行い好き嫌いやアレルギー等のアンケートをとり、必要に応じて対応をした。アレルギーによる配慮は行い、弁当の変更をお願いすることもあった。
- ・体重など考慮して、職員が調節してごはんを盛ったり、また、調味料もかけすぎないように職員が行うなどして、健康面での配慮を行った。

## 10 旅行について

令和4年度は実施しなかった。

## 11 防災訓練について

### (1) 防災訓練

#### 第1回目

- ・実施日：令和4年 9月7日(水) 13時15分～13時45分
- ・参加者：利用者6名 職員7名 計13名
- ・内容：避難訓練。事業所内の食堂キッチンのIHの不具合により、火災が発生したと想定して避難訓練を行った。
- ・課題及び反省点：

前回までの経験を参考に、職員と利用者双方を対象として、「通報・消火・避難訓練実施マニュアル」にのっとり一連の動きを確認した。今回は建物内部北側に位置する食堂配膳室のIHの不具合による出火という事態を想定して、発見、通報、初期消火、避難(誘導)における、それぞれの対処方法等を順番どおりに1つ1つ確認した。火災感知警報機による感知(サイレンが鳴った)から避難完了までの時間は、2分20秒で前回より1分ほど短縮できた。参加者全員の協力により大きな混乱もなく、無事に訓練を終了する事ができた。口頭での説明で理解が難しい利用者さんにはイラストを使用し視覚的に説明する事で一定の理解が得られたと思われる。

実際の避難時にも考えられる事なので、今後も職員会議等で検討していきたい。

以上、今回の経験をもとにそれぞれの状況に合わせた相応な判断と行動及び誘導ができることを目指して、状況に合わせた訓練を次回以降も続けていきたい。

#### 第2回目

- ・実施日：令和4年 3月23日(水) 13時15分～13時45分
- ・参加者：利用者8名 職員8名 計16名
- ・内容：避難訓練。事業所内の食堂キッチン内のIHの不具合により、火災が発生したと想定して避難訓練を行った。
- ・課題及び反省点：

前回までの経験を参考に、職員と利用者双方を対象として、「通報・消火・避難訓練実施マニ

ュアル」にのっとり一連の動きを確認した。今回は建物内部北側に位置する食堂配膳室のIHの不具合による出火という事態を想定して、発見、通報、初期消火、避難（誘導）安全確認等における、それぞれの対処方法等を順番どおりに1つ1つ確認した。火災感知警報機による感知（サイレンが鳴る）から避難完了までの時間は、3分24秒で前回より1分ほど長くなった。参加者全員の協力により大きな混乱もなく、無事に訓練を終了する事ができた。ただし、事前の担当役割業務の確認不足により、連携がとれなかった場面もあり、避難にもたついた箇所もあり、それが前回に比べて1分長くなった理由である。避難訓練の実施について、口頭での説明で理解が難しい利用者さんにはイラストを使用し視覚的に説明する事で一定の理解が得られたと思われる。実際の避難時にも考えられる事なので、今後も職員会議等で検討していきたい。

以上、今回の経験をもとにそれぞれの状況に合わせた相応な判断と行動及び誘導ができることを目指して、状況に合わせた訓練を次回以降も続けていきたい。

#### (2) 消防設備点検

総合点検として年に2回（令和3年5月及び11月）に業者に委託して実施した。

#### (3) その他

- ・自衛消防団の編成及び調整。職員緊急連絡網の作成及び配布。
- ・消火器、非常警報装置、誘導灯、火災探知報知機の設置。

#### 12 地域との協働について

- ・見学や研修を受け入れた。  
（特別支援学校等の先生及び生徒、保護者、他事業所利用者等）
- ・ボランティアの受け入れを行った。
- ・地域の諸団体等との連携を行い、様々な地域ネットワーク等に積極的に参加した（須高地域自立支援協議会等）

#### 13 職員研修について

- ・個別支援に関するサービス担当者会議等の支援会議、利用者支援に関する知識及び技術の獲得及び向上等の研修、職員会議、表現活動等に関する研修等を定期的実施して、支援や活動等に関する知識及び技術の向上や研鑽等に努めた。
- ・虐待防止研修、強度行動障害研修等の外部の機関が行う研修に積極的に参加し、知識や技術の向上に努めた。

#### 14 職員体制について

所長兼サービス管理責任者	1名
看護師	1名
生活支援員	6名
ギャラリースタッフ及び 生活支援員	1名
看護師（嘱託）	1名
医師（嘱託）	1名

## フリースペース事業

[事業及び活動等の内容・課題・評価等について]

普段より、障害福祉サービス事業生活事業を運営しており、障害のある人のエンパワーメントを最大限引き出し活かした活動（表現活動（アート活動等））を行っております。その自由であたたかな空間として、不登校やひきこもりの子どもや大人たちが自分らしく過ごすことのできる癒しの場として利用していただくことを目指しております。令和2年度においてはスタッフ体制や予算、活動等の場所の確保等に課題があり、運営を思うようにできませんでした。

個別にゆったりとのんびりと自分の思うように時間を過ごしたり、スタッフや利用する仲間たちとの会話を楽しんだり、相談をしたり、そしてアート関係の表現活動や調理実習等の社会体験活動等の、自らが楽しめて取り組むことのできる活動に参加したりして、居心地のよい安心できる居場所として、そして他者及び地域や社会とつながりを得ることで、自分らしく生きていくことのできるきっかけやパワーの源を得ることのできる場として、今後において運営を目指していきたいと思っております。

### 1 活動内容等について

#### (1)アート関係の表現活動について

年間をとおして、毎週月・木曜日に外部講師である関孝之氏及び佐々木良太氏に来ていただいて、生活介護事業の障がいのある利用者を対象としてアートワークショップを行っている。絵を描いたり、書を書いたりして、好きな表現活動を行うことで楽しく時間を過ごし、自らのことを表現していくことの面白さを味わうことのできる場面であるが、フリースペースの利用者も気軽に参加してもらいたいと思っている。

## CoCo 金沢

令和 4 年 8 月に開所した CoCo 金沢。「無理なく、楽しく、長く働く」をモットーに、4 名の第 1 期生は働き始めました。一般就労を経験された 50 代の男女 2 名、20 代半ばにして初めて「働く」という経験を始めた男女 2 名。そんな 4 名が自分たちなりの「働く」を体現しながら、休むことなく頑張ってくれました。その第 1 期生の背中を見ながら、9 月以降も少しずつ利用者の人数は増え、就労継続支援 A 型はこの 4 月で定員の 10 名に達することとなりました。

CoCo 金沢は日本海リネンサプライ（株）への施設外就労という形をとっていますが、コロナも落ち着き始めた時期での開所ということ、また観光地・金沢ということもあり、夏・秋・冬と常に観光客の足も大きく減少することなく、仕事量も十分な量がありました。そのような中、利用者の皆さんの頑張りもあり、少しずつではありますが、日本海リネンサプライ（株）の皆さんからも貴重な戦力として認めてもらえつつあります。何より、ひとりひとりが笑顔で生き生きと頑張っている姿を見ていると、「CoCo 金沢を開所してよかった」と実感でき、職員みんなの力にもなっています。

行事については、開所当初は利用者の皆さんの仕事を軌道に乗せることに主眼を置いていたため行っていませんでした。しかし、クリスマス会を皮切りに、鏡開き、節分、ひな祭りと毎月行うこととなり、親睦・交流も深まっています。また、誕生会も個別に行い、みなさんに「生まれてきてくれてありがとう」という想いを伝えながら、当日勤務の利用者・職員全員でお祝いをしました。

次年度は新たに 4 名の仲間が加わります。「無理なく、楽しく、長く働く」をモットーに、各々が楽しく豊かな人生を送れるように、CoCo 金沢がその一端を担えるような事業所となれるように、支援員一同、頑張っていきたいと考えています。

最後に、今回、廣望会として長野県から石川県に飛び出しての事業拡大となりましたが、地域によって考え方が違うことに驚きを感じました。たとえば、就労継続支援 A 型の勤務時間ひとつとっても、長野県では当たり前となっている、フルタイム勤務という考え方。石川県では画期的な取り組みで、ほとんどの事業所が 4 時間から 5 時間ほどの短時間勤務です。そのため金沢市障害福祉課やハローワーク金沢からは絶大なるバックアップを頂き、申請準備や利用者の確保に尽力していただきました。また、特別支援学校の進路指導の先生方からも、質問や問い合わせが相次ぎ、通常の秋季の実習のみならず、冬季に追加の実習を 2 つの学校から依頼され、実際に 3 名の利用者と雇用契約・利用契約を結ぶこととなりました。行政に提出する書類も長野県とは扱い方が大きく違いました。利用契約を結ぶ前に個別支援計画を提出する、施設外就労実施報告書を毎月提出するなどです。また、石川県内でも金沢市と隣接する白山市や野々市市との間で利用契約を結ぶ前に提出する書類に違いがありました。

一日一日が勉強の毎日で苦労も絶えませんが、仕事を終えて戻ってくる利用者さんとの何気ない会話や笑顔が癒しとなっています。「CoCo 金沢が今までの職場で一番楽しい!」「CoCo 金沢でなければ休まないで働くななんてできなかつたと思います。」そんな言葉も利用者さんから聞かれます。令和 5 年度も新たな素敵な出会いを求めて、CoCo 金沢は前だけを向いて進んでいく次第です。



## 就労継続支援 A 型

### 1 事業の開始と利用者の推移

令和4年8月1日 多機能型障がい福祉サービス事業所 CoCo 金沢開所  
 4日 利用者4名入所  
 令和4年9月1日 利用者2名入所  
 令和4年11月1日 利用者1名入所  
 30日 利用者2名退所（業務内容が本人と合わなかったため）  
 令和4年12月12日 利用者1名入所

総在籍者数 6名（令和5年3月末）

### 2 利用者の内訳

出身市町村 金沢市6名

性別 女性3名 男性3名

年齢（平均年齢...35.7歳）

20代...3名 30代...1名 40代...0名 50代...2名

障害種別

知的...3名（内療育手帳B...2名 不所持1名）

精神...3名（内精神手帳2級...2名 3級...1名）

身体...0名

通所方法

自家用車等...2名 自転車...1名

送迎...3名（内金沢駅まで北鉄バス利用1名、もよりのランドマーク（金沢駅含む）まで徒歩2名）

利用者個人の状況に応じて、手厚い送迎を行っている。

### 3 勤務体制

始業時刻...8時30分 終業時刻...17時

休憩時間...12時～12時50分 15時～15時10分

- ・日曜日が固定の公休。もう1日は利用者の希望の曜日に振り分けている。
- ・希望者は30分の勤務時間延長を行っている。

上記勤務を目標に、一人ひとりの状態に合わせた短時間勤務や時差出勤希望の受け入れをした。

### 4 通所状況

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
98.8%	96.1%	99.2%	88.0%	97.6%	98.5%	94.2%	95.6%

勤務実態（出勤率）

年平均...96.0%

・11月以外は概ね体調を崩すことなく元気に出勤できている。「働く」ことに責任と喜びを感じているものと思われる。

・第1期生～第3期生は、離職して在宅期間が長かったり、学校を卒業して働いたことがなかった方々ということもあり、勤務時間を半日（8時30分～12時）として心身ともに慣らしても

らった。その後、個人面談を通して個人の状況に合わせて勤務時間を延長し、3月からは全利用者8時30分～17時までの勤務時間となった。

## 5 利用者の作業内容

全員、日本海リネンサプライ株式会社への施設外就労（ホテルリネンサプライ・クリーニング業）を行った。

洗い場...1名 タオル...2名（年度中途退所者含む）

シーツ・枕カバー...4名（年度中途退所者含む） 包布・浴衣...1名

## 6 利用者の給与

給与は最低賃金を確保するように努力しているが、労働形態に合わせて労働基準監督署の承認を得て、最低賃金減額特例を受けている方が2名いる。通勤費は全額支給、有給休暇（時間単位）付与、社会保険・労働保険全員加入。

月収の状況（令和4年8月～令和5年3月）

月	利用者数	平均月収	月	利用者数	平均月収
8月	4名	59,517円	12月	6名	96,014円
9月	6名	83,326円	1月	6名	108,662円
10月	6名	112,712円	2月	6名	105,752円
11月	7名	101,066円	3月	6名	124,609円

## 7 個別支援計画

プロフィールアンケートを事前に記入してもらい、フェイスシート、アセスメントシート等を個人ごとに作成。本人、家族、担当職員等との個別面談を行い「就労継続A型支援計画(案)」を作成。本人及び家族に確認後に、「就労継続A型支援計画」として、その計画に沿って日々の支援を行っている。また、6か月ごとのモニタリングを実施し、アセスメント、支援計画の見直しも行った。

職員会議にてケース検討を行い、計画に反映したことも記載ください

## 8 利用者のスキルアップ研修

就労前研修

雇用契約・利用契約を結んだ利用者に対して、社会人としてのマナー研修を必ず実施し「挨拶の仕方」「言葉遣い」「話を聞くときの態度」等について説明している。また、就業規則の確認も行っている。

研修後も、出勤退勤時、朝礼のときなど、必要に応じて支援していくことで、挨拶が苦手だった利用者が元気に挨拶できるようになるなど効果が見られている。

個人面談（就労継続支援B型も同様）

毎月2回（第2週及び第4週）すべての利用者と個人面談を実施している。作業目標達成度評価や、日々の仕事での困りごと、家庭での悩みごと、勤務時間などを聞く貴重な時間となっている。

利用者も「面談の時に話します。」「今日は面談ですね。」など浸透してきている。

連絡ノート（就労継続支援B型も同様）

すべての利用者に連絡ノートを渡し、家庭との連絡や本人の悩みや想いを書いて、毎朝、提出してもらっている。本人や家族との連絡が主たる目的になっているが、言葉で上手に表

現できない利用者が悩みや想いを書いてきたり、家族に説明をしなければいけない事象があったときの、コミュニケーションアイテムとして利用する利用者もいる。

## 9 職員の指導体制 総員3名(令和5年3月末)

所長(サービス管理責任者兼務) 1名

生活支援員 1名

職業指導員 1名

## 10 職員の処遇(就労継続支援B型も同様)

服務規程及び賃金規定により処遇している。

職員研修については、令和4年度の実績は下記の通り。

### 【研修実績】

施設内研修 虐待防止研修会(2月職員会議内で実施)

施設外研修 サービス管理責任者更新研修  
高齢者施設等業務継続計画策定研修  
長野県セルフセンター協議会(虐待防止研修)  
障害のある人の就労スキルアップセミナー

### 【職員会議の実施】

頻度、内容について記載してください(ケース検討・虐待防止・研修など...を含む)

## 11 QOL活動について(就労継続支援B型も同様)

下記の通り実施

月	日	内容
10	15	誕生会
12	20	クリスマス会(ビンゴ大会)
1	9	誕生会
	16	鏡開き(お汁粉)
	21	誕生会
2	3	節分(お菓子掴み)
3	3	ひな祭り(桜餅)

- ・クリスマス会は事務所に全利用者が集まりケーキを食べながらビンゴ大会を開催。
- ・節分は事務所に全利用者が集まり、福掴みと題しておかし掴みを行う。
- ・その他、誕生会、鏡開き、ひな祭りは食事の時間に食堂で開催。

## 12 保健衛生について(就労継続支援B型も同様)

健康チェック表

毎日、出勤前に体温、身体状況などを自己チェックし提出している。

健康診断

協力医療機関である公益財団法人石川県勤労者協会 城北病院による健康診断を年1回実施。令和4年度は9月27日に実施。

静養等

学校を卒業して、一度も働いたことのない利用者については、勤務時間を半日から始め

でも仕事に身体が慣れるまで時間がかかる方が数名見られ、疲労による静養を行う方がいた。今は、働く体力が見につき、疲労による静養を行う方は見られない。

### 1.3 防災訓練・安全について（就労継続支援B型も同様）

- ・消防計画は作成したが、消防署には日本海リネンサプライ（株）から提出した。
- ・避難訓練は令和5年2月2日に日本海リネンサプライ（株）と合同で実施。水消火器を用いた消火訓練も実施した。

### 1.4 地域との連携・協働

#### 特別支援学校の実習生受け入れ

月	人数	学校名等
10	3	石川県立明和特別支援学校（高等部2年生1名・3年生2名）
11	1	金沢大学附属特別支援学校（高等部2年生）
12	2	石川県立明和特別支援学校（高等部3年生）
1	2	石川県立いしかわ特別支援学校（高等部3年生）

・実習期間は高等部2年生が5日間、3年生は10日間。3年生についてはその後の進路先候補となっていることから、後半の5日間は8時30分～17時までの実習時間を体験してもらっている。

- ・はその後の雇用契約・利用契約に繋がったもの。

#### 委託訓練実習生受け入れ

月	人数	学校名等
2	1	石川障害者職業能力開発校（2月～3月）

・30代の男性の実習を実施。その後の雇用契約・利用契約には今回は残念ながら繋がらなかった。

#### 見学者受け入れ

月	人数	所属等
9	36	石川県立明和特別支援学校（高等部1年生30名及び教諭6名）
10	6	金沢大学附属特別支援学校 （高等部2年生2名と家族3名。教諭1名）
10	10	ハローワーク金沢・石川

・石川県立明和特別支援学校の見学は、進路見学学習として行われた。

・金沢大学附属特別支援学校の見学は、進路指導の一環として高等部2年生対象に行われた。

・ハローワーク金沢の見学は、就労継続A型の内容とクリーニング工場の見学と第1期生、第2期生が元気に働いている様子を見たいという職員からの申し出により実現した。

・その他、ハローワーク金沢、各相談支援事業所、金沢障害者就業・生活支援センターの紹介で、見学者を随時受け入れている。1名の利用者が雇用契約・利用契約に繋がった。

## 1.5 関係機関各所との連携・協働

ハローワーク金沢での就職説明会

ハローワーク金沢と連携し、一室を借りて個別面談形式の就職説明会を実施した。開所前に2回(2月・7月)、開所後に2回(8月・10月)の計4回実施し12名の方の参加があり、計7名の利用者の雇用契約・利用契約に繋がった。

金沢障害者就業・生活支援センターとの連携

支援を受けている利用者2名について、雇用契約・利用契約を結んだ後も、必要に応じて課題解決に向けての面談を行うなど、密な関係性をもっている

各相談支援事業所と連携(就労継続支援B型も同様)

仕事や家庭で悩みを抱えている利用者に対して、状況に応じて相談支援専門員にも入ってもらい、一緒に相談しながら課題解決を行うなど、密な関係性をもっている。

石川障害者職業能力開発校との連携

就業前の実習として、委託訓練実習を取り入れている。実習前や実習中、実習後にも密に連絡を取り合っている。

### 就労継続支援B型

#### 1 事業の開始と利用者の推移

令和4年8月1日 多機能型障がい福祉サービス事業所 CoCo 金沢開所

令和4年10月1日 利用者1名入所

令和5年2月17日 利用者1名退所

(他法人就労継続支援A型事業所へ就職のため)

総在籍者数 0名(令和5年3月末)

#### 2 利用者の内訳

出身市町村 金沢市1名

性別 女性1名 男性0名

年齢(平均年齢...23歳)

20代...1名 30代...0名 40代...0名 50代...0名

障害種別

知的...0名

精神...1名(内精神手帳2級...1名)

身体...0名

通所方法

自家用車等...1名 自転車...1名

送迎...1名(冬季のみ)

利用者個人の状況に応じて、手厚い送迎を行っている。

#### 3 日課等

日課

8時30分~17時

休憩時間 12時～12時50分 15時～15時10分

本人の希望、体調、体力、家庭環境等を考慮し、無理のない時間帯での実施となっている。( ～ まで)

土曜日・日曜日の週休2日制。他開所日は希望通所。

作業訓練内容

タオル、ガウンたたみ

状況

令和5年3月末現在、B型利用者は0名。次年度は計画的に利用者を増やしていく。

#### 4 通所状況

10月	11月	12月	1月	2月
80.0%	95.0%	75.0%	63.2%	100%

勤務実態（出勤率）

年平均...82.6%

- ・1月は、他法人就労継続支援A型事業所の体験実習に参加するため休みが多くなったが、それ以外は大きく体調を崩すこともなく、元気に通所できていた。
- ・通所時間は本人と相談を行い、柔軟に対応した。

#### 5 利用者の工賃支給

10月	11月	12月	1月	2月
11,200円	13,300円	10,268円	8,400円	9,100円

平均月額工賃...10,454円

#### 6 個別支援計画

プロフィールアンケートを事前に記入してもらい、フェイスシート、アセスメントシート等を個人ごとに作成。本人、家族、担当職員等との個別面談を行い「就労継続B型支援計画(案)」を作成。本人及び家族に確認後に、「就労継続B型支援計画」として、その計画に沿って日々の支援を行っている。

#### 7 職員の指導体制 総員4名（令和5年3月末）

所長（サービス管理責任者兼務） 1名

生活支援員 2名

職業指導員 1名

## 令和4年度事業報告

### 第二種社会福祉事業 障がい福祉サービス事業

(共同生活援助事業・居宅介護事業・短期入所(ショートステイ)事業・相談支援事業)

#### 地域生活支援センターCoCo ながの・ちくま

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染者がグループホーム内で発生し、感染予防と共に、感染者の対応、ホーム内のレットゾーンの対応に追われた。ホームにおける職員は、地域に新型コロナウイルスが広まったとしても、ホームを閉所することはできないという、エッセンシャルワーカーとして、社会を支えるための責任ある仕事だと実感させられた。

また、グループホームの支援を最優先に考え、それ以外のサービスは、必要最低限のサービス提供に留めている。ショートステイ、行動援護、居宅介護と地域生活支援センターCoCoの担っている福祉サービスは、地域で生活していくには欠かすことのできないサービスであり、感染症対策とサービス利用のバランスの難しさを実感させられた。

コロナ禍明けを考えながら、生活様式を変え、今できることを実践し、地域での暮らしを支え、その方にとっての幸せ、夢の現実に向け、日々支えていきたい。

#### 【共同生活援助事業】グループホーム

##### 1. 事業の開始

平成16年	1月15日	CoCoホーム千曲	(女性4名)
			平成21年4月～(女性5名男性2名)
			平成28年3月～(女性6名男性4名)
平成17年	7月1日	CoCoホーム白塚102	(女性4名)
		CoCoホーム白塚103	(男性4名)
平成18年	8月7日	CoCoホーム表参道	(男性6名・女性1名)
			平成22年6月～(男性7名)
平成20年	12月1日	CoCoホーム蔵町	(男性7名)
			平成21年11月～(男性9名)
平成22年	6月1日	CoCoホームぼたんの里	(女性4名)
平成25年	2月10日	CoCoホーム山王	(男性5名)
平成29年	6月1日	地域生活支援センターCoCoちくま 開所	
			長野・須坂市内のホームを地域生活支援センターCoCoながのの事業とし、 千曲市内のホームを地域生活支援センターCoCoちくまの事業とする
平成29年	6月1日	CoCoホーム三本木	(男性8名)

入居者定員総数 51名

##### ・令和4年度の入居者数の変動

令和4年4月	CoCoホーム表参道	男性1名入居(ご自宅より)
令和4年4月	CoCoホーム表参道	男性1名入居(ホーム白塚103より)
令和4年4月	CoCoホーム白塚103	男性1名入居(ホーム白塚102より)
令和4年6月	CoCoホーム白塚102	女性1名入居(ご自宅より)

令和4年12月 CoCo ホーム三本木

男性1名入居(ご自宅より)

令和5年2月 CoCo ホーム千曲

女性1名退去 アパート(一人暮らし)へ

令和5年3月時

入居者実数 CoCo ながの 31名(男性25名・女性6名)

CoCo ちくま 15名(男性10名・女性5名)

合計 46名(男性35名・女性11名)

## 2. 入居者の状況

### <CoCo ホーム白塚102> 女性4名

・出身市町村 (長野市 2名)(千曲市 1名)(高山村 1名)

・年齢 43歳~64歳

・日中の場 キッチン CoCo1名(就労継続B型)/アトリエ CoCo3名(就労継続B型)

・ホームの様子

ご家族のご逝去に伴い気持ちが落ち着かず、精神科へ入院されていた方の受け入れを行い、女性4名のホームとなっている。ホーム内での人間関係によるトラブルはあるが、トラブルの頻度は落ち着いてきている。世話人、生活支援員が情報共有を密にとると共に、日中事業所との統一された支援を心がけ支援を組み立てている。入居者の話を丁寧に聞き取り、気持ちよく過ごせるアドバイスを心がけ続けていくことはこれからも大切な支援となる。

年齢が高くなっていることと、精神科へ通院されているか方ばかりのため、医療との連携、環境の調整、が今後も大切になってくる。

### <CoCo ホーム白塚103> 男性4名

・出身市町村 (長野市 1名)(飯山市 1名)(小川村 1名)(筑北村 1名)

・年齢 61歳~78歳

・日中の場 アトリエ CoCo3名(就労継続B型)/キッチン CoCo1名(就労継続B型)

・ホームの様子

高齢期の男性のメンバーが暮らすホーム。加齢による様々な体調の変化に対応して、通院や服薬を含めた健康管理の支援を続けている。3名は人間ドックを受診し、必要な治療に結びつけてきている。定期的な通院が増え、付き添っての受診ができるように支援している。現在は4名とも元気に日中の就労・活動の場に通うことができている。

居室の整理整頓や衣服の管理が難しくなっており、個別に居室の整理を行なっている。また、ご本人の希望に合わせた外出・買い物や余暇の充実等の支援を広げている。

### <CoCo ホーム表参道> 男性7名

・出身市町村 (長野市 7名)

・年齢 19歳~66歳

・日中の場 アトリエ CoCo1名(就労継続B型)

アートカフェ CoCo1名(生活介護)

CoCo JAVJAV2名(就労継続B型2名)

ななせ仲まち園 1名(就労継続B型)

ふれあいの森 1名(就労継続B型)



## 企業就労 1 名（長野リネン本社工場）

### ・ホームの様子

365 日ホームを利用する方、週末には実家へ帰省をする方、一般就労している方、生活介護に通所している方等々、様々な生活スタイルを持つ方たちが同居している。今年度は 19 歳と若い方も入居し、19 歳から 66 歳・生活介護の方と一般就労の方、年齢も障がいの特性も幅広い方々が利用をされている。

今年度は新型コロナの感染者が発生し、障がいの重い方はホームでの支援となったため、ホーム全体をレッドゾーンとして支援を行った経過がある。入居者、支援者共に今まで体験したことのない現場となったが、皆さんの協力のもと乗り切ることができた。

普段は、健康管理や金銭管理、余暇の過ごし方など、個々の課題に目を向け取り組んでいる。

### < CoCo ホーム蔵町 > 男性 9 名

- ・出身市町村（須坂市 7 名）（長野市 1 名）（木島平村 1 名）
- ・年齢 48 歳～63 歳
- ・日中の場 企業就労 9 名（長野リネン須坂工場 8 名・本社工場 1 名）
- ・ホームの様子

新型コロナの感染者が発生したため、何度かホーム全体を閉鎖した期間があった。入居者の皆さんの協力もあり、広まることなく落ち着かせることができた。

60 歳を超え一般就労から次の生活スタイルを模索し始めて方が増えてきている。今までできずに来たことを、その方の夢プランとしてスペシャルな支援を提供できればと考えている。令和 4 年度はコロナ禍にあり思ったように夢プランを実現できなかったが、今後実現させていきたい。また、日中の過ごし方について、就労から余暇の支援を必要とする方向に変わってきている。ご本人の希望を探りながら、一緒に今後の生活スタイルを築いていきたい。

また、加齢に伴う体力の低下や、疾病も現れるようになってきた。働き続けるための健康管理とともに、日常生活や余暇の経験の幅を広げる支援を心がけている。ご家族の高齢化や他界による、親から兄弟への代替わりで、身内との関係性に変化があり、ご本人を取り巻くご家族との関係調整の支援を始めていきたい。

### < CoCo ホームぼたんの里 > 女性 2 名

- ・出身市町村（長野市 2 名）
- ・年齢 30 歳～34 歳
- ・日中の場 アトリエ CoCo 2 名（生活介護 2 名）
- ・ホームの様子

住み込世話人の支援を受けながら、細かい部分まで支援をし、その方の暮らしを支えている。また、ショートステイの利用者さんも受け入れながらの生活環境となっている。

今年度は、新型コロナ感染防止により、ホーム等お楽しみ企画が実施できずにすぎている。週末は帰省する人・余暇支援を受けて楽しむなど、思い思いの過ごし方をしている。

### < CoCo ホーム山王 > 男性 5 名

- ・出身市町村（長野市 4 名）
- ・年齢 28 歳～59 歳

- ・日中の場 企業就労 2 名 (株式会社ミヤマ 1 名・轟電化工業 1 名)  
アトリエ CoCo2 名 (生活介護 1 名・就労継続 B 型 1 名)  
CoCo JAVJAV 1 名 (就労継続 B 型)

- ・ホームの様子

長野駅前のホームということもあり、企業就労されている 2 名は、自分の時間を有効に活用している。新型コロナの感染防止により、希望するようには余暇を楽しむことができず、残念な 1 年となっている。ホーム内はそれぞれの個性を尊重し合いながら、また、助け合いながら暮らしている。その中で、若い入居者さんたちも生活の中でできることを増やしながらか生活している。

< CoCo ホーム千曲 > 女性 5 名 男性 2 名

- ・出身市町村 (長野市 3 名)(坂城町 2 名)(上田市 1 名)(中野市 1 名)
- ・年齢 24 歳 ~ 57 歳
- ・日中の場 クリーニング工房 CoCo 5 名  
(就労継続 A 型 3 名・就労継続 B 型 2 名)  
日中活動先 模索中 1 名  
企業就労 1 名 ((株)ロビニア 1 名)

- ・ホームの様子

CoCo ホームの中で 1 番歴史のあるホーム。このホームを地域生活のスタートとして、一人暮らしから結婚まで実現させた先輩がいる。今年度も 1 名パートナーとの暮らしを希望してアパート暮らしに移行されている。

新型コロナの感染者が発生したが、それぞれの部屋が離れていることもあり、短期間の隔離生活で終わることができ、環境としては良かったと言える。

入居されている皆さん同士、挨拶を交わしたり、体調の悪い仲間に気遣いの言葉をかけたりと人間関係は良好。新型コロナの感染防止のため、全員揃っての食事はできないものの、声を掛け合いホームの雰囲気は良い。仕事に余暇に思い思いの毎日を過ごしている。

< CoCo ホーム三本木 > 男性 8 名

- ・出身市町村 (長野市 3 名)(千曲市 4 名)(坂城町 1 名)
- ・年齢 20 歳 ~ 58 歳
- ・日中の場 クリーニング工房 CoCo3 名 (就労継続 A 型 3 名)  
スタジオ CoCo 2 名 (就労継続 A 型 1 名・就労継続 B 型 1 名)  
チューリップの家 1 名 (就労継続 B 型)  
クロスロード寂蒔 1 名 (就労継続 B 型)  
アルバイト 1 名 (コンビニ 1 名)

- ・ホームの様子

平成 29 年度 6 月に新しく開所した CoCo ホーム。地域のニーズに応えるために、ショートステイ付ホームとして 8 名の入居者がホームでの暮らしをスタートしている。

日中はそれぞれの場所で就労され疲れて帰る方が多く、ホームに戻られてからは、心身共にリラックスできる環境を目指したい。

入居されている方の多くが、社会の中でトラブルを抱えやすい障がい特性を持っているた

め、トラブルを未然に防ぐ、または初期の段階で対応できる環境にしておく必要がある。

### 3. 生活状況 / QOL等

各ホームとも、地域の中で行事や清掃活動に声をかけていただき、世話人と共に地域の実情に合わせて積極的に参加させて頂いているが、今年度も新型コロナ感染症防止のため、地域の行事が自粛され活動することがなかった。

地域で暮らしながら、思い思いの余暇を過ごして頂きたい気持ちは強いが、新型コロナ感染症の感染防止を一番に考え、グループの行動指針に従った行動制限をお願いしてきた。入居者さんたちにとっては厳しい状況だったと思われる。感染防止については、今後も基本的な感染対策方法をわかりやすくお伝えをしていきたい。

また、自粛を頑張るだけではなく、ホームにいても楽しい、嬉しいを実感することができるよう、テイクアウトの食事を準備するなどの工夫をしてきた。そして、自粛緩和を世の中の流れを見ながら進めていきたい。

### 4. 職員体制

#### 地域生活支援センターCoCo ながの

管理者 1名(ちくまと兼務) サービス管理責任者 2名 生活支援員 7名  
世話人 18名 白塚 102・103: 5名 / 表参道: 4名(宿直1名)  
蔵町: 4名 / ぼたんの里: 1名(宿直1名: 住み込み)  
山王: 4名

#### 地域生活支援センターCoCo ちくま

管理者 1名(ながのと兼務) サービス管理責任者 1名 生活支援員 2名  
世話人 14名 千曲: 5名 / 三本木: 8名

### 5. 食事

各ホームとも手作りで栄養バランスのとれた食事の提供をこころがけると共に、世話人の負担を軽減するために、ヨシケイの食材配達業者を適時活用している。季節の行事メニューや誕生日メニュー、外食の企画等、入居者にアンケートをとりながら嗜好を取り入れた献立も作っている。入居者や体験で利用された利用者からは「食事が美味しい」と良い評価を頂いている。今年度は、外出の自粛を呼びかけたこともあり、楽しみを提供するために、テイクアウトの食事を各ホーム実施することができた。

### 6. 健康管理

日常の健康チェックに加えて、通院・服薬の支援を行ってきた。加齢とともに体調の変化が現れてきている入居者が多く通院の種類や回数が増えてきている。必要な人にはホームで血圧や体重測定を続けている。通院先は、地域の内科をはじめとして、歯科・眼科・耳鼻科・精神科・皮膚科・胃腸科・婦人科・整形外科・総合病院と多岐にわたり、定期通院の付き添いが必要なところを複数持っている入居者もいる。医療機関と連携しながら情報を共有して支援してきた。

ホームの入居者の通院については、通院等介助のサービスを利用できる方は、そのサービスを利用し通院するが、対象とならない通院についてはホーム対応となり、年々ホーム生活支援員の負担が増えてきている。通院に対しての加算等、制度の見直しを呼びかけていくことも必要。

また、40歳以上で人間ドックの受診を希望する方には、申込み手続から当日の付添いまでを支援しており、今年度は2ホーム、6名の入居者が受診した。疾患の早期発見に努めている。

新型コロナウイルスの感染防止にも取り組んできた。マスク・消毒・手洗い等の予防に係る準備品をそろえると共に、発生時のマニュアルを作成し、職員スタッフの意識も高めてきている。また、厚生労働省をはじめ県、市から出される文章を、入居されている方たちにもわかりやすいよう、工夫しながらお伝えしてきている。

帰宅時の手洗い、手の消毒、ホーム内の換気、毎日の検温、食事時間の変更、部屋から出る時にはマスクを使用、外出の自粛、外出先のメモ等ホーム内でできることを呼びかけ、入居者、職員ともに感染予防に取り組んでいる。また、入居者のワクチン接種については、ご本人ご家族の希望を聞きながら、希望される方は接種ができるよう、対応を重ねてきている。  
(新型コロナ感染症の発生について)

令和4年度は各ホームで新型コロナの陽性者が発生している。コミュニケーションができ、一人で療養施設で過ごせる方については、保健所に協力して頂き、療養施設の利用としている。療養施設が利用できない方については、ホーム内で療養して頂き、その方の部屋をレッドゾーン、ホーム内をイエローゾーンとして限られた支援員が支援を行う体制を整え実施してきた。日頃の感染対策の効果、また早い段階での感染防止対策の成果によって、クラスターの発生には至らずに済んでいる。

保健所を始めとする、協力医療機関等の協力がとてもありがたかった。そして何よりも、感染者が発生した際にも快く、支援や通院といった直接支援にあたって頂いた現場スタッフには感謝をしている。今回の陽性者発生を受け、感染症におけるBCPの追記見直しを実施している。

## 7. 防災体制

各ホームとも、前期後期2回の避難訓練を実施。新たに水害時の災害想定にて訓練を実施している。新型コロナウイルス感染防止のため、1回しか実施できなかったホームもある。

避難訓練の際には防災用品の期限切れや不足の物の点検、補充を行っている。

また、感染症のBCPを作成したため、災害時におけるBCPの作成に取り掛かっている。実際に活用できることを心がけながら作成したい。

## 8. 研修等

- ・月1回を目標にホーム毎の支援会議を行い、世話人と生活支援員で支援の振り返りと情報の共有及び支援の方向性の確認に努めた。
- ・長野市・千曲市・須坂市の自立支援協議会の各部会に参加して情報共有を行った。
- ・世話人研修は感染状況を見ながら、集合研修を行い、長野市虐待防止センターの出前講座を利用し、虐待防止についての研修会を実施した。
- ・その他、各関係機関で開催される新型コロナ感染症についての研修会に参加。学んだことを現場で活かすことができるよう、スタッフ会議等で報告伝達している。また、研修会自体がWeb環境での開催となったため、Web会議アプリZoomを使用して、積極的に研修会へ参加している。

## 9. 地域への開放

新型コロナ感染症の感染防止のため、自由に施設を開放することはなかったが、長野清泉女学院の心理学科の実習生を受け入れ、地域で暮らす障がい者の生活について学ぶ機会を提供してきた。今後も続けていく予定。

## 10. 評価及び課題（実践を通して）

社会全体がコロナ禍となって以降、利用者さんの生活を支えるために、新型コロナへの対応に振り回される日々を送ってきた。地域の感染状況に合わせ、感染対策を講じてきたことはもちろん、陽性者が発生した際の対応は利用者さん、職員、皆さんの協力なくしては対応できなかったと言える。

廣望会のグループホームにおいても、今年度は8ホーム中、7カ所のホームにて陽性者が発生。身辺自立のできている方についてはできる限り、地域の療養施設の利用を進めてきた。保健所の受け入れもとても協力的で、一人での療養が難しい方であっても「まずは試しにやってみましょう」と快く受け入れて頂き、ホーム内での感染拡大を止めることができた。地域の保健所との連携、医療との連携を強く感じると共に、感謝すべき対応をして頂いた。

また、ホーム内で陽性者をケアするホームもあり、ホームへの連泊、防護服を着ての支援、陽性者の検査や健康チェック、個別の通院など危険な状況での支援、勤務を快く受け対応して頂いた事業所スタッフにも感謝している。

今年度の感染症への対応をもとに、事業所のBCP（事業継続計画）を再確認し活かしていきたい。

Yさん（男）は、コロナ禍となる前は気の合う女性パートナーと毎週日曜日にカラオケを楽しんだり、外食を楽しんでいた。また、電車に乗るのが大好きで、時刻表を見ながら松本や直江津、時には大宮や東京へ出かけては、自分の好きな時間を過ごしてきた。

そんな彼が、ある時から「胸が苦しいんだよ。胸がチクチク痛むんだよ」といい始め、その後も「右腕が痛くて困る」「手がしびれて変なんだよね」と、次々と身体的な不調を繰り返し言うようになった。ホームでは、まずは通院を始め医療的な支援を始めている。かかりつけ医の診察、整形外科の診察等々、本人の訴える症状に合わせて通院の支援を行った。しかし、筋肉が硬くなっているためのしびれだったり、原因不明の神経痛と言われるだけで改善のないまま時間が過ぎた。そして、令和5年2月、あれほど気にしていた身体的不調をほとんど口に出さなくなった。なぜ・・・？

振り返ってみると、令和2年10月新型コロナ第3波により入居者さんたちに外出自粛が求められ、その頃より「機嫌が悪い」という記録が始まり、令和3年3月には胸の痛みを言い始めている。また、令和3年8月頃には仲の良かったパートナーと喧嘩をしてそのまま疎遠になっている。それに合わせるようにますます身体的不調の訴えは強くなると共に、出会い系サイトにつながった方とのトラブルも生じた。その後は、会うたびに身体の不調を訴え、気持ちは落ち込んだままだった。そして、令和5年1月第8波が落ち着くと、2月には身体症状の訴えは減り、4月以降には以前と同じように遠くへの電車の旅に出かけ始めている。5月には身体的不調はまったく口にしない。

大好きだった外出を止められ、大切なパートナーとお別れもあり、Yさんは言葉にできない辛さやどうしようもない嫌な気持ちを抱えて生活していたのだと想像ができる。それが

「胸が痛い」「腕がしびれる」といった身体症状に出ているのだろう。支援者として、コロナ禍であってもYさんの楽しみを提供できなかっただろうか？Yさんと話す機会はあっても、「大丈夫だよ」という返事をそのまま受け止め、何も支援できなかったことを反省する。話のできる方は、その方の話していることをそのまま受け止めやすい。ご本人が伝えられない思い、「本当の気持ち」を想像し支援できる支援者でなくてはいけないと感じる出来事だった。

コロナ禍にあり思ったように生活できないこの時期にも、自分の思いを貫いて、自分の幸せをつかみに行く彼女がいた。Kさん48歳、当法人のグループホームに入所して、15年が過ぎている。遠く県外から長野市へ流れるように移ってきた彼女。当法人のグループホームに入居して、クリーニングの一般就労に就くこともできた。「いつかは一人暮らしをするんだ」と以前から希望をしていたが、ついに令和5年2月にアパート暮らしに移行している。

彼女には以前からお付き合いしている男性がいる。一人暮らしのきっかけもその彼との暮らしを希望してのことだ。支援者は「その時の感情だけでは難しいよ」と伝えながらも、彼女の希望は叶えたいという気持ちで、アパート暮らしに移行した後の生活をイメージしてもらうために、何度かのケア会議を開催した。二人で生活するときの経済的な話、お互いを思う気持ちの確認、アパート暮らしに移行した後の支援の内容など、ご本人の希望を聞きながら暮らす場所も一緒に決めていくこととなった。会議の席で彼女は「私もいい年だから最後にチャレンジしてみたい」そんな話をしてくれた。もちろん支援者はみんなで応援することを伝え、アパートへの移行をお手伝いした。

そんな強い思いをもって移行した地域での一人暮らし（近くにはパートナーの男性も暮らしているが）、3ヶ月経った今でも問題なく以前と同じ生活をしている。支援者の心配は全くいらなかった。

ご本人の「やってみたい」という強い気持ちは何でも超えていくのだろう。支援者は、先回りをしていろいろ心配するのではなく、利用者さんご本人が持っている「力」を信じ、ご本人の希望を聞きながら、チャレンジしていくことの大切さを感じることができた。また支援が必要になったときに、必要なお手伝いをするのが支援者の役割なのだろう。

「答えは現場が教えてくれる」、常に現場の支援を通して学び、地域で暮らす方々の生活、夢の実現を支えて行きたい。

## 【短期入所事業】ショートステイ

「自立生活をしたい！」「グループホームで生活してみたい！」「将来的には自立した生活をしてほしい」「親元を離れての暮らしがイメージできる体験をさせたい」「緊急時に対応してもらえると安心」という本人・保護者の願いに沿うべく、当法人の共同生活援助住宅の一室を活用して短期入所（ショートステイ）の事業を開始した。

利用のきっかけや目的は様々で、グループホームで生活リズムを作りたい人、家を離れる体験をしてみたい人、グループホーム入居に向けて練習したい人のほかに、家庭の都合や事情で緊急に利用したい人などであった。

1. 事業の開始

平成 22 年 7 月 1 日 CoCo ホーム表参道 / CoCo ホームぼたんの里  
 平成 29 年 6 月 1 日 地域生活支援センターCoCo ちくま (CoCo ホーム三本木)

2. 事業提供の場所と定員

CoCo ホーム表参道 定員 1 名  
 CoCo ホームぼたんの里 定員 1 名  
 CoCo ホーム三本木 定員 2 名

3. 利用状況 (月別のべ利用人数)

	R4 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	R5 1月	2月	3月
表参道	9	10	10	10	10	9	9	5	9	5	10	15
ぼたんの里	7	8	9	8	6	6	8	7	6	8	7	10
三本木	23	17	31	36	22	26	31	24	25	20	26	26

4. 評価及び課題

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、長野県から発信される感染警戒レベルに合わせ、ショートステイの利用を制限させて頂いてきた。どのショートステイもグループホーム併設型のため、グループホーム内への感染対策を最優先としたため、利用を希望される方をお断りするケースもあり、ご迷惑をおかけしてきた。その後、警戒レベルが下がるにつれ、通常利用に戻しているため、利用者数も元に戻りつつある。

今後も感染防止対策を行いながら、以前利用されていた方たちの定期利用、新規の方の利用を進めていきたい。

新型コロナウイルス感染症の感染対策として利用を控えてきたが、それに対する国や県の補助制度がなく、経営的には厳しい年度となっている。

ホーム三本木は、R4 年度から地域生活支援拠点として緊急時の受け入れを担っている。2床の利用が可能であるメリットを活かし、かつ緊急時には定員を超過しながらでも受け入れをしてきている。今後も緊急時の受け入れができるよう態勢を整えていきたい。

**【居宅介護等事業】 - 地域生活支援センターCoCo ながの -**

事業開始年月日 平成 18 年 7 月 1 日

平成 22 年 5 月より、長野市基準該当事業所として登録

事業内容

- ・ 居宅介護事業（身体介護中心・家事援助中心・通院等介助）
- ・ 行動援護事業
- ・ 移動支援事業
- ・ 長野市障害児自立サポート事業
- ・ 市町村障害児（者）タイムケア事業

#### 職員体制

管理者 1名 / サービス提供責任者 1名 / 居宅介護等従事者 6名  
 行動援護従事者 5名 / 移動支援従事者 7名 / タイムケア等従事者 8名

#### 利用者

日中の通所事業利用者 / グループホーム入居者

在宅単身生活者 / 在宅の障がい者・児（日中を他法人事業所利用）

長野養護学校児童・生徒 / 稲荷山養護学校児童・生徒

特別支援学級及び情緒学級在籍児童・生徒

#### 評価及び課題

##### < 居宅介護事業 >

通院等介助のサービスについては、障がいのある方にとって、通院に関する支援はとても重要な部分であり、地域で暮らす方達にとっては、なくてはならないものとなっている。そのため、感染状況にかかわらずサービスの提供を続けてきている。必要な方に対しては、適切な支援が提供されるように心がけてきた。また、グループホーム入居者の高齢化も進み始め、現状のスタッフで何とかやりくりしている。これからも通院の支援は増えることが想定されるため、通院を担うことのできるヘルパーが必要となる。

居宅介護事業全体を通して、毎年課題となっているのがヘルパーの不足だ。利用の希望があっても当事業所だけでは担うことができない。他事業所との協力体制の上、支援提供を続けていきたい。

##### < 移動支援事業・行動援護事業 >

今年度は新型コロナウイルス感染症の広がり治まらず、利用者の安全、支援者の安全を考え、長野県から出される感染警戒レベルを判断基準として、サービスの提供を行ってきた。警戒レベルが高い状況が続いているため、必要最低限のサービス提供となっている。

行動援護についても移動支援と同様に対応してきたが、移動支援に比べサービスの必要性は高いため、感染防止の工夫をしながらサービス提供を続けてきている。地域で暮らす重い障がいのある方の社会参加を支え、余暇支援、外出支援を積極的に提供することが出来ている。しかし、対応が困難な場合もあり、今後も行動援護従事者の育成、確保が必要となっている。行動援護に従事することのできるヘルパーの確保が急務であり、ヘルパーやスタッフの専門的スキルの獲得も必要となっていく。

##### < 障害児自立サポート事業・タイムケア事業 >

障害児支援においては、利用されている児童が学童期を過ぎたため、年々利用時間は減っている。今年度は主に1名の児童の受け入れを続けてきた。また、その1名についても個別での対応の必要性が低くなったため、タイムケアと共に集団での支援を提供している。

新型コロナウイルスの感染防止を第一に考えながら、外出先を決め、集団での活動、様々な社会体験を



積む時間を提供することを心がけてきた。また、ケア会議を通して各事業所間の情報共有を計ると共に、統一した支援につなげることができている。

特別支援学校在学中の児童さんについては、サービス利用に関すること、また生活上の困りについてケア会議に参加する等相談にのることができた。タイムケア事業としてお預かりするだけでなく、相談にのる、今後について一緒に考えるといった地域の社会資源としての役割を果たすことにつながっている。また、個別の相談を受ける中で、当法人に計画相談を依頼される方が増えており、児童期からの信頼関係の築きが大切だと言える。

今後も活動の充実及び、個々に合わせた療育的支援の充実を図っていきたい。

#### 利用実績

	居宅介護 (身体介護・家事援助・通院等介助)			行動援護			移動支援			タイムケア			長野市障害児 自立サポート		
	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用時間	利用者数	延利用者数	総利用P
令和4年 4月	5	7	6.5	7	29	82.0	4	4	23.0	10	35	125.75	1	5	26.50
5月	6	9	8.0	7	31	89.5	3	3	11.5	11	30	111.75	1	4	21.50
6月	7	9	7.5	7	29	81.0	8	8	47.0	10	39	116	1	4	23.00
7月	6	8	6.0	7	26	83.0	8	7	45.5	11	48	141.25	1	5	27.25
8月	6	9	7.5	6	26	68.5	2	2	10	11	34	95.5	1	2	10.75
9月	7	8	5.5	7	29	89.5	5	5	19.0	12	37	97.25	1	4	24.00
10月	4	6	5.0	6	25	69.5	6	8	48.5	10	41	135.25	1	4	23.00
11月	5	6	6.0	6	25	56.0	3	3	16	11	33	100.25	1	3	15.75
12月	5	6	4.5	7	28	84.5	3	3	13.0	10	35	105.50	1	3	16.25
令和5年 1月	4	4	2.5	6	21	60.0	2	2	8.5	10	37	133.25	1	3	16.00
2月	6	7	5.5	8	26	72.0	6	6	26.5	12	45	149.75	1	3	16.00
3月	5	7	6.5	6	23	59.0	7	8	42.5	12	50	160.75	1	3	17.00
合計	66	86	71.0	80	318	894.5	57	59	311.0	130	464	1472.3	12	43	237.00

## 【相談支援事業】

### （指定特定相談・指定障害児相談・指定一般相談・長野市区分認定調査）

専任 4 名、兼務 1 名の相談支援専門員が、障害福祉サービス等利用計画の作成に取り組むことができた。そのため、機能強化型サービス利用支援費（ ）の加算基準を満たした状態で運営することができた。そして、昨年と同様、長野市からの依頼や高校・高等部卒業に当たり障害福祉サービスを利用したい新規の利用者の障害福祉サービス等利用計画の作成を行った。

長野市、千曲市の委託相談員とは連携を密にし、相談員から依頼が上がってくる新規の相談ケースについても積極的に受け付けてきた。

また、サービス更新、ご本人・ご家族・事業所からの相談（サービス追加・変更等）などに合わせて支援会議を実施してきた。ご本人・ご家族と市町村ケースワーカー、各事業所の担当者、サービス管理責任者、相談支援専門員が顔を合わせて生活の様子を参加者で共有すると同時に障害福祉サービス利用の状況把握や意向確認を行う事が出来る良い機会となった。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルに合わせ、直接会っての会議は控え、Web 会議<sup>ア</sup>り ZOOM を活用しての会議を進めてきた。各種サービスの利用方法の相談等、ご本人やご家族に寄り添い身近な存在として相談支援専門員がいたことは、安心につながったように感じる。

相談支援専門員や障害福祉サービス等利用計画の質を向上させるために、指定相談支援事業所連絡会に出席し情報収集、情報共有や各種研修への参加を重ねてきた。各研修会に参加することで、行動障害支援体制・精神障害者支援体制・要医療児者体制の加算基準を満たすことができている。また、今年度には主任相談支援専門員研修を 1 名が修了することができたため、R5 年度より、主任を 2 名配置し、事業所内の相談支援の質を高めるとともに、地域の社会資源として活躍できるようにしていきたい。

令和 1 年 12 月に、法人内の相談支援事業をながのに統一したことで、法人全体の相談支援事業の体制が強化されている。情報の共有、支え合いながらの実践をすることで、相談支援専門員が今まで以上に連携をし、チームとして相談支援が進められる環境となっている。

受給者証の管理においては、障害福祉サービス支給決定期間終了後、一定期間を過ぎた時点で、受給者証の把握ができていない方の一表を毎月作成した。その一表を事業所へ配布し、家庭や市町村ケースワーカーへの確認を促した。また、内部の報告書についても、請求担当と相談しながら情報把握がしやすい書式を適宜改訂しながら活用している。

市町村によって、提出書類や提出方法が異なる点や、受給者証の発行時期遅滞や更新内容と支給決定された内容に相違がある点等、戸惑う部分があったが連絡調整をしながら、順調に進めることができた。事務手続きについても、各相談支援専門員と請求担当者間で適切に連携を図って進めたい。

## 令和4年度相談支援事業実績

		サービス等 利用計画	モニタリング	地域移行	地域定着	認定調査
R4	4月	19	33	0	0	0
	5月	25	32	1	0	0
	6月	22	57	2	1	0
	7月	29	52	2	1	1
	8月	18	44	0	1	0
	9月	19	62	0	1	1
	10月	25	52	0	1	1
	11月	12	54	0	1	1
	12月	33	63	0	1	0
R5	1月	16	73	0	1	0
	2月	23	41	0	0	1
	3月	46	53	0	0	0
合計		287	616	5	8	5

### 【長野市障害児（者）ケアプラン作成事業】

長野市ケアプラン作成事業については、指定計画相談支援事業の補助的な役割となっている。当法人の持つ長野市障害児ケアプランは、すべて指定障害児相談支援事業に移行することができるため、令和4年度には長野市ケアプランは作成されなかった。

### 【千曲市障害者等基幹相談支援センター事業】

障害者等相談支援事業

- ・千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター 7名  
（センター長1名・相談員1名・事務員1名 計3名が地域センターCoCoながのの所属）  
<1年間を振り返って>

国内においてコロナの感染者が初めて確認されたのが2020年1月でした。すでに3年が経過しましたが、令和5年3月13日からマスクの着用は原則不要となり、国は「マスクの着脱は個人が判断する」との見解を示しました。『自分のことは自分で決める』。これからいろんな場面で、ご自身の考えを述べたり主体的に行動することが大切になってくるかと思えます。障がい

のある方には「自分の考えを話していいんですよ」と伝えると同時に、話しやすい環境を整えることも忘れてはいけないと思いました。

さて、そんなコロナ禍ではありましたが、昨年11月25日、3年ぶりに従来のスタイル（換気の徹底・人数制限あり・8事業所の販売あり）で全体会 フォーラム を開催することができました。第1部では、松本市内で、就労継続支援B型事業所の仕事として、演奏活動をされている『楽団ケ・セラ』のコンサートは、知的障がいの方が中心ですが、音楽を通して自己表現をされている姿、演奏を一人ひとりが誇りを持ちながら、奏でている姿に圧倒されました。第2部では、長年精神障害者家族会の活動に携わられた、家族のお話をお聞きしました。お子さんの障がい理解のため、医療について先生にお聞きしたり、あるいはお子さんが望む病院に転院されるなど、親としてお子さんに寄り添いながら、その都度決断され、病気や障害、制度を知ることで、社会を変えていく原動力になったのではと頭が下がりました。

障がい理解のための普及啓発と当事者（障害当事者・家族）からの発信をキャッチしながら、地域生活が営めるよう、また、地域で支える仕組みづくりが必要だと、改めて考えさせられました。

自立支援協議会では、運営委員会や地域連絡会が新たに再編され活動がスタートいたしました。地域連絡会は、各専門部会長からの報告を受け、課題を運営委員会にあげ情報共有及び必要に応じ、協議会で解決できることを模索しました。生活部会から挙げられた人材不足は、運営委員会でも関心のあるテーマで活発な意見が出され、今後、協議会全体で取り組んでいくこととなりました。

こども部会では、懸案事項でありました『医療的ケア児等の協議の場の設置』の検討を重ね、次年度は『医療的ケア児等委員会』として、まずは実態把握をしながら地域の体制作りを検討することとなり、医療的ケア児等のお子さん（者も含む）の置かれている状況を、地域全体で考えるきっかけになればと思います。さらに、医療的ケア児等コーディネーターを基幹に配置する方向で、より専門的な立場で取り組んでまいりたいと思います。

なお、協議会への障がい当事者の参加がほとんどなかったのですが、Nimo 包括の当事者メンバーによる貴重な意見をお聞きすることができました。また、こころ部会では、在宅で生活されている当事者の方に、ピアサポーター（仲間同士の支えあい）の話を聴講する機会を設け、その後数人の仲間が、「まずは顔合わせと何でも話してみよう」と計画を立て、この3月23日に当事者の集いを開催することができました。地域で安心して暮らすために、ピアの支えあいは大きな効果をもたらすことでしょう。

最後になりますが、今私たちの周りで様々な問題が起きています。

- ・精神科病院での看護師による入院患者への虐待が発覚。いまだに無くならない現実があります。
- ・交通事故で亡くなった聴覚障害児の逸失利益が、障害を理由に平均賃金で算出されず、健常者との格差が浮彫になりました。
- ・知的障害のある方の結婚・出産・育児など、自分の意思で選択できない厚い壁があります。

どの事例も、差別や虐待を受けるなど人権が侵害されています。遠い出来事ではなく、身近におきています。私たちは、今起きていることから目をそらさず、まずは関心を持ち続け、当事者の声に耳を傾けることだと思います。

『私たちのことを私たち抜きで決めないで』は障害者権利条約での合言葉になっています。子どもの権利条約と併せて、時々は目を通し、障害者の権利を守ると同時に、自立を妨げない支援を心掛けていきたいと思えます。

【相談支援に関して】								
年間相談件数		3788件						
年間件数	電話	2033	来所	524	同行	176	訪問	277
合計 3788件	メール	362	支援会議	222	関係機関	61	その他	127
対象者(実人員)	身体	29	知的	90	精神	161	発達	56
417人	高次脳	1	重症心身	2	その他	107		
支援内容	福祉サービス利用	1284	不安の解消	915	人間関係	745	健康・医療	592
(相談件数の多いものから抜粋)	就労	645	家計・経済	873	保育・教育	86	生活技術	453
	障害の理解	420	社会参加	242	地域移行・定着	36	権利擁護	24
家計・経済に関する相談のうち、年金に関する相談は 221 件								
福祉サービスに関する相談のうち、児童に関する相談は 323 件								
新規相談件数 142件 (本人/13 家族/27 行政/24 保健センター19 教育/12 まいさぼ/11 医療/12 その他/24)								
【事業所訪問に関して】								
6月	・(福)しあわせ 地域活動支援センター『ちくま』『じゃがいも』							
	・(福)いなりやま福祉会 地域活動支援センター『いなりやま』							

## 【長野市障害者相談支援センター事業】

平成 18 年度より長野市から委託を受けた社会福祉法人が、長野市内に分散して総合相談窓口として業務を行っていたが、相談窓口のわかりにくさの解消や相談員の負担軽減・質の担保のため、令和元年7月に「長野市南部障害者相談支援センター」が開所した。

センターの役割としては、【総合相談窓口】、【人材育成】、【相談事業所との連携・バックアップ】、【ふくしネットへの参画】、【関係機関との連携】に取り組んでいる。

今後、相談支援のニーズについて検討しながら「だれにもわかりやすい相談先」としての周知がまだ不足していると感じている。相談支援事業所と連携する中で、横のつながり（重層的体制整備）をもっと深めていくことを求められている。また、様々な関係機関と連携する中でも、個別相談と人材育成と地域づくりにおけるセンターの役割を整理して明確にしていく必要がある。これらを取り組むために長野市障害者相談支援センターの活動のさらなる充実を図っていきたい。

## 障がい者総合支援センターの利用者及び相談支援の状況（R4）

センター名： 長野市南部障害者相談支援センター

### 1 障がい種別登録者数（実人数）

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
59	91	266	45	67	528
うち視覚障がい者				うち高次脳障がい	
7				3	
うち聴覚障がい者					
0					

### 2 障がい種別相談延べ件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
858	1,095	2,857	1,079	331	6,220

### 3 支援方法別相談延べ件数

訪問	来所	電話	電子メール	個別支援会議（ケア会）	その他	合計
287	394	3,223	39	223	2,054	6,220

### 4 相談の内容(複数回答可)

相談内容	延べ件数	割合
福祉サービスの利用	4,008	45.08%
社会資源の活用	上記に含む	
障害や病状の理解	422	4.75%
健康・医療	908	10.21%
不安解消・情緒安定	446	5.02%
保育・教育	40	0.45%
家族関係・人間関係	550	6.19%
家計・経済	523	5.88%
生活技術	864	9.72%
就労	574	6.46%
社会参加	212	2.38%
余暇活動	上記に含む	
権利擁護	29	0.33%
その他	315	3.54%
合計	8,891	100.00%

把握している範囲で結構です。